滿洲日報

休會明を眼前に 議會の雲行激化

解散斷行の時機 首相施政演說ののち 一人位質問演說後か

【東京十七日發】六十議會を眼前に控へ二十日には政民兩黨共大會を開き出陣の勢揃ひをなし二十一日の休會明け議會に華々しく臨まんとしてゐる、政局の歸趨として解散斷行を決定するのは早いが犬養首相が安達氏一派との聯立内閣を蹴つて單獨内閣を組織したことによつて今更解散回避の愚策を弄することもなく只問題は解散斷行の時機を何時にすべきかにかゝつてゐる、普通の順序よりすれば野黨たる民政黨が不信任案を振翳して政府に挑戰して來た場合に解散斷行さ來るのであるが、それでは政府が受太刀となるので政府の方より進んで能動的に解散斷行期を定むべしとの說が政府部内及與黨内に高い、卽ち二十一日午後犬養首相の施政演說後野黨側の質問演說者が一人位登壇演說を終了した時機に解散を斷行すべしと云ふに在る

絕對多數の獲得に 政府與黨對策を練る

【東京十七日發】政友會では休會明けの議會劈頭解散あるものと觀て御膳立すべては久原幹事長を中心に岡田植原津雲三總務を補佐とし對策を進めてゐるが、飽く迄候補亂立を避け言論戰に重きを置き犬養首相を始め各閣僚總動員で全國重要都市に出馬言論の陣頭に立ち候補者の應援をなし關東十名、東北七名、北信五名、近畿七名、東海八名、中國四名、四國五名、九州八名、結局五十四名の議員を增し總計二百五十五名を得、絕對多數となし來る選擧後の特別議會には重要政策を提出し政友會が多年主張して來た政策を實行するに決定してゐる

與黨會合日取

【東京十七日發】政友會は左の諸會合を開き對議會策を練ることゝなつた

十八日午後二時幹部會役員詮衡
十九日院外團大會、二十日午前十時幹部會、午後一時常議員會
午後二時黨大會、犬養首相より對議會策を指示、午後五時芝三緣亭で懇親會を開催

斯くて第六十議會に臨む筈である

施政演說草案

【東京十七日發】政府は十八日の定例閣議に對し對議會策殊に解散の時期及び方法に就き重要協議を遂げる事となつたが休會明け劈頭犬養首相の試みる施政方針演說の方針並に高橋藏相の財政演說の草案に就いても協議する筈である、而して總理大臣の演說に於てはその冒頭に先立ち事件に伴ふ優諚拜受及び政府の留任理由を述べるもの、如く、若し閣議の時間が延びる場合は改めて十九日臨時會議を開き對議會策を決定する筈である

將士の爲に 曼陀羅に合掌 吹雪のゆふべ軍司令官が

關東軍に賜はつた勅語傳達のため十六日錦州に赴き同地方駐屯軍が寒風吹き荒ぶ遼西の平原に於て匪賊討伐を行ひつゝある狀況を親く視察した本庄軍司令官は十七日夕刻から烈風と共に吹き荒れる雪を眺めて自らが視察して來たばかりの遼西の戰線を思ひ起し大吹雪の中で寒氣に惱みつゝ祖國の護りに努める錦州地方駐屯軍將士の身の上を案じて、軍司令官室に掛けられた曼陀羅に合掌しつゝ祖國の爲に將士に恙なかれと祕佛を念じてゐる【奉天電話】

和戰兩樣の作戰で野黨臨む 解散斷行の見極めがつけば 臣節問題で問責せん

【東京十七日發】休會明け議會を目捷に控へ民政黨は十八、九兩日中に若槻總裁を中心に最高幹部會を開き對議會策を練るが政友側でも二十一日休會明け劈頭の解散については異論ありて躊躇の色あり未だ決定するに至らぬと言ふので稍氣迷ひ狀態然し今の處民政黨の對議會策の根本は

一、政府が解散しなければ不敬事件金再禁止問題等をひつさげ質問戰に主力を注ぎ決議案等はその結果如何を待つて採否をきめる

二、若し解散斷行の見極めつかば先手を打つて臣節問題に關する總括的問責案を提出國務大臣の演說前に緊急上程す卽ち政府の出やうにより和戰兩樣の作戰を考慮して居る第二作戰については異論あるも清浦內閣のさき列車顚覆事件の緊急質問ありし前例もあり緊急上程が出來るものとの意嚮有力である

野黨の先陣 永井氏起つか 必勝を期する民政黨

【東京十七日發】民政黨は勿論議會は解散と見究めを附け解散對策を講じつゝあるが、選擧の神樣たる安達氏今や黨內に存在せず一抹の冷氣黨內に在り併し井上準之助氏が今や純然たる黨人として民政黨のため斡旋し居り選擧費の如きも氏が一手に引受くべしとの宣傳も黨內に相當根強く傳はつて居りこれ等宣傳が黨內の人氣を引立たしめ必勝を期してゐる、なほ政府攻擊に最も良きは櫻田門外事件なるがその先陣は中野氏なき今日永井氏が適役なるべく又永井氏が得意の雄辯を以て政府に肉薄して行く莊重さは蓋し近來の壯觀ならんと早くも期待されてゐる

解散準備と選擧方針 二百卅名目標

【東京十七日發】民政黨は愈よ解散となつた場合は直に若槻總裁より選擧委員を指名選擧本部の陣容を整へる事となつた、選擧委員としては約十名を擧げる筈なるが選擧委員長を置くか否かは安達氏脫黨の今日適任者に乏しいので未だきまつて居ない、若しこれを置くとせば江木顧問がこれに當る事とならう、斯くて選擧に臨んでは急速に公認候補を決定し二百三十餘名を目標に進む筈なるが、これがために前閣僚は勿論若槻總裁も第一線に立ち全國各地に轉戰する決心である

黨略的人事行政 貴院各派で注視

【東京十七日發】貴院各派は田中內閣當時の失政に鑑み現內閣の人事行政に深甚の注意を拂つてゐたが最近特殊會社銀行幹部の更迭に露骨な黨略的異動が行はれんとし居るを頗る遺憾とし痛烈なる反政府的意見が行はれてゐる、卽ち現內閣は內務、大藏、文部、鐵道、司法等の事務次官を更迭、政務官事務官の意義を無視し且又地方長官はもとより地方警部なども更迭し黨派を助長して居ると同成會始め研究會公正會にもこの聲が高く今後の人事如何によつては優諚問題と絡んで貴院の問題とならんとしてゐる

英佛の意見相違で 獨賠償問題に暗礁 ローザンヌ會議悲觀

【パリ十七日發】廿五日よりローザンヌに開かれる賠償會議を前に控へ對獨モラトリアムに關する英佛の意見非常に相違し一致を見ず對獨條件附賠償金モラトリアムについても英國は數ケ年の支拂猶豫を主張し佛は斷然一ケ年の支拂猶豫を固持して居り更に又無條件年賦金に對し佛はモラトリアム適用に斷然反對の強硬態度を持し又英國は本年七月一日以後一ケ年間全然モラトリアムを採用すべしと主張し斯くて對獨モラトリアムに關し英佛意見全く異り早くもローザンヌ會議は混亂に幕を閉づるに至らんと憂慮さる

陸相支那關係將官を招待

【東京十七日發】荒木陸相は十六日午後六時より官邸に支那關係の在京將官石光、高田、齋藤各中將佐藤安之助少將を招待し晩餐會を開催し今後の對支滿蒙建設問題等に就き隔意なき意見を交換し九時散會した

清津、雄基兩港併用 吉會線終端港を必要とする場合 大村朝鮮鐵道局長談

【京城特電十六日發】在滿同胞救濟と福利增進について調査研究をなす目的の下に十一日朝鮮總督府內に設けられた在滿同胞救濟調査委員會は今井田政務總監を委員長として愈々調査研究を重ねらるゝ事となり第一回を十五日午後一時から總督府第三會議室において開催した、當日は大體の趣旨目的を議して救濟策に關する具體的の問題までには觸れなかつたが

先般 江口滿鐵副總裁入城の際大村鐵道局長との會見の際話題となつた吉會線の終端港問題について種々意見の交換があつた模樣で、右につき大村鐵道局長は調査會後語る

朝鮮人の保護救濟は間島方面に在住するものも同樣の事情であるから、彼の吉會線完成の曉における終端港の設備に關して協議を進めた譯で鐵道部の意向としては先般江口副總裁にも一應意見を申し上げておいた、又過日總監からのお話にもあつた通り既設港灣である清津を先づ利用し而して奧地からの物貨の出方が激增して來れば到底清津一港ではその**呑吐**を緩和するわけには行かないから從つて雄基をも利用することゝなるであらう、勿論この意嚮は過般來城の江口副總裁、村上鐵道部長ともよく協議を重ねてあることゝて滿鐵においても同樣計畫で進めてくれるものと思つてゐる、要するに既設港を利用するといふ事は國家經濟上有利であり又時日の上においても斯くする事が當然であらう、尙他日滿蒙方面の產業開發により物貨增加の際は或は二港のみで消化難を來すやも計り難い其場合

羅津 に新しい港灣を建設し更に新鐵路の敷設が必要になるかも知れないが、現下の狀勢から見る時は左樣急を要せないであらう

聯盟日本代表 後任は佐藤大使

【東京十七日發】芳澤前駐佛大使の後任として佐藤尚武大使を國際聯盟理事會日本理事に任命すべく交涉中なるが、十九日閣議で正式に決定されん

日支秘密條約中の二條項 併行線不敷設の約束 在滿外國人保護聲明

明治三十八年十二月の日支密約を十四日我外務當局から公表したが、其中で最も注意す可きは左の二條文である。

一九〇五年十二月二十二日の日清條約に關する所謂秘密議定書

第三條　清國政府は南滿洲鐵道の利益を保護するの目的を以て該鐵道回收以前に該鐵道に近く若くは之と併行して該鐵道の利益を害する虞ある他の鐵道の本線又は支線を敷設せざるべき事を約す

第十條　清國全權委員は日露兩國軍隊の滿洲撤退後清國に於て直に其の主權に基き該地方に於ける平和を保障す可き充分なる行政手段を講じ且利を興し弊を除き着實に秩序の恢復に努め以て該地域の居住者たる清國人及び外國人は等しく清國政府の完全なる保護の下に生命及び職業の安全を享有し得べき事を聲明す秩序回復に關しては清國政府自ら適宜の措置を講ずべきものとす

◇

此れは清國政府の希望を尊重して嚴秘に附せられたものであるが既にマクマレー條約集第一卷に採錄され世界に周知されて居るものである。此の第三條は所謂滿鐵併行線に關するもので、支那の鐵道政策は之れに違反するものであるが支那側でも必ずしも之れを否認する人ばかりではなく、其の「南滿鐵道の利益を保護する爲」といふ文句を捉へて、文句を附けて居る人もある。其云ひ分は、滿鐵も支那行政權の管下に在る可きものである、行政權は管下の會社に保護を加ふる事はあるが、同時に永久に之れによつて拘束さる可きものでない。必要に應じて何時でも取消し得可きものである。畢竟此條項は支那行政權內の特權であるが、法律の性質を有するものでなく、又條約の性質を有するものでない故に何時でも取消自在だといふのだ。甚だ苦しい辯解で、到底承認し難いが、只これによつて支那人も之れを認めて居る證左を得る。

◇

第十條は又頗る重要な條文である。明治三十八年十一月二十七日から日支兩全權間に、日露役善後の日支交涉が開かれ、十二月二十二日調印された。其間の交涉會議錄の中に、帝國の滿洲に於ける重要なる地位を、支那側で諒解確認せる記錄が甚だ多い。其內主要なる部分として、帝國政府の發表した中に、左の如きものがある。此交涉の主眼と爲す點は

一、清國政府は滿洲に於ける其の施設を改善し列國臣民の生命を安全に保護すると共に將來同地方をして再び國際紛爭の禍因たらしめざる事

二、滿洲に於ける貿易を發達せしめ以て清國は勿論列國をして共存共榮の福利を圖るべき事

三。露國が日本に讓つた權利を清國が認める事(全文略)

を認むるにありと說明し、之れに隨つて九箇條の要求を出し、それには帝國政府の協力を待つ必要あると主張した。其主要なものは左の如くである

第一　日露講和條約第三條により日露兩國軍隊が滿洲より撤退するを待ちて清國政府は直に同地方に居住する各國人の治安秩序を維持するに足るべき樣其の行政機關を設定する事

第二　清國政府は滿洲に於ける善政を確立し列國居留民の生命財產に對し適當且つ有效なる保護を與ふる爲滿洲の施政改善に着手すべき事(以下略す)

◇

清國全權慶親王は、我小村全權に對して、日本の要求は尤もなるも、國家の體面上都合惡き點があるから、文面を緩和されたしと懇願し、小村全權は之れを諒とし、日本政府の精神を清國政府が承認するならば、會議錄に留めて然る可きを暗示した。慶親王も異議なき旨表示し、自發的に前記の第三條を提議して、之れを會議錄に留むる事を承認した。又清國自らの發明案として、日本の提案と同じ意味の條項を提出した。それが第十條になつて居る。

◇

以上によつて、共存共榮の文句も必ずしも新しいものでない事も分る。又第十條が其後完全に滿洲に行はれて居ない。卽ち平和を保障す可き十分なる行政手段も講ぜられず、利を興し弊を除く事は十分でなく、居住の清國人及外國人が清國政府の完全なる保護の下に生命職業の安全を享有する事にも遺憾な點がある。聲明を實現しない時、別に日本が之れに對して取るべき手段を具體的に約束してはないけれども、日支交涉の精神に反するは云ふまでもないので、日本が之れに對して相當の手段を取るべき事も考へられ得るのである。卽ち滿洲に於ける日本支那及び列國々民の共存共榮は其當時から日本政府が支那と協力完成せんとした所で、支那も其主旨に贊成して居る。只獨立國の體面上、日本が裏面に協力する事を文書の上に表明しなかつただけである。故に支那が之れを實行しないならば日本が此目的のために働かんとするに至るのも偶然でないわけだ。

賠償金不拂問題 國際政局に投ぜられた ドイツの爆彈的聲明

ヨーロッパの國際政局に爆彈が投ぜられた、一月九日ドイツ首相が發した賠償金不拂聲明がこれである、世界の注意は滿洲問題から今や此の賠償金不拂問題に移るであらう

支拂見込消滅

賠償金の輕減から進んで廢止を實現せんとするのはドイツ歷代內閣の終始一貫せる方針で且つ全國民の絕えざる要望である、これは從來の社會黨政府であらうが現在の中間派內閣であらうが根本政策に於ては全く同一である、只今日迄は出來る限り列國と妥協的態度に出てゐたのであるが、最近一ケ年のドイツの困窮の結果支拂の見込が消滅して仕舞ひ、この妥協も捨てざるを得ぬ狀態に立ち至らしめたのである。從つて右の賠償金不拂聲明は一見突然の樣ではあるが、ドイツの實狀を知る者は遂に來るべきものが來たと考へざるを得ないであらう

借金と賠償金

ドイツ首相ブリユーニングは右聲明中「現在は勿論將來に於てもドイツは賠償金を支拂ふ能力がない」と言つてゐる、事實は何何であるか

ドイツは昨年六月まで每年二十五億マルク乃至十七億マルクの賠償金を支拂つて來たがその殆ど全部は事實上外國から借金をして拂つて來たものである、この借金が一兩年以來出來なくなつたのでドイツの經濟も行き詰り同時に賠償金も拂ひ得なくなつたのである

ドイツには天然資源がない、鐵鑛石の產地は講和條約でフランスに取られ、石炭の重要產地の一部もポーランドに割讓した、天然產物として今日なほ多少剩餘があるのは石炭のみであるが、石炭を賠償金の代りに受取ることはイギリスや其他が喜ばず每年これを減らさしめてゐる

『空腹輸出』

斯うなればドイツが賠償金を支拂ふ方法は只一つ殘る、卽ち原料を外國から購入し、これを加工して製品として輸出し、貿易の出超額を大ならしめて、この超過額を以て支拂ひに當てるのである、ドイツはこの方針を以て一九二四年以來產業の合理化を斷行し極力輸出增進に努力したのである

この結果は如何、列國は驚いて關稅の障壁を高くし、國內產業を保護してドイツ品の侵入を防いだ然しドイツは是非共買つて貰はねば賠償金が支拂へぬから、產業は自らの利益を犧牲にしても所謂「空腹輸出」を斷行し、關稅障壁の突破を試みたのである、之を列國ではドイツのダンピングなりとして現在この防戰に困り拔いてゐる

貿易出超と利拂

ドイツが支拂ふのは賠償金のみでない、外國借金の利子のみでも每年十五億マルク位拂はねばならぬ、殊に昨年以來外國の短期借金が回收され始めそれが三、四十億マルクにも上つた、昨年八月には此の借金の据置協定が出來たが、此の協定に拘らず、ドイツから每月巨額の資金が今日なほ流出してゐる、この結果ライヒスバンクの金準備は月每に減少を告げてゐる

輸出貿易は前記「空腹輸出」の結果と輸入を極力制限してゐるために昨年中の如きは二十八、九億マルクの出超を示せる模樣であるが然し乍ら右借金の元利拂や短資回收の爲めこの出超額は全部その方へ向けねばならず、賠償金を拂ふ餘地はないのである

今日迄の支拂額

去る昨年末スイスのバーゼルで開かれた國際決濟銀行の特別委員會議でも右の事實を認めてドイツ賠償支拂の餘地がないといふ結論を下した

一月下旬からスイスのローザンヌに於て賠償會議が開かれる豫定であるが、ドイツが不拂を聲明した以上、妥協の餘地を見出すことが困難でないかと思はれる

尙ドイツは今日迄に左の如く既に三百七十億マルク(邦貨金百八十五億圓)といふ巨額の賠償金を支拂濟である(單位億マルク)

項目	億マルク
休戰後一九二三年迄の賠償支拂見積	二六〇
一九二四年より五ケ年間ドーズ案賠償支拂	八〇
一九二九年及び三〇年ヤング案賠償支拂	二七
合計支拂濟總額	三六七
右の內フランス取得分(總額の五二%)	一八五
大戰によるフランス荒廢地方損害(二千億法)	一六七

フランス大憤慨

それにしても驚愕憤慨したのはフランスである、フランスは最近稍妥協的態度を示し、モラトリアム二ケ年延長にも贊成した際だからである、穩健を以て知られてゐるマタン紙すら次のやうに云つてゐる——

ドイツは賠償會議を前にして遂に最後の切札を出した、これでフランスのドイツに對する最善の意圖も水泡に歸した譯である ブリユーニング首相の聲明は國粹派のヒトラーやシヤハトを滿足せしめる爲めのゼスチユアーであらうが、フランスとして斷じて承服出來ない事である

政府の聲明

一方フランス政府も斷然反對の意嚮を表し九日左の如く言明した ブリユーニング首相今回の聲明はドイツがヤング案及ベルサイユ條約を破棄せんとしてゐる事を意味する、然し乍ら自由意志に基いて調印された國際條約の一方的破棄はフランスの斷じて容認し得ない所である、何人も世界的經濟危機の重大性を認めこれを乘り切る爲めに賠償及び戰債協定を調整する事の必要な事も認めてゐる、だからこそフランス政府も新協定形式を見出すべく、妥協的精神で考究中だつたのである

出席を拒むか

エコー・ド・パリ紙の所報によれば、ドイツ政府が態度を改めない限りフランス藏相は賠償會議に出席しないであらうと、若しそんなことになれば大變である、ヨーロツパ財界は再び混亂に陷るであらう、社會黨機關紙ル・ポピユレール紙は曰ふ ブリユーニング氏今回の聲明は大失策で、その結果ドイツ及び全ヨーロツパに極めて悲慘な結果を來すであらう

イギリス

次にイギリスの態度はどうか、マクドナルド首相は十日、急遽外相、藏相と會議を開き、一つの聲明書を發表したが、イギリスの意向は專門委員報告によつて明かにされたドイツの經濟狀態及び國內的政治問題に鑑み、ブリユーニング首相がなした種類の宣言がローザンヌ會議でなさるべきは豫期しない所ではなかつた。而して既にこの宣言がなされたといふ事實はローザンヌ會議の重要性を增した事になる、大陸ではドイツ首相の聲明により、賠償會議は無用となつたと見てゐるが、現在の經濟危機は國際諸協定から起つたものであるから國際會議を開いて之を處理すべきである

といふにあり、これと必然的關係にある對米戰債をも審議する事が急務であるとしてゐる。

イギリス政府は最近賠償會議を一月二十五日より開くやう(現在では大體一月十八日から開くに決してゐる)提議したが、この時既にブリユーニング首相今回の聲明を豫期してゐたらしい。

アメリカは樂觀

この問題に最も注意してゐるのはアメリカである。それはヨーロツパ諸國はドイツから賠償金をとつてアメリカに戰債を拂つてゐたからである、ドイツがその賠償不拂を聲明した以上、ヨーロッパ諸國も戰債不拂ひを公然聲明するであらう、然しウオール街では一般に樂觀的見解を有し、ブリユーニング首相の聲明に拘らず何等かの解決に到達するものと見てゐる、銀行家達はドイツ首相今回の聲明は主として來月ゼネヴアに開かれる軍縮會議に對する懸け引だと見てゐる 然し結局賠償、戰債の減額は免れないものと見てゐる

頗る氣勢揚らぬ 上海の市民大會 商工諸團は參加せず

【上海十七日發】上海民衆抗日會及び一部學生團主催の上海市民大會は十七日午前十時支那街虹橋體育場に擧行されたが定刻に至るも參集する者學生團十數團體に過ぎず目下罷業中の上海日華紡職工以外には商工諸團體の參加一つもなく何等の統制なく個人の演說に移りたるも間もなく解散した此日佛租界入口の鐵門は全部閉鎖され巡警多數警戒に當り共同租界も非番巡捕を召集し警戒したが只今(午後二時)の處何事もない尙支那各商店は平常の通り營業し過激分子の煽動せる罷市は遂に實現しなかつた

蒙古語學院

蒙古科爾左翼後旗人元北京日蒙語會教師耀蘇嘩勒圖氏は近く奉天に蒙古語學院を開設することになり目下生徒募集中である【奉天電話】

軍司令官訓示

【錦州十六日發】本庄關東軍司令官は午前十一時十分幕僚と共に飛行機で當地着直に師團司令部に入つたが午後二時師團司令部前の廣場に於いて自治指導員十名に對し訓示を與へ東北三省を三千萬民衆の樂土たらしめよと激勵し多大の感動を與へた

西國廢帝瑞西へ

【パリ十六日發】スペイン廢帝アルフォンソ十三世陛下は十六日午後十時當地發スイスに向はれた

社說

滿蒙諸機關の統一と其基調

月初我軍の錦州入城に依つて滿蒙各省に於ける舊政權に對する軍事行動は、總括的に一段落を告げた。勿論匪賊の跳梁は猶ほ已まない。否な寧ろ危險と煩累さを增した傾向にある。且つ滿州に集結する榮臻軍の策動なごもあつて、未だ容易に意を安んずることは出來ないが、滿蒙を中心としての大勢は一決した。少くとも舊弊打破の主張は實現され、內外共に新建設に取懸るべき轉機を促進しつゝある。この形勢に依つて、支那本部の政權が果して直に外交的に活路を開くや否や疑問だが、東北諸省の獨立運動に一大刺戟を與へ、日本また軍部以外の經綸に手を染めねばならなくなつただけは確かだ。東電の傳ふる關東軍司令部條例の改正、並びに我が滿蒙に於ける諸機關統一に關する諸問題提起の如き、明らかに這般の消息を推定することが出來る。

◇

吾人は新制度の可否に就いて玆に云爲したくない。否な未だその時機でないとも思ふが、從來何人もが痛感してゐる多頭政治の弊を矯めることの急務と、新制度の下に統制さるべき機關を、一層實質的な者とすることの必要とを強調したい。凡そ如何なる事業を問はず、根本は人にあつて物にあらざること、言ふ迄もないが、從來の制度組織には、その人の力を十分發揮させ得ない缺陷があつた。所謂四頭政治の如きも、必ずしも各機關の當事者がその使命に不忠であつた爲でなく、機關と機關との間に一貫した統制を缺き、或者は重複し、或者は孤行し、知らず識らずに相對峙分立した系統を釀成させるやうに因襲附けられた爲だ。こうした情勢は人材を拘束し、無爲を以て終始するの勝れるを思はしめるものであつた。隨つて財力人力の浪費及び一般人心の弛緩を招いたのである、これ等はこの機會に改善刷新されねばならぬものである。

◇

更に注意したいのは、現地の事情に就いて、深刻な調査研究が缺けて居た事だ。極言すれば最近流行の認識不足論の如きも、さうした論者の主張中には、却つて第三者が認識不足を感ずるやうな事項がないでもなかつた。他の文明諸域と異なり、滿蒙各地には未知の實情が少なくない。此處には民族興敗の概括的記錄の外、全局に亘つての的確な典籍に缺けて居る。縱しさうした調査記錄はあつても、昨是今非の變化が急速に行はれて居た。それほど滿蒙は經濟的處女地であり、その推移變遷は遲速錯綜して居るのである。それを多くの論者は混雜して取入れ、動もすれば抽象說を繰返して安んじて居た。

◇

第一の問題はこの點にある。之が爲に所謂認識不認識のスローガンも、大衆の局部のみを攫んで、互ひに相論議するに過ぎない場合が屢々あつた。殊に遺憾なのは、實際家の經綸知識を顧みず、文字言說の上で輿論を支配しやうとする者の多いことだ。多年現地の經綸家にして、而も少然無名の人物が閑却されて居たことだ。さうした人物は名を求むるに遑なく、政治を語る技巧をも有しない。但し、彼等の智見はその親しく踏む土地であり、その經綸は日夜汗血を傾注する業務である。これ等を綜合した處に眞の滿蒙の實狀があつて、單なる抽象論で固めた意見と自づからその選を異にする。新しい諸機關の方針は、さうした實際家から得べき資料に依つて、確實な基調の上に策定さるべきである。加之、日本人には日本人としての實情があり、中國人には中國人としての實情があつて、その實情の提供者は均しく之を心得體驗した實際家に求むべきだ。吾人は今や更始一新の時機にある滿蒙に於て、統一的實質的制度機關の考慮されつゝあることを喜ぶと同時に、思ひを之が局に當る人々が、能くこの事情に潛めんことを熱望する者である。

本社從軍記者座談會

身に沁みて嬉しい（一）

戰線での軍隊の親切

本社編輯局では事變突發以來各地に活躍して報道の任務について居た各特派員の大部分が本社に歸來したのを機として一夕「從軍記者座談會」を催した、聊か內幕話めいて恐縮であるが、今度の事變に就て多年滿洲の實情に通じて且つ最も正しい認識を持つて居る地元の新聞記者が如何に正しい情報を世間に提供すべく努めて居るかといふ苦心の一端を讀者に知つて貰ひ度いと同時に、報道上凡ゆる便宜を圖つて戴いた各地の軍隊、官憲、滿鐵社員等への感謝を述べ、且つ當時書き漏らした記事を中心にして報道上の苦心失敗、成功、その他樣々の悲喜を此の際さらけ出すことにする、內地の新聞の中には自社の宣傳に汲々たる餘り、極端なのになると、一體軍隊が戰鬪してゐるのか、それとも新聞記者が戰鬪してゐるのか、判らぬやうなものもある其點餘程注意して控へ目に摘記したつもりである若し手前味噌の點があれば御容赦あり度く豫め諒解を願つて置く。

中村　では初めやう、話の緒口はどんな方面から切つたがよいだらう

一同　まア軍隊その他の人達に對するわれ〳〵の感謝したいことといつたやうなものから初めやうぢやないか

白石　俺のは美談だ、大石橋に輕爆撃機が落ちたときの話だがその時同機には相當の爆彈が積んであつて墜落と同時に四五發が爆發し一人は片足を失ひ今一人は身體中に火傷を負つたのだ、ところが火傷を負つた軍曹が片足の戰友を抱ながら這ひ出して來た、その時まだ爆彈は爆發をつゞけてゐたがそれを見た同機附長田澤上等兵が危險も省みず矢庭にそこに跳込んで二人を助け出して來た、そして田澤上等兵は「自分は機附長の職にあり乍ら墜落するやうな機に二人を乘せて本當に申譯がない」と二三日は燒けた機を見ては淚にくれてゐたさうだ

神藏　美談とか感謝とかそう言つたものは限り無くあるれ

藤井　僕と結城、山口の兩君と三人が受けた好意だ、僕達が溝帮子を發つて錦州に行く晩のことだが僕達はその日朝晝とも飯にありつかず、しかも錦州に行くまでは食ふ當もなく極めて淋しい氣持で停車場に立つてゐると僕が一面識のある大石橋守備隊の古川中尉に會つた、同中尉は當時同驛の守備隊長であつたが遊びに來いと言はれ殘飯でも貰ふ心算で喜んで從いて行つた、隨分夜遲くであつたが、わざわざ飯を飯盒に三杯も作つて貰つた、その時の有難さと美味しさは今でも忘れられん

山口　その時喰ひだめの必要をしみ〴〵感じたれ

神藏　元旦僕が胡家窩堡に行つた時は同驛を大石橋獨立守備第三大隊第二中隊が守備してゐたが寒さにふるへる僕を高粱のたき火で溫め鷄料理や御飯を作つてくれるし夜になつて元旦の祝餅が兵隊さんに二片づゝ配られた時それまでも分けてくれたよ

立上　將校もだが兵隊さんも親切だつたれ、僕の乘つた裝甲列車の野砲の人は大切な水筒の水までくれたよ

山口　卅一日の晚唐家屯部落に泊つた時は家がせまくて旅團本部に宿ることが出來ない、で新聞記者團だけ別の家に泊つたが隨分と心細かつた、その晚僕は鞭日の人と天野旅團長の寫眞をとりに行つたがわざ〳〵宿舍に步哨をつけて警戒してもらつてゐることを知つた時は心強かつたよ、然し或時などリユックサックが餘り重いので一寸大行李に乘せたところ重たいと言つて叱り飛ばされたこともあつた

島田　村井旅團のある特務曹長だが僕達が打虎山から溝帮子に入る時その部隊にカステラ二つのオヤツが渡つた、すると曹長は「私は明日の戰ひで死ぬかも知れぬからこれは君達で食つてくれ」と言はれた時は感激しちやつたれ

立上　連山で新聞記者が二日間續詰に會つた時そこの三等主計は自分達の分が濟んだ後には飯盒に飯を炊いてくれ毛布までも貸して呉れた、その親切には思はず淚がこぼれたよ

西村　然し何と言つても世話になつたのは新民屯の領事館だらう多い時には廿名位の新聞通信記者が世話になり朝早く僕達が出發する時は徹夜で握り飯を作つてくれたものだ

五百旗頭　そう言へば吉林の濱田公所長や芝元さんなんかの親切さには今思出して淚が出るれ、この二人がなかつたら吉林に行つた新聞記者は誰も仕事が出來なかつただらう

島田　日本の軍人が偉いと思つたのは溝帮子を出る戰死者負傷者を乘せた列車に乘合せた時だつた、負傷兵には隨分重傷者があつてその人達の呻き聲は夜中になると良く聞えるが聲を出す時は決して「苦しい」なんてことは言はない、皆が「畜生ッ」「殘念ッ」「生意氣なッ」てな言葉ばかり吐いて居た

立上　北寧線守備の兵隊なども各驛共少い人員で守備してゐるのだが實際あれなんか一命を賭してゐるからられ

五百旗頭　鐵道守備の獨立守備隊の苦しさは北寧線だけぢやない、滿鐵本線、四洮線、洮昂線、安奉線何處でもだ、危險といふ點では戰爭に參加する兵士に劣らぬ位だ、あれこそ椽の下の力持だれ【寫眞は座談會に出席した本社從軍記者】

反逆者＝李振聲

熙洽氏の部下たりし彼　今熙氏を惱ませる彼

李振聲、彼の名前は今日まで餘り日本人間には知られてないが、吉林省長官熙洽が舊張作相主席當時吉林軍參謀長の職にあつた際彼は熙の下に陸軍訓練處訓練監の要職にあり軍に對する實權を掌握してゐた者であつてそれだけに抗日侮日の巨頭であり急先鋒であつた、然るに作相の主權が顚覆し熙洽の新省長治下になるや彼は從來の關係上吉林を逃走、居をハルビンに移した、が熙は省公署の職員人事を決定するに當り彼等の反抗を好んで買ふ必要もなく軍事高等顧問主席として任命しその就任を勸むるところがあつた、けれども自らとつて來た抗日侮日の行動を恐れて遂に應ぜず濱綏の作舟と策動して今日なほ抗日から反熙洽の色彩を加へ來つたものである。

◇

熙洽が剿匪軍司令兼烏拉衞駐屯の警備隊第三旅長馬錫麟（剿匪軍副司令兼任）に命じ濱綏に自ら主席となつて熙に反した吉林省政府を組織してゐる張作舟討伐を八日から決行するに當り、熙省長官は作舟を除いた一味を說伏歸順せしむべく各方面に亘つて努力を續つたのである、李振聲には特に彼の腹心である阿城電灯公司總理張景樞をして勸告を攜行せしめたが彼は十日赴哈、十一日着哈と同時に李と會見熙の勸書を渡して歸順を說いた、然し彼は從來の行懸り上承服せず王之佑、丁超、誠允、張興等と密議して、熙の作舟討伐は熙自らの意志でなく日本の强要であるとし熙に對し討伐軍の北上中止を要求するに至つた、此處に激怒した熙洽は剿匪軍を北進せしむると同時に[illegible]

◇

李振聲、丁超、誠允等の首領が鎭閥に對峙中の反熙洽軍將士に對し二回に亘る宣傳文を撒布歸順勸告を誘致せんとしたがこれは見事に失敗し何等效果を齎さなかつたのである。

◇

張景樞が李振聲懷柔失敗は十二日熙が過長赴吉によつて熙洽に報告され（一部には歸順に成功濱綏作舟政府解消の報道あるもそれは事實でない）たが一方于深徵軍の討伐北進が遲々として進まぬに業を煮やしてゐた熙洽は前掲の宣傳文で對峙將士の懷柔といふ苦肉策に出でしも事志と合はず懊惱の態である。

吉林政府に斯くまで反する理由は日本軍の行動は錦州占據によつて一段落を告げたものであり且つハルビンは特種の事情にあつて日本の軍隊が絕對に這入らないといふことを信じて自らの安全を期してゐるからである、然し我軍には匪賊討伐の保留がありまた近く發表を見んとする新國家にとつては當然の反逆者であるため彼等鼠輩の命數は幾何もあらうとは考へられない、唯時間の問題に過ぎない運命ではあるがこの短期間に彼等軍閥の殘黨は自稱吉林省政府管下居住民から軍費と稱して最後の搾取を敢行するだけであつた塗炭の苦に置かれる良民こそ迷惑至極である【長春支社南里生】

無產政黨の戰線統一疑はる

社民、大衆の合同危し

【東京十七日發】社會民衆黨第六回年次大會は來る十九、二十の兩日芝協調會館で開かれる筈であるが、この大會に上議さるべき重要議題は運動方針書發表の件、無產政黨の戰線統一に關する件、產業統制案、滿蒙問題對策の件等であり、無產政黨戰線の統一に關しては大會の決議を經て勞農大衆黨に合同を提議するものと豫想されてゐるが、其の合同條件として反資本主義、反ファシズム、反共產主義の三要項を絕對的なものとしてゐるに對し勞農大衆黨側では條件附合同には反撥の擧に出てゐるから兩黨との間の戰線統一は疑はれてゐる

論文と歌詞を募集

滿蒙維新に寄與する我社三大事業の一部

新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の重大事業の中、論文及歌詞募集の二件は左記の條件を以て公募いたします、奮つて雄篇の應募を希望します

論文募集

◇題意　滿蒙維新の大業完成に對する吾人の希望

◇回數　十回、一回一行十五字詰百五十行

◇賞金　當選作五百圓、佳作二百圓

但當選作者は右賞金を以て南支方面を、佳作者は滿蒙地方を共に視察するの義務があります、若し視察せざる場合は、當選作者には三百圓、佳作者には百圓を呈します

◇締切期日　三月十五日

◇審查員及方法　追て發表します

滿蒙維新の歌

◇題意　滿蒙維新を象徵しこれを祝福するの歌

◇歌體　行進曲式

◇歌調　七五調、六節、五項

◇選者　西條八十氏

◇作曲選者　中山晉平氏

◇賞金　一等二百圓、佳作五名各十圓宛

◇締切期日　三月十五日

追て應募歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當選作曲なき場合は中山氏に作曲を依賴することになつて居ます

昭和七年一月

滿洲日報社

凡て懸案は好都合

宇垣總督語る

【下關十七日發】歸任の途にある宇垣總督は十七日午前十時關釜連絡船で朝鮮に向つたが總督は元氣で左の如く語る

豫算關係その他の懸案は萬事好都合に運んだ、滿蒙問題に就いては自分の意見を充分述べて置いた、師團移駐にきまつたら何處に置くかつて？何處でもよいじやないか、今井田總監の問題は僕がゐる中は指一本だつてさゝせはしないよ

正金爲替對策

【東京十七日發】正金銀行は金輸再禁止後實需筋の當用物に賣應ずるのみでインターバンクの取引は行はず卽ち在英資金の引揚げ弗買筋の態度如何によつて市場は統制され正金はこれに干與せず弗の決濟問題等の關係あるので有事一段落する迄爲替建値は現在の儘發表せぬと

舊政權に對する邦人の債權問題

奉天商議解決に努力

舊奉天省政府に對する邦人三百萬圓債權問題は奉天商議より關東軍司令部を通じ數次に亘り急速解決方を交涉中であつたが臧主席の責任者を見るも右問題は依然として放置されて居るに對し邦人債權者は甚だ以て奇怪なりとして商議を通じて嚴重なる抗議を爲す處あり奉天商議は之れに對し奉天省主席臧式毅氏に對し右問題に對し急速なる解決方を取計る樣公文を發したが之の公文に對し臧氏が如何なる回答を與ふるか問題だけに一般から重視されて居る【奉天電話】

投書歡迎　中傷はさらず　五十行以內

卑怯な商人

啓蒙生

◇十五日の八相欄で第四者と稱して打倒消費組合を唱へた人があつたが、第三者なるもののいふところに餘りに理解なき言ひ分に局外者たる我々としても一言なきを得ない。

◇第四者の引用した「第三者」は局外者として眞面目な議論をしてゐるに對し、第四者はこれが恰も當事者なるが如く食つてかゝつてゐる、これが第四者のいふところにして訂正さるべきものゝ一つである。

◇次に第四者によると暴利者は自然淘汰されるから心配ないとあるが、商機をみるに敏なる商人の常として、一度金輸再禁されゝば、原價も工賃も材料（輸入品にあらず）も直に何等影響を受けぬものまでも、直ぐ何割と値上げする事實をどうみるか。

◇殊に滿洲の商人にこの種商人の典型をみる、暴利を攫む口實に機敏にして、他は他力本願のみこととし、自らの工夫努力を缺き、正當な競爭者を讒言して儲けやうと考へるが如き卑怯者にどうして公正なる物價が維持されるものか。

◇關東廳や滿鐵は左樣な卑怯者の私利を庇護する任務をもつてゐない、元來消費組合は不當なる人爲的物價釣上に對抗する消費者の自衞手段であることは內外一般に認むる公論であつて、關東廳滿鐵にこれが設けられても怪しむに足らない。

◇關東廳滿鐵ばかりではない、今後は更にこれが各所で設けらるべきもので、殊に物價上昇の氣味ある今日、この組合の抑制を撤回することは虎を野に放つよりも危險である、我々一般俸給生活者は間接に我々の利益をも防護する組合の發展を願ふものである。

開原驛發送の貨物數量增加

十二月中開原驛より各地に向け發送した貨物數量は三萬三千六百五十五噸四分で、前年同期の一萬一千二百八十五噸七分に比し二萬二千三百六十九噸七分の激增を示してゐるが右は採算關係で各地からの入荷が多かつたためである、種類別左の如し

大豆	豆粕	高粱	小豆	包米	蘇子	麻子	粟米	大麥	雜穀
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（單位噸）二四、六六〇、七　一五二、〇　八一、一二　二九〇、五　二四九一、五　四六、〇　二七六、〇　二二七、六　一、三〇一、八　一、二九三、六　一二五、三

伊國製鋼會社強制トラスト

【ローマ十六日發】イタリー政府は政府の命令に依り製鋼會社のトラストを強制し義務的の製鋼トラストを設立せしむべく近日中に右に關する法令を發するはずである

佛貿易逆調

【パリ十六日發】昨年度のフランス貿易は本日發表されたが輸入超過額は百十七億七千八百萬フランで未曾有の逆調である

人事

▲兒島卯吉氏（大連要氷重役）十七日入港はるびん丸にて歸連
▲室田寅雄氏（前關東廳秘書官）同上
▲石田茂氏（關東軍囑託）同上
▲岩田愛之助氏（愛國社々長）同上
▲原清氏（海軍大佐）同上來連
▲福井又助氏（海軍大尉）同上
▲甚目雅治氏（海軍技師）同上
▲鈴木謹二氏（海軍技師）同上
▲相浦次郎氏（海軍主計少佐）同上
▲津川唯次郎中佐他三名　同日入港奉天丸にて來連

大觀

日本の對米回答　アメリカでは「最も拔け目ない外交文書」といふ評判▲一たい、拔け目ないとは狡猾を意味するか、それとも文書に卒がなく逆捻の餘地なしとの意味か▲前者ならばそれは當然といふべし▲後者ならば日本はその柄にあらず、何故ならアノ回答は日本の行動をありのまゝにさらけ出したまでだ▲隨つて文書に拔目なきに非ず、日本の行動そのものに一點非難の餘地なきを立證せるに過ぎず▲それにしても今更「滿蒙の門戶開放政策維持」に滿足、とは一たい何んのことやら▲支那の「條約無視」「滿蒙門戶閉鎖政策打破」が日本の傳統的政策であり▲今回の事變も全くそれが爲めに起つたことを今まで知らなかつたと見える▲列國の認識不足、呆れこの類▲やうやく乍ら滿蒙の實情が判つて來た以上、列國も日本の態度を早く氷解すべし▲「南面の小濃の不や薄氷」▲例年になき溫暖の冬、却つて流感を誘ふ、市民各位御用心▲「すれ違ふ人も咳入る鋪道かな」

合唱の聲も朗かに スケート行進

華々しく鏡ケ池で行はれた きのふの戸外デー

健康増進の第二回戸外デーのスケート行進は十七日午後四時より鏡ケ池スケート場で華々しく行はれた、全市から集つた男女市民はあの廣い鏡ケ池の周圍を埋め愈々定刻になれば小學生はリンクの外側三百メートルコースに中等學生は二百五十メートルコースに一般男女市民はその內側に整列してラウドスピーカーを通じて唱ふ戸外デー行進曲に伴れて氷上大行進を始めた、右に左に廣いリンクを廻る男女大人子供總數一千、輕快に小鳥の如く氷上を飛ぶ、無數に交錯する銀線を躍らして「健康第一外へ外へ」の合唱も朗かに、風もなく夕刻に至つて氷の堅さも手頃に、如何にも輕快な彼等は嬉々として氷上に舞ふ、周圍に集ふ觀衆も寒さを忘れて拍興し共に行進曲を合唱した、かくて約卅分の氷上大行進は終つた

カチ〳〵が一等

夜に入り氷上假裝行列等の餘興 照明に映ゆ大銀盤

十七日の戸外デーは氷上大行進に次いで午後六時半より同じく鏡ケ池において盛大な氷上假裝行列、歡燈競爭などの餘興が行はれた、會場の池畔には一ぱいに紅提灯をつるして四方に設けられた大照明燈は煌々と銀盤を浮べた、寒さにも増して集つた市民は一帶の堤に一ぱい銀盤を取り卷いてまことに戸外デーの喜びをたゝえた、定刻空には煙火の花火が打揚げられ寒空を美しく飾る

戸外デーのマーチと共に集つた假裝の群は兎と狸のカチ〳〵山大連醫院連中の傷病兵オンパレードはお手のもので觀衆をどつと笑はすそのほか遊立の道化師など入り亂れて氷上を疾走亂舞し遂ひには片足を傷ついた筈の傷兵がこゝは御國の何百里と唱ひ出し御醫者さんを置いて走り出すなど當日呼物の假裝行列は大成功であつた

次で歡燈競爭、フイギアースケーターの氷上遊戯等に觀衆を熱狂せしめ、同八時半盛會裡に第二回戸外デーは終つたが假裝行列は審査の結果滿鐵松原、遞信局打越兩君のカチ〳〵山が一等と決定、大連醫院連中七君の傷病兵オンパレードが二等、滿鐵山田君の遊立の道化師が三等に決定、それ〴〵賞品を授與された

匪鄉潛入記

明日の命を繋ぐ危い綱渡り

夜をかけ大部隊移動

（三）　佐內泗外生

白 野は靜々、萬物凍つて死を裝ふ平原の夜も更け鑛を研ぎ澄したやうに鋭い月が楡樹の木立にかゝつて不氣味ほど物凄い沈默の世界である――左肩から垂直にダラリと銃口を下にブラ下げた者、實彈をギッシリ詰めた重さうな背子帶いかめしく腰から十文字に交した仰々しさ、月光にきらめく青龍刀、モーセル、ブローニング、ローヤル思ひく〳〵の武器に身ごしらえいかめしい屈強の同勢三百餘騎――馬上肅々として今遼河下流の平原を西へ西へと進みゆく――これぞまさに滿洲馬賊の本隊だ！記者は隨つて辛うじてこれ等一群の虎口に身を投じ一隊と共に深夜の平原をひしくと身に迫る

寒 氣と戰ひつゝ不安な行旅を今〇〇〇へと騎隊の先隊を承つて行進中だ、我と我が姿を振りかへる時此物々しい身づくろひ……且て胸に描いた滿洲馬賊……の隊中に跳る自分では無いか……人を見たが最後とつて殺さずにはをかないもの、樣に思はれてゐる馬賊だつて人間だ、喰はんがために手段を選ばない彼等の飽らぬ姿なんだ、一片のパンのため掛け換へのない命をも何時放り出さなければならぬかを思ふと安つぽい生命ではある、だつて俺達仲間にも近頃至る所大小同業者が割據して馬賊世界にも一大恐慌時代が訪れて來た、同じ

土 地に長く頑張つてることは俺達にとつて何よりの禁物だ……、第一部落の食糧が缺乏して仕舞ふ每日十頭づゝの豚を喰つて行くとしたつてどんな大きい部落でも四五日も經てば村中に殆ど豚の影もなく成つて仕舞ふではないか、その上所在を知れる恐れがある、何だつて怖いのは日本の討伐軍だ、その上而も他部隊の襲來にも備へなければならぬ、日陰者の身にとつては寢うして寢ても起きても恐怖と生きてゆくための鬪ひばかしだ、今夜だつて何處の地にか腹一杯喰つてゆつくり休める安全な住み家を求めて幾時間かの行進を續けて來た歩々が同勢三百の生命を

的 に守るよりか攻めては明日の命がつらない世の人達よ識るな馬賊て喰つて生きなくてはならん滿國井眞えがく）

皇軍に感謝して東華教徒が獻金

朝鮮軍司令部に金一千圓

【京城特電十七日發】忠淸南道公州郡に所在する東華教の大教領沈元烨氏は朝鮮軍司令部に出頭して兒玉軍參謀長を訪ひ

現下酷寒の滿洲の曠野に於て活躍中の皇軍は敵匪と戰ひつゝ我同胞のため救濟に努められ劣々衣食住は元より凡ゆる救助を下さることは洵に深く感謝する處であります、私はその皇軍を御慰問したいために現地に赴きたいと思つてゐます、之はまことに僅少でありますが我教徒によつて心から御慰問のしるしですと金一千圓を差出したので兒玉參謀長は我同胞にしてしかも身は教徒であり赤誠ある心意を深く感激して直に受け入れたが其內譯は今回軍司令部より特別に製造を依囑した煙草「ひかり」四千萬本價格八百圓を出征軍へ又負傷者に對して見舞金として金二百圓である

松尾輜重隊愈よ絶望か

依田旅團の搜査空し

【錦州十七日發】錦西の匪賊はその後遂に現れず三日に亘る討伐を終へた依田旅團は錦西東方約三里の地點に到り同地附近で匪賊と激戰以來消息を絶つた松尾輜重兵隊の行方を搜索しつゝあるが、同小隊の消息は依然不明である

寫眞展好評

本日まで日延べ 續々と引伸寫眞豫約

本社主催の時局寫眞展覽會は連日好評を博し、殊に十七日の如きは日曜日と好天に惠まれて、家族連れの參觀者早朝より續々と會場に押かけ、午後四時には實に千五百名を突破するといふ盛況振りで、引伸寫眞の豫約者も多く、希望者は主として母國に記念として送られる向も多く、一名で十枚以上の希望者も多數あつたので本社では折角のこの催しを意義あらしめたいために、特に十八日まで開催することになつたので未だ參觀されない方はこの機會を逸せず來會されたい、開會時間は午前十時より午後四時までである

兵匪に怯え鮮農續々と避難

楡樹縣から五十餘名

昨年事變勃發以來北滿の奥地から難を避け長春に來たり更に安住の地を求めて他に流浪し去つたものおびただしく、現在長春領事館と朝鮮人民會の手で收容保護を與へ居るもの千十四名あり、十七日楡樹縣から匪兵の難を避け來つたもの二十戸五十餘名彼等は何れも十二歲以上には一ケ月粟又は高粱一斗六升の割又は金を食料として惠與されて漸く命を繼いで居るが、それら避難鮮人も流感に襲はれ一層のみじめさを加へつゝあり、なほ東支東南線近くに居住する鮮人は兵匪に脅かされ續々避難して來る模樣である【長春電話】

諦め切れず奔走する

出羽海部屋

【東京十七日發】髷を落して最後的決意を斷行した新興力士團に對して出羽の海部屋では諦め切れずなほ一縷の望みありとなし國粹會に賴ると共に十七日朝來春日野、藤島門下の人々は八方に奔走したが出羽海は午前九時協會に役員の召集を請ひ、席上今迄の經過を報告諒解を求めた

國粹會で髷を力士團へ返す

【東京十七日發】新興力士團の切落した髷は國粹會にては保存の必要を認めず返還した

講演旅行の工專生

きのふ歸連

滿洲の實狀を母國に紹介し輿論を喚起するため九州、山陰、山陽、仙臺方面に講演旅行中だつた工專學生松田一人氏外二名は十七日の定期船で歸連したが交々語る

滿洲問題に關する各方面で講演し座談會を開いたところ青森方面の飢饉地方では直に滿洲へ出て食つて行けるだらうかとの質問が多かつた、京都では學生中に滿蒙研究會が設けられ相當豫備知識を有し、滿洲の各學生と提携して活動したいとの事だつた、滿蒙問題については空漠なる考へをもつものなく眞劍に考へてゐた、だから滿洲から內地に宣傳するにはいかにすれば滿洲では生活ができるかといふ點を敎へることである

弓道リーグ戰

關東州弓道リーグ戰七年度第一回戰は十七日午前九時より中央公園武德會道場において滿鐵本社對沙河口戰を行ひたるがその戰績左の如しなほ第二回遞信局對武德會戰は來る三十一日午前九時より同道場にて行ふ筈なりと

全滿大會準備

昭和製鋼所州內設置期成同盟會は昭和製鋼所の滿洲設置を高唱するため來る二十日大連に於て全滿大會を開催するが、これが準備のため十八日午後二時より市役所議室に於て準備會議を開催する

明大校友會

明治大學校友會關東州支部では十六日午後時より大連扇芳亭に於て總會開催の結果津上善七氏支部長に新任、同氏より更に十一名の幹事を新任、校友たる奉天市長趙欣伯氏に激電報を發し激勵するところあり十餘名出席し盛會裡に午後九時了した

紀元節奉祝會

大連敎化團體聯盟では來る二月十一日の紀元節に午前十一時半より中央公園忠靈塔前で紀元節奉祝會を擧行し且國體に關するパンフレツト一萬部を印刷し各方面に配布する

山縣通の小火

十七日午後五時頃山縣通三十番地西洋家具商和興盛方炊事場より發火壁に建てかけてあつた物に燃え移り正に大事に至らんとしたが消防署の敏速なる出動により未然に消火した、出火原因は煙突の不完全から

安樂椅子

霧島町の魚屋女殺人强盜事件の犯人を捕縛してホッと一息入れた大連署の藁司法主任、六日はいささか氣拔けの態で出署してゐたがしみじみと犯人逮捕の苦心を語り出す。

「捕へて見れば何でもないやなもの、逮捕の端緒を摑むの苦勞は並大抵じやない、幸に早く捕へることが出來たから市民に面目も立つた樣なもの若し今度の犯人が捕まらないであつたら自分はいさぎよく……

昨夜鏡ケ池の賑ひ

第二回戸外デー參加者入選した氷上假裝行列（上）（下）

スケート大會成績

一中と神明高女優勝

大連スケート會主催大連新聞社後援の大連スケート大會は引續き十七日午後より南山麓鏡ケ池リンクにおいて續行、朝來の暖かさ午後に入つて更に增したためにコースのコンディション惡く期待された種々の好記錄も出なかつたが、提灯競走、バツク運び、氷運び競走等のチヤンス、レース等あつて觀衆を熱狂、午後四時十分全競技を終了した

中等校優勝チーム大連一中に優勝旗を女學校優勝チーム神明高女チームに優勝盃を授與し盛會裡に終了した競技成績左の如くである

▲小學生五百米（五年）片岡、鈴木、丸野一雄、野崎清惠、大久保俊郎、內田正郎、吳石喜一、澤田仲英郎、有松吉三、古谷靜子、澤田展江、山ヒデ子（最高記錄男子田仲英郎一分一四秒九、女子澤田展江一分三三秒）（六年）山之內賴行、黑柳保太、廣田正樋村芳秋、山本賦雄、茂木みゆき、岡野絹子、山內久二、丹野福四郎、山村一男、松本秀一、宮澤潔（最高記錄男子山村一男一分七秒七、女子茂木みゆき一分二五秒七）

▲一般五百米　瀨崎義則（一分六秒六）中野善榮（五八秒八）福井隆（五八秒五）今井才一郎（五九秒）秋月寅喜（一分一二秒七）細野俊郎（一分一秒九）

▲女學生二百五十米　日高康子（三七秒）古庄綾子（三八秒六）小野恭子（三七秒三）木村千代子（三七秒八）本山麗子（三三秒四）

▲中等學校二千米リレー決勝　一着一中（三分五秒五）二着二中

▲中學生五百米　小柳秀次（一分一六秒）瀨川秀夫（一分一一秒）門脇茂（一分一一秒三）宮越秀雄（一分一三秒五）佐藤（一分八秒一）井村洸（一分二〇秒五）近田忠雄（一分九秒二）酒井源太郎（一分〇三秒）難波達（五八秒）大村武士（一分）渡邊（一分）

▲スプーン競走　片岡健一、菊次郎、吳正雄

▲女學生五百米　本山麗子（一分二八秒八）小野恭子（二〇秒）日高康子（一分二〇秒）

▲一般千五百米　今井才一郎、瀨崎義則（三分四一秒）

▲女學生千五百米　近田忠雄

滿日各地版

安奉線の匪賊狀況
徐文海の千二百名を始めとし 總數約四千九百名

【奉天】既報連山關守備隊密偵の實地踏査による安奉線で猛威を擅つてゐる匪賊の分布狀況並にその勢力は左の如し

△頭目徐文海　鳳凰城北七區利樹甸子を根據とし部下を廿四ケ分隊に編成、一ケ分隊は隊長共五十名計一千二百名

△頭目鄧鐵梅　鳳城縣南毅三區尖山子を根據とし小頭目に蓋家帮趙家帮、劉玉田の六名あり部下約一千二百名

△頭目(村副)　姜樂三鳳城縣東廣嶺子を根據とし計五、六十名

△頭目祭文耀　鳳城縣東柁屯を根據として部下百名

△頭目鐵公鷄　鳳城縣北雪禮站を根據として部下七十名

△頭目高家帮　鳳城縣東方部落を根據として部下七十名

△頭目李福田　鳳城縣西貂窩堡を根據として部下五百名

△頭目赫盛有(別名二馬棒)　鳳城縣北方部落を根據として部下二百名

△頭目草上飛　鳳城縣五、七區方面を根據として部下二百名

△黄邑三　本溪縣三區塞馬集を根據として部下三百名

△頭目占中華(別名愛中華)　橋頭西方遼陽本溪縣下瓦峪を根據として部下三百五十名

△頭目鐘子忱、同劉克儉合併　本溪縣三、四、五區方面を根據として部下千二百名

總計四千九百五十名

右の内徐文海が最も有力にして元十縣總指揮と自稱してゐたが最近十三路陸軍總司令と稱し黄邑三は天下第一軍總司令、鐘子忱は第一二、三連總隊長、鄧鐵梅は部下全部の左腕に「誓死救國」の腕章を附してゐる而して彼等の目的は日支開戰の際日本軍の輸送を妨ぐべく安奉線の破壞を企圖し鄧鐵梅は安東鳳凰城間、徐文海は鳳凰城本溪湖間、鐘子忱は本溪湖以北の鐵道破壞を擔當區域として打虎山の黄顯聲の委任により行動してゐるものであると

各地の匪賊

【奉天】沙河西南方八支里の工褒堡部落に十五日午前八時半頃李芳林の率ゐる四百名の匪賊來襲し同村で掠奪を行ひ更に農民魏慶山、楊子忱、魏福級の三名を人質として拉去し宋大臺部落に移動したので目下大警戒中である

◇

十五日午前六時徐文海の一味の匪賊約四、五十名は四臺子驛の西方約半里の地を移動中であると

◇

新城子西北方約廿四支里の黑魚溝匪賊團山子附近一帶の部落に中山好以下二百五十名、早手以下百名又高欸に大梯子以下百五十名合同となり新城子を襲撃せんと企圖してゐると

◇

十五日午後二時頃新城子東北方二十五支里の臨門嶺に谷間より騎馬賊百七十名突然來襲し金品を掠奪中である

◇

十四日より匪賊の出沒甚だしく打通線は危險に瀕してゐる又白旗堡より巨流河に至る間に千五百名の匪賊橫行してゐるが右は先日來打虎山附近に猛威を振つてゐた有力匪賊團の某地方に移動してゐるもののやうである

小道溝に匪賊

【奉天】湯山驛西方一邦里小道溝村落に十四日午後二時三十名の賊團出現した報に依り湯山驛の軍警急行交戰の結果賊三名を斃し二名を捕虜とし拳銃三挺長銃二挺を捕獲し午後五時引揚げた

唐大人山襲撃

【奉天】本溪湖署阪元警部補の指揮する警官隊の討伐した唐大人山(姚千戸屯より十三支里)部落に討伐の際逃走した頭目は十五日午前六時歸宅し妾、妻三名を十四日本溪湖署に引致された事に憤慨し部下七、八十名を率ゐて唐大人山部落を襲撃した上、放火して五、六棟を燒失せしめ姚千戸屯を經て田永河子に向ひ廟溝山に入つた模樣であるが廟溝山より十六日再び唐大人山を襲撃し村長を殺害すると豪語してゐる

日支官民合同の新年祝賀宴
長春で盛大に擧行

【長春】時局も一段落を告げ近く新國家も生れ出でようとしかもその新國家樹立式當日の大祝賀會順序も全く準備なり滿蒙三千萬民衆の心も春のように浮立つて來たが長春では田代領事及金市長共同主催のもとに十五日午後六時より八千代館に於て日支聯合新年宴會を大々的に開催、曾て見ない融合平和な氣分を漲らせた、藏本書記生の挨拶に日支美妓連多數は濟間にサービス百パーセントを見せたが歡を盡して散會したのは十時過ぎであつた、因に出席者は

▲日本側　長谷部旅團長、宮島少佐、瀧本大尉兩副官、大島聯隊長、佐藤、鹿野兩少佐、板野憲兵隊長、高原衛戍分院長、神津飛行隊長、森岡憲兵曹長、田代領事、藏本、原田、岡谷、大島各書記生、武波署長、井上、春木、三上、田畑各警部、楢岡地方事務所長、稻葉、三重野、龍谷各係主任、白井鐵道事務所長高瀬驛長、龜山滿電、五十嵐瓦斯、栗原正金、杉之原鮮銀、今村滿銀、岡庭正隆、菱沼國際各支店長、奥平取引所長、山下取引信託專務、鳥名長春實業銀行專務、馬淵郵便局長、塚本滿鐵醫院長、勘崎、得丸地委正副議長、中山三井首席、田邊吉敦技師長、河崎吉林鐵道守備隊司令官、竹下隊附(以下不明)、柏原實業、福一電話局長、綱郵政局長、原督察長、史商務會主席、劉東三省官銀號經理、崔永衡官銀號經管、陳中國、章交通、王邊業各銀行總辦、富大東報社長、朱益民時報社長、李市政府科長、李鐵道守備第二隊長

在監囚人が在滿軍に慰勞金
新義州刑務所の二人

【安東】新義州刑務所の在監囚人二名は在滿派遣軍の勞苦を思ひ勞役によつて得たる郵便貯金の内より一名は三圓一名は五十錢を慰問金として獻金したとは奇特の至りだ

昭和製鋼所問題案で協議

【安東】安東商工會議所では十五日午前十一時より會議室に於て緊急昭和製鋼所實行委員會を開催し協議し午後一時散會したが瀬ノ口副會頭より種々の報告ありて後上京中の荒川會頭より製鋼所敷地は政府當路としては新義州説に有力なるも在京滿洲代表委員の政府當路に對する州內設置運動猛烈のため俄に樂觀を許さぬと云ふ樣な電報を朗讀し今後の對策に就き協議した結果安東側としては依然新義州設置を支持し新義州側と行動を共にするため新義州會議所に電話で照會したるに同所は目下東京、京城等に照會中なれば其の回答により全鮮的に運動する手配なれば安東側も應援を希望する旨のことであつたと

戰死者遺族へ 小學生の同情

【普蘭店】普蘭店小學校の生徒達は時局以來可憐な胸を痛めて動亂の結末が一日も早く片附く事を祈つて居るがお正月も半過ぎ日に增し寒さも加はる今日北朔の地に勤務される兵隊さんや警官達の辛苦もさこそと思ひやり各自からお正月のお小遣十四圓五十五錢を醵出し全校自治會の名を以て十六日感激の手紙と共に軍警兩方面の貧傷者や戰死者の遺族へ贈呈方を民政署へ願ひ出でたので當局では夫々その手續きを完了した

四洮線への送電 愈々近日中實現
一月一日迄には點火

【四平街】四平街電燈會社は四洮沿線八面城に送電すべく客年以來之れが準備に殆んど寧日なき狀態にあつたが來る二月一日までには全部の施設を完了して點火を見るに至るであらうと右につき富田同社專務は語る

八面城まで電線を延長するには少なくも五百本餘の電柱を樹立しなければならぬ、一番困難を感じたのは電柱を樹立する穴の掘鑿であつた、何分地層が凍結してゐたので容易の術ではなかつたが正月も休まず激勵した結果難日完了を告げ頃來電柱樹立に取掛つてゐるが一日六十本位樹立し得るので大して至難なことゝも思はぬ

同地に 八百の電燈を點すると假定しても金額に直せば一ケ年約一萬圓程度のものだが洋が上つた關係で僥倖にも缺損は見ない、素より利害を打算する性質のものではない只四平街の文化施設を未開の地に延長すれば自分の使命は果されるのだ、施設費は約五千圓位のものだから一ケ年經てば經費を差引きて五千圓程度の利得を見ることになるから餘り惡い事業ではない、同地に於て邦人の最も有利の事業は粟の精選工場だらう、八面城粟は夙に內外に認められた

特産で あるから同地で之を精選して市場に出せば更に聲價を高めるばかりか一面精選業者も相當の利益あるは疑ふ餘地はない、若し斯うした企業者もあらば會社としては凡ての工業を獎勵する意味で出來得る限り便宜を圖る意志で居る尚ほ點火と共に同地在住の華人側有志を一堂に集め何等かの歡興を與へて永遠に此の日を記念したいと思ふがそれに相應しい趣向はないだらうか……

此の書狀が御手許に屆きましたら勝手ですが御住所御姓名を明記して御知らせ下さいませ、公主嶺駐屯騎兵第二聯隊第一中隊として御願ひ致します、折角御大事にさようなら

陣中にて　山田哲太郎

篤志家樣

山田一等兵をめぐつて 美しい心と心の渦卷き
このかくれた一篤志家に この山田一等兵の心境

◇**蒙古嵐** の吹き卷くる十二日午前零時二十分公主嶺騎兵聯隊が重大任務を帶び錦西方面に向ふ可く當驛通過の際昂々溪の戰鬪に敵軍の捕虜となりたるも奇しき緣にて元隊に歸るを得たる山田一等兵が本隊に交り居る事を聞き込みたる當地在住の一篤志家は戰鬪中に捕虜となりたる其の氣持に同情し各車輛を探し求めたる結果發車間際となりて馬屋當番勤務中の山田一等兵を探し當て「煙草なり」とて金一封を與へたる謎の人は山田一等兵よりの依賴に依り當地警察に於て內査中の處此の

◇**篤志家** こそ近藤藥舖主人山崎德繁氏なる事が知れた同氏を訪へば

何んでもない事が警察迄御迷惑を掛け寧ろ恥かしき極みであるとて山田一等兵の手紙を示されたが山田一等兵が天晴れ帝國軍人としての氣分が左により窺はれる

只今はお寒いのにも拘らず態々御見送り下さいましたのみならず御贈り物に預りまして柔く深く御禮申上げます、貴方樣の樣な篤志家の御名前もお聞きする事を忘れました愚かさを今更ら悔いてゐる次第です、發車してからは如何樣にも成り難く警察から此の

◇**書面を** 屆けて戴く事に氣付きました願みますれば九月十九日南嶺攻擊以來チチハル攻擊に又復錦州攻擊に心厚き皆々樣方の御聲援と御後援が何時も耳に目に殘り勇氣百倍連戰連勝しましたが昂々溪の攻擊にあの樣な不覺をとり軍人として死に勝る恥と深く謹愼してゐるにも不拘多數同胞の御同情を受けまして其後再三再四の戰鬪に參加する事を得ました事を心から感謝してゐます、無き生命を拾ひましたのですから次々の戰鬪には花々しい戰死を豫期し大いに働き皇國の爲め御同情厚き皆樣のため御恩の萬が一に報いたいと決心してゐます、

◇**見た事** もない未知の者に斯る多額な金子を御投じ下さいました御心意には戰友の誰れもが熱き感激の淚に咽びました

筑前琵琶『北滿嵐』

關東軍司令部　臼田少佐　共作
同　岡田猛馬
法鷗山　豐田旭穰　作曲

(下)

氷口主計は殘兵を集め
悲壯の決意面に現はし
前門は銃火の堰、後門は
霽風火を呼び飛び來ぬ
之ぞ寒土の門火ぞや
彌陀の招きに死所を得ぬ
やがて滿洲野に春ぞ來て
大和櫻の香に匂ふ
皇帝のしろしめす
王土の民草色まさん
されどやみ〳〵此のまゝに
憤死せんより打つて出て
進んで敵彈に殪るこそ
日本男子の本意なり
重要書類は殘りなく
火中に投じ燒捨てよ
後藤、中山他二名は
如何でかして此旨を
聯隊長に報告せよと
命じ終るや軍刀かざし
怒濤の如く攻めよする
敵の眞只中に斬つて入る
岡村主計之に續けば
殘る兵士おくれじと
猛射を浴びて突進し
縱橫無盡に斬り立て斬たて
暫時鬪ひ居たりしが
流石勇將猛卒も
衆寡敵せず無慘にも
恨を吞んで荒野邊に
陛下の萬歲唱へつゝ
胡砂吹く風に散りにけり
報告の重任身に帶びたる
四名の勇士は二方より
右に拳銃左手には
銃劍おつとり無二無三
血路を開き進みしが
一人殪され又一人
僅に後藤一等兵
飛鳥の如く逃れ出づ
逃しはせじと敵兵は
銃火浴びせて追擊す
身丈に餘る芦原に
身を躍らせて飛び入れば
沼地の氷、幸ひに
鍛へしスケートの
妙技揃つて虎口を遁れ
重き使命を果せしは
神の補けか奇蹟なる
壯烈英靈泣鬼神、驚天動地敷江濱、男子志氣爭先死、竹帛留芳萬古春
時に夕陽斜きて
零度を下る四十度の
寒さに屍は野に氷り
靜かに眠る十六士
英魂永久に還られど
皇國を思ふ赤誠は
滿洲野の夕陽にいや增り
武名は興安の嶺より高く
後の世までも殘るらむ
後の世までも殘るらむ

奉天公費豫算

【奉天】十八日午後一時より奉天事務所會議室に於て昭和七年度の奉天公費歲出入豫算會議が開催されるが本年度の豫算總額は約四十四萬圓で前年に比し四萬一千圓の減額である又蘇家屯區公費豫算會議は十六日午後二時から奉天事務所に於て開催されたが七年度の總額は二萬五千圓であつた

奉天カフエー組合創立

【奉天】奉天におけるカフエー業組合の飲食店より分離獨立する問題は昨年より種々論議され結局機を見て分離することになつてゐたが今回愈々飲食店組合から全く分離した組合を設置することになりその筋に請願中であつたが去る十四日認可となつたので十五日午後四時から三光に於て組合の設立總會を開き役員の選擧經過報告その他規約等を決定し六時頃散會したその役員は左の如し

會長木村邦明、副會長林彌吉、會計監督木下秀雄、評議員高鷲久次郎、田村鹿之助、辻川恒一池田芳次

銃器を下附

【長春】長春附近は目下萬寶山附近が匪賊の巢窟化して來たが長春縣長は銃器彈藥不足のためこれが徹底的討伐が不可能であるので縣長趙汝楳氏は熙長官に對しその下附方の申請中だつたが今回認可指令に接し十四日大隊長張焘動をしてこれが受領に赴吉せしめた因に今回下附された銃器は步兵銃三百挺、彈丸二萬發であるが第一回下附の步兵銃二百挺、彈丸二萬發と合し銃五百挺彈丸四萬發となつた譯である

遭難記者の遺骸 十八日目に奪還
營口本願寺に安置

【營口】田庄臺から賀掌寺方面に進出せし我第〇〇〇隊の主力は十六日午後二時頃蔡貫山、老來好等の匪賊の一團に遭遇し約一時間に亘り交戰したが敵は遂に北方に向つて逃走した、此際舊臘殘殺されたる大朝社員油井義雄(二九)の死體を遺棄しあるを發見我軍に於て奪還した遺骸は十六日午後二時當地着直に本願寺に安置され十七日茶毘に付したが殺害されてから丁度十八日目に奪還されたものである

商議役員會

【營口】營口商業會議所では十七日午後二時から遼河の不凍港化問題、滿鐵運賃對策、河北發着貨客對山海線打通線の連絡對策、關稅問題等に就き金融問題對策、取引所並に役員會を開き協議を凝らした

安東 下附の御神寶

伊勢皇大神宮より新義州平安神社に下附の御神寶は左の如し
皇太神宮より革御靱　一腰
同別宮よりは銅黑造御太刀　一柄
同梓御弓　一張
豐受大神宮よりは御楯　一枚
同別宮よりは御鏡　一面

十六ミリ寄附

四番通西川醫院主西川勝彥氏は大和小學校父兄會に對し十六ミリ活…

開原 開原電氣招宴

開原電氣株式會社專務千々和氏は一月十六日午後一時同社に於て電燈點燈し多大の顧問其他關係官民を福寶樓に招待し自治執行委員指揮を報告し感謝の意を表し續いて滿宴を張つた…

奉天 古物組合總會

奉天古物商組合では十五日午後…時より總會を開き役員改選の結果會長に井上源三郎、副會長に高原清一郎氏が決定し午後四時頃散會した

北關夜話

長春の發展、慥にスバラシイものにならうとは誰しも期待してゐるところである▲鐵道の中心地たることは事實でそれだけ貨物の吞吐旅客の往來は頻繁に▲だがそれだけではハルビンの繁榮を奪ひ取るまでにはいかん▲莫大な金を懷中に每年內地から來る滿蒙視察者がハルビン行きを目標にするのはロシア情緒?エログロ探見者ばかりで▲それ等がハルビンに落す金は一年を通すると驚くべき巨額ではある▲吾等長春人は關東廳のお役人達が時代の要求を容れせめて長春だけにハルビンの繁榮を建させて貰ひたいものぢやが▲固いことを云ふその役人達は人以上に好きであつてヤレ規則だヤレ衛生上、保安上と七面倒臭く出る▲その癖匪賊討伐さなれば經費がない人員が足りないと來る考へてみると情なくなるテ▲ドウダハルビン探見者を長春探見で滿足させる方法を講じて見ては▲無國籍者の白系美人もハルビンよりは長春居住を望んでゐる新國家建設のお祝ひとして一考しては▲更に不景氣の吹飛し策として頭彩十萬圓位の彩票發行を、滿鐵三千萬民衆はそれこそ隨喜の淚を流して新國家を謳歌することであらうが【長春】

曙の鐘 (169)
倉田潮
河野想多畫

第二の戀人 (二)

離の庭を一時間ばかりもさまよつてゐた末に、あけみは久し振りで洋館に行つて見ようと思ひついた。

洋館の仲居達は近頃しば〳〵屋敷へ訪れて來るが、こちらから洋館に行つたことは殆ど無いのだつた。剛太郎の時以來洋館は別の家のやうな氣がしてゐた。最近逢つたお夏の云ふところではお冬の去つた後は、自然お夏が「萬事采配をふつてゐる」とのことだつた。それはあけみ自身もお夏に十分意を含めておいたことで、或る時期まではさうさせておかれば立ち行かぬことが解つてゐた。

あけみは洋館の園ひ中に進み入つたが、玄關からは中に這入らなかつた。わざと横の下り口から地下室に近づいて行つた。取つつきの誰もゐないコンクリの箱のやうなくりやの中で、釜の下のガスが勢ひよく呻つてゐた。そして、その側には半分に切られた白菜がまないたの上にのつてゐる。晩い朝餉の用意らしかつた。

遠い部屋からふと水の音がかすかにもれて來るのが聞えた。誰か朝の風呂に這入つてゐるのだらう。あけみは厨を出て隣りの物置きに這入り、その小窓から次の浴室をのぞいて見た。

お夏が湯に這入つてゐるのだつた。豐艷に肥つた其の肉體は、あけみの眼を引きつけるに十分な美しさを持つてゐた。

柔かい白磁器のやうな其肉體は、溫湯の爲めに桃色に色づいて、その上を滑り落ちる水滴につやつやと光つてゐる。今迄いろ〳〵な男と接し、樣々な罪惡に染まつて來た肉體であらうのに、微塵も汚れを止めず、その痕跡も殘してゐなかつた。それは罪惡と云ふ特殊な行爲の種類が實在しない爲めであるか、さもなくば實在しても皮膚を滑る湯水の如く瞬間に流れ去り消え去る爲めであらう。あけみは「穢なき肉體」を其處にもまた見出した。

あけみはお夏と可成り親みを持つてゐた。

着物を浴室の板の間にぬいで、底意のない笑ひを漏らしながら、あけみは靜かに浴槽に步みよつた。お夏が側から新しい手拭を差し出した。あけみは湯をつかひながら、筋肉のひきしまつたスラつとした己の體を、しあがり湯をくんでくれた。あけみは湯をつかひながら、筋肉のひきしまつたスラつとした己の體をお夏の肉體と比べて見た。それは日本の二つの時代を象徵する各異つた裸體だつた。お夏の肉體には男にすがらうとする寄生的女性のたをやかな美があつた。そして、あけみのそれには寄生せずともやつて行ける獨立的女性の力強い美が現れてゐた。しかし、その肉を流れる血潮には一脈相通ずるパンプの血球が含まれてゐるのかもしれない。あけみは己の考へに微笑をさそはれながら、

「お夏、お前、昨日また警察へ呼び出されはしなかつたかい」

と訊いた。

「ええ、呼び出されて遲くまでとめおきを食ひましたわ。歸つたのが十一時すぎなので、今朝これから御話しに上らうと思つてたりましたのよ」

「何んなことを訊かれたの」

「お夏」と彼女はそつと聲をかけた。「私こゝに來てゐるのよ」

「誰?」とお夏はやゝ驚いた調子で問ひ返した。

「私よ。屋敷のあけみよ」

「まあ、御嬢さんですの。すぐ出ますわ」

「出ないでもいゝわ。私も一緒に入れてくれない」

彼女はふとお夏と一緒に朝湯にしたり度いと思ひついたのだつたが、お夏の答へは躊躇の響きを持つてゐた。

「お湯にですか。私のよごしたお湯に?」

「さうよ。私も這入り度くなつたのよ」

「そんなことをせずとも、お前の這入つてゐる其の湯に入れてくれないの」

「勿體ない御座いますが、これで宜敷くば……」

「さう、では、這入るわ」

この頃しげ〳〵逢つてゐるので…

新刊紹介

▲國境を超ゆれば(宮原欣著)振はない滿洲の文壇にあつて「未來」に引續いで「國境を超ゆれば」の堂々六百余頁に亘るこの長論を完成した著者の努力に先づ敬意を拂つて見る、滿洲は廣い、この廣い滿洲を背景として培はれた文藝の跡いの果ではなからうか、著者は自由自在に滿蒙の天地に登場人物を躍らしその言はんと欲するところを先分盡してゐる、著者の言葉を借りてみよう「こゝは曠原の中だ、もの悉く目新しい、こゝにどんな運動が起つてどんな方向へ進むか、それを究めよう、そして全世界人へ知らさう、これが大切だ!」といつてゐる、建設聯盟が土臺となつて登場人物は日本人を初め種々の民族が相交錯して運動が進展してゐる今や滿蒙の天地には東北三千萬民衆の待望久しきに亘つてゐた滿蒙維新の黎明は訪れ來て新國家の建設により樂土にならんとしつゝあるそれに連れ幾多の國境を持つ滿蒙は益々政治的に或は外交に微妙な動きを持つ、この意味において本著「國境を超ゆれば」は單なる創作といふより社會文藝として敢へて江湖にすゝむ(四六判、定價一圓五十錢、東京市日本橋江戶橋二ノ六創建社)

けふの放送　大連 JQAK　一月十八日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時十分ニユース
▲兒童科學講座　第二十三回「最近科學文明の概觀」大連神明高等女學校大貫正
(以下內地中繼七時)
▲管絃樂　交響曲ニ短調フランク作、日本放送交響樂團、指揮山田耕作
▲連續二人漫談「一九三二年風景」德川夢聲、古川綠波、伴奏指揮福田宗吉
(以下大連放送局より)
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース
▲中國劇「烏盆計」遼東俱樂部々員

對日國交斷絕問題は中央全體會議で討議
南京政府に贊否兩論
蔣介石一派は斷交に極力反對

【南京十六日發】本日の行政院會議で對日外交關係斷絕宣布問題討議され孫科、陳友仁らは極力斷交宣布論を支持した　政府部内に斯くのごときは徒らに日本の術中に陷入り重大結果を招致するとて强硬に反對するものありて決定を見るに至らず廿日頃臨時中央執監全體會議を開き投票により採否を決する事となつた、斷交宣布反對の急先鋒は吳稚暉、顧孟餘らで蔣介石派領袖はすべて陳友仁の外交方針に反對し居りかたぐ孫科がこれらの反對を押切つて斷交宣布をなす決意あるや疑問とされる、但し國府内に日支直接交渉を主張するものなど一人もなく對日方針は益々硬化するのみで新政府が尙日支直接交渉を對日方針の目標として居るなど信ずるは最近の政情の變化を解せぬものである

對日國交斷絕論者の眞意

【南京十六日發】スチムソン氏の對日通牒以來俄に對日强硬を示してゐる陳友仁外交部長の腹案對日絕交論は側近者談に依れば對日絕交論は對日開戰を意味せず外交關係を斷絕した儘滿洲の情勢が九月十八日前の狀態に外交關係を回復せんとするもので奉天の原狀回復には新ワシントン會議を招集せしめ之に依り滿洲問題の解決を期するものだと云ふにある

民國日報不敬事件
支那側わが要求履行

【上海十六日發】民國二十一年一月十六日當地民國日報の不敬事件に關し居留民の決議文を總領事に手交するに至つたが村井總領事は本日午後白井副領事を帶同吳市長を訪問、日本國體に鑑み本事件に就き速かに我要求を容れる樣嚴重要求した、吳市長は本日の民國日報が政府側の注意に依り取敢ず謝罪聲明文を載せ遺憾の意を表し居る事を述べると共に申し入れ條項の履行に就き誠意を示し目下謝罪處罰等の具體的方法に就き打合せ中である、因に日報の謝罪聲明文なるものは用語不充分の爲め誤解を招いたものであるとなしてゐる、尙當地在郷軍人會支部は右事件に憤慨し若し支那側に於て我要求を容れぬ場合は本部に打電し一般の輿論を喚起すると申合せてゐる

靑島事件で逆捩的抗議

【南京十六日發】外交部は靑島事件に關する抗議文を昨日附で十六日朝南京領事館經由重光公使に宛て提出した、内容は逆襲的に我靑島領事をして靑島市政府に對し、陳謝、賠償、犯人逮捕を要求したもので相當强い字句が列べてある。

助からぬ南京政府
財閥、軍閥に見離さる

南京來電、支那側某要人談によれば孫科は上海における現下の財政狀態に鑑み已むを得ず二五基金（內債償還基金として關稅附加稅二分五厘を上海民間銀行業者を以て組織せる委員會をして保管せしむ）に手を觸れる意志あるを洩らしてゐる、これが爲め上海銀行界及び關稅關係に大恐慌を來し

一方

公債は空前の下落を示し十三日夜總稅務司と協議の結果南京政府に對し若し斯くの如きことあらば銀行界は稅關と協力の上關稅剩餘金は政府に送致することを中止しこれを二五基金に繰入れ保管すべしと通牒した、而して山東、廣東及び平津地方の中央稅は各々その地方の軍閥是を抑留せしのみならず何成濬、魯滌平、顧祝同も夫々湖北、江西、江蘇地方より中央に送附する各稅を抑留する命令を發しこれが爲め

中央

の稅收入は殆ど皆無となり南京政府の生命は財政的に危殆に瀕してゐる、なほ上海支那銀行は十四日午後より取付を喰ひ始せられ中央銀行最も甚だしく中

汪精衞杭州に赴き蔣介石と重要協議
共同政務を執るか

【上海十六日發】陳銘樞は今十六日朝杭州より來滬十字病院に汪精衞を訪問蔣介石の意を傳へ重要協議のため即日赴杭されたいと要求する處あり依つて汪精衞は午後六時二十分發列車で杭州へ向つたが停車場で語る

病氣は稍々良くなつた蔣介石の招電で國事を議するため赴杭するが或は蔣介石と共同政務を執るかも知れない

尙汪精衞は孫科、胡漢民に右の旨を打電し胡漢民に即日赴杭を促した。

【杭州十六日發】汪精衞は十六日午後十時四十五分杭州到着、宋子文、魯滌平等に迎へられ直に宋子文と共に蔣介石を訪問蔣介石は大いに喜んで汪精衞を迎へ十七日午前一時に至るも尙會談を續けてゐる

國、交通兩銀行の紙幣も通用せざるに至る、而してこの裏面には蔣介石の策謀あること勿論である【奉天電話】

モラトリアム實施
內債利拂を延期し新公債發行か
南京政府の切拔け策

【南京十六日發】政府方面では最近一切の內國債に對する利子に向ふ六ヶ月のモラトリアムを實施すべしとの運動次第に强くなつて來たものゝ如くだ

【南京十六日發】本日の政治會議は內債モラトリアム案に關し討議の結果對日國交斷絕案と共に近く臨時全體會議を開き投票に依り決することゝなつた、モラトリアム案に依り一億四千萬弗の支出を減じ年內新公債を發行して危機を救ふの要なしとしてゐる

【南京十六日發】內債モラトリアム案は臨時全體會議に持ち越されたが浙江財閥が支持せぬならば之れを實施する外あるまいと觀らる

爲替市場を刺戟した米復興金融會社案
金本位放棄說の誤傳

【ニューヨーク十五日發】復興金融會社その他金融擴大策が着々進行してゐるのを見て海外諸國ではアメリカは今や一大インフレーション運動に乘出したと信じてゐるらしく此事は直に爲替に反映して現はれたドル貨の價値は本日に至り著るしく下押した、即ち米英爲替は本日約三仙既落し又同爲替も一弗以上暴落した爲替市場の第一因はアメリカが金本位を放棄するならんとの噂が極東に於て流布されてゐるためである、此の風說は明らかに復興金融會社案の目的並に聯邦準備銀行の金融緩和策に對する誤解より生じたものである、勿論アメリカが金本位を放棄する等の說には何等根據はない復興金融會社案の主旨は鐵道會社を救濟する事である、準備銀行の金融緩和策は既に實際以下に下落してゐる諸證券相場を此上低落させないやうにする事を目的とするものであり事實多數の有力公社債類は既に普通ならば賣買不能と考へられる値頃まで低下してゐるのである、アメリカが金本位を停止す可しとの風說を捏造する人々の說を打破するにはアメリカは金本位放棄によつて寸毫も益するところがない事を言へば足る、又更にアメリカの巨額の金保有高より考へて金本位を放棄しなければならぬ事情にあると取るに足らぬ說である

反動を恐れ買氣出現
昨日爲替市場

學良吳佩孚北平入り慫慂

學良別働隊に砲彈藥輸送

奉天票に悩む天津の商人

米の對滿態度樂觀
わが外務當局の見解

米は門戶開放策に滿足

支那の對米回答を公表

支那また聯盟に泣附く

日露條約には消極的態度

大逆事件責任者
長前總監は懲戒免官
他は追て審議

民政黨の新役員

滿洲事變費
本年度豫分豫算

近く親任
ブラジル大使
林總領事

次田氏民政入黨

再び軍閥の時代
最近支那軍隊の實狀

財政會議續行

張海鵬氏けふ着奉

朝鮮軍との交替
來月中には實現

民政黨新政策

葉梨秘書官
今夜東京出發

山岡長官
時局問題懇談
南大將訪問

政府與黨連絡
係り決定

關東廳高等課長
江口治氏

久原氏留任

東亞の謎
國枝史郎
插畫 伊藤顯三

瑞雲棚引く空を 愛國號で歸奉
錦州に陣中見舞した 本庄軍司令官

錦州錦西の第一線に活動するわが將士の志氣を鼓舞しその勞をねぎらふ爲め本庄軍司令官は十六日朝飛行機にて塚田參謀住友副官久世憲兵隊軍曹を從へて一路錦州に向ひ室師團長を始め各幕僚を親しく訪問し同日は錦州に一泊、奉天より出迎へた愛國第二號に初搭乘して十七日午前十時三十分錦州を出發、正午奉天東塔飛行場に無事歸還したが本庄軍司令官は至極元氣で愉快さうに記者に語る

飛行機に乘つたのは今回が初めてであるが殊に歸りは熱誠なる國民の贈り物である愛國號で歸つたことは非常に愉快である、往きは鐵道線路に沿つて打虎山に降り約一時間視察すると共に駐屯軍の勞をねぎらひ之れより錦西に向ひ錦西上空を低空飛行し錦州に向つた錦州一帶をも低空飛行して視察し直に城內に落ち付いたが師團長始め各幕僚將士と共に近況を聽取し今後の連絡をとつた

支那人側とも各縣長、省政府要人達と會見したが大體に於て匪賊討伐も一段落ついたので至極平靜である、支那人側では馬賊の討伐が何よりの希望であつた一般の復興までには相當時日を要するだらうが着々進行しつゝある、各地とも新興氣分がみなぎり緊張してゐた

上空航路は千六百メートルから三百メートルの高さで今朝は錦州を出發して間もなく千六百メートルの高さで來た處雲が低くかゝつてゐたのか雲の上となり非常に愉快で丁度瑞雲たなびくと云ふことを實際に見た譯である愛國號の工合は非常によく動搖もあんまり無く汽車より樂で安全であると云ふことを感じた

ここは誠に意義あることで國民も滿足するであらう、閣下には飛行中非常に元氣で色々と尋ねられた、錦州附近一帶の匪賊は既に洗定したので今では振興氣分で商民は懸命に努力してゐる事は誠に嬉しい次第である【奉天電話】

雲上たかく飛行
川原、辻兩操縱士語る

また愛國號には加藤少佐、川原、辻兩大尉、松村軍曹などが同乘したが川原、辻兩操縱士は交々語る

錦州附近を出發したのは午前十時半でありました、途中奉山線を傳ひ千六百米の高度をとりましたが、丁度十七日は近頃珍らしい低雲がたなびいてゐましたので雲上高く飛揚し西北へとコースをとりました、風もなく飛行には絶好の天氣で一寸雲から出て見ますと新民を行過ぎてゐるではありませんか、それで大急ぎで方向を東に轉じて無事歸つて來ました、錦州から奉天まで打虎山、新民にはわが將兵が第一線に起ち嚴寒と戰ひ目覺ましい活動をしてゐるところもありましたが雲のためこれら將兵を訪問することも出來ませんでした、何しろこんな順調な飛行で事なく豫想の時間より十分も早く到着した次第であります【奉天電話】

意義ある飛行
塚田參謀語る

同伴の塚田參謀は左の如く語る

今回軍司令官の初飛行に國民から贈られた愛國號機に乘られた

任務を果し けさ能登呂入港
空には艦載機飛ぶ

客臘皇軍の錦州方面匪賊討伐と共に山海關方面に出動警備の任にあつた特務艦能登呂（總噸數七千噸艦長海軍大佐三並貞三氏、乘組員准士官以上二十七名、下士官以下二百四十三名）は無事重要任務を果し務深い十七日午前八時大連港外に姿を現はし同十時十五分第一號ブイに繫留された、これよりさき既に同艦々載の水上飛行機は晴れの大連上空を悠々と飛びその雄姿に市民を歡喜させた

同艦は三日間大連港に碇泊廿日午前九時旅順に向け出發の豫定であるが同艦入港と同時に中川滿鐵埠頭事務所海運長、江原海務局港務課長は同艦を訪問した

山海關方面 案外平穩
上陸將校語る

入港した能登呂乘組員は午前十一時半上陸したが乘組の一將校は語る

客臘三十日に山海關に上陸し一同いざと云ふ場合は大いにやるつもりでゐたが、山海關は新聞などで噂された程に危險もなく甚だ平穩であつた、支那兵は二個旅駐屯してゐたが寧ろ日本側に好意を持つてゐる位で何事も無かつたので無事に任務を遂げて來ました

旅順の戶外デーと大連スケート大會

因習を打破し 斷髮結盟式
新興力士團結束固し

【東京十七日發】髷を切つて完全に結束を固めた國坊主力士團結盟式は十六日午後六時から駒込の本部で行はれた、その際たゞ一人髷を殘した理由を出羽ケ嶽が詳細に說明し八時頃天龍は因習に囚はれた角道を革新す可く髷を切つたが今後は純眞なスポーツとして日本角道の途に奮鬪しやうと一場の挨拶をなし同十時頃この歷史的斷髮式は終つた、なほ旅揚興業は二十三日頃の豫定である

滿洲神社奉建委員會を開催

滿洲神社奉建會規程に關する委員會は十六日午後一時から旅順市役所會議室に於て開催、永山委員長議長席につき規程原案につき協議した結果

名譽會員は千圓以上とあるを五百圓に、有功會員は五百圓を三百圓に、通常會員百圓未滿を十圓以上

と修正、大體既報の如く決定した次で造營趣意書に關しては更に永山、東畑、米岡三委員に於て修正をなしまた關東廳の補助金下附願の點に就いては委員五名を選定の上至急出願する事とし午後四時半散會した

大連スケート大會
午前中の各競技成績

大連スケート會主催大連新聞社後援の大連スケート大會は十七日午前九時より南山麓鏡ケ池リンクに於て擧行、定刻選手一同役員席前に集合、小川會長開會の挨拶後優勝盃、優勝旗の返還を行ひ直に競技に移つたが大小のスケーター、鐵盤上を飛躍し手を握る、午前中の觀衆手に汗を握る、午前中の成績左の如し（一着のみ）

▲中等學校二千米豫選 一着二中 二着商工 △一着一中（三分三六秒四）二着大商

▲小學生二百五十米（四年）鄉、黑澤宏、蒲淵武男、澤田秀雄、金田榮一、岩井良雄、岩見隆弘、山下壽夫、伊東幸男、岡田重正、黑明良鷹、川本勝二、吳寅風、谷山京子、小島トシ子、伊藤美知子、井上敏子、崎岡京子、清子フサ子、寺坂智惠子、宮崎敏子、三宅秀子（最高記錄男子金田榮一三八秒三、女子小島トシ子五二秒六）（五年）守眞節夫、花岡三雄、百東梅、西坂ミツ、石井せち子、福良多榮子、吉原富美子、山崎勝人、野本二郎、小島博、小松安、四元清一、深堀秀夫、高山次郎（最高記錄男子高山次郎三六秒二、女子百東梅五〇秒六）（六年）岩間二四子、村井安次、宇澤達雄、木村好二郎、白石成明、吉米末吉、園田良鷹、林善夫、尾崎幸治、久保一郎（最高記錄男子久保一郎三四秒八）（高小）新納大造、入江一夫、井上誠一、岡田季雄、女子岩間四二子五四秒六、田丁四郎、高野二郎（最高記錄新納大造三三秒三）

▲ホッケー準決勝戰 滿鐵九——一大連醫院（山田、高橋、秋月三氏審判午前十時三十分開始）

滿鐵 3 3 3 ——1 0 0 醫院

（醫院）河賀 代井浦山 北大 覓田白高陶 RW CF LW 1D LD G

（滿鐵）尾寸部 井倉野 西小 阿 浦內山 王澤A紙（宏德）日鶴クラブ

旅順の戶外デー
スケート大會と共に けふ盛大に擧行さる

旅順體育研究所主催の戶外デー及び第五回全旅順スケート大會は十六日午前九時三十分から富士町スケート場に於て擧行、參加する者一般市民學生、生徒、兒童約一千餘名に觀衆數百名に達し無風快晴、旭光銀盤上に輝く絶好のスケート日和で御給會長開會の辭を述べ戶外デーの歌は朗らかに高く合唱されて次で全員のラヂオ體操の後、選見選手はスピート、フイギユア類選手の模範演技に次いで戶外デー宣傳滑走の後第五回スケート大會に移り例年に無い盛會を極めた

國粹會は 手を引く
聲明書を發表

【東京十七日發】新興力士團から髮を送られた國粹會では十六日午前十時から虎の門の本部に北氏以下幹部集合午後六時迄協議を重ねたが、吾人の誠意足らず調停の不調に終つた事は慚愧に堪へざる旨聲明書を發表し氏の外三名は午後八時半駒込の新興力士團本部を訪問天龍、大の里らと會見國粹會は決議によつて協會と力士團との紛爭事件から手を引く事になつた旨を述べた、これに對し天龍から今後もよろしくお願ひする旨を述べ會見を終つた

先代出羽海の 墓前に報告

【東京十七日發】結盟式を擧げた新興力士團は角道刷新のスタートを切るに當り先代出羽海墓前に事茲に至つた經過を報告することゝなり十七日午前五時三十分天龍、大ノ里、山錦、常陸島、和歌島、新海の六名が下谷々中の墓地に至り經過報告をなしたる後國粹會本部を訪問調停についての感謝をなした

球磨旅順入港

第二遣外艦隊旗艦球磨は十六日午前九時許島より入港南岸に投錨廿三日碇泊の豫定

福原鐐二郎氏 逐に逝く
前美術院長

【東京十七日發】前帝國美術院長貴族院議員福原鐐二郎氏は豫て腦溢血症に罹り療養中の處十七日午前零時四十分牛込の自邸で逝去した享年六十五

濱松重爆機 無事歸還
昨日三方原

【濱松十六日發】濱松飛行聯隊から滿洲へ出動した重爆機四機は今回歸還部隊のトップを切つたものであつて十四日大連發途中太刀洗に二泊の上十六日午後二時五分銀翼に武勳を輝かして市民の歡迎裡に三方原飛行場に着陸した

五十八萬圓が灰燼
百九十五件百八十一戶に上る 昨年中の火災件數

昨年中大連市內の火災件數について大連消防隊の調査した處によると總件數は百九十五件百八十一戶で二、三月が最も多く十月、十二月、十一月の順である、殊に之等の月には中國人の失火が多く十二月だけが日本人に比較的多い、內二件は放火であるが他は悉く失火である

その原因で一番多いのはやはり土地柄だけに煙突の破損や飛火が多い、之に次では煙草の吸殼が二十九件にも上つてゐる、漏電も相當に多い、火災の大部分が卽時消止或は不延燒に終つてゐるのは全く消防隊の努力に負ふものである

損害高は動產が三十三萬圓、不動產が二十五萬圓計五十八萬圓である、その他に船舶一回、山林八回、村落八回損害合計一萬圓がある

火元について調査した處によると市內の火災は雜貨商が十五件製油業が九件、病院八件その他である、火災時における死傷者は年々增加し昭和元年十名、二年三十八名、三年二十九名、四年三十名、五年四十七名、六年四十二名、合計百九十六名、內死者五十八名である、更に過去六ケ年間に於ける一年平均の國籍別統計を揭げて見ると件數に於ては日本人七十八、中國人八十……も多く、それから後は漸次減つてゐる

愛國運動は 益々旺んになる
岩田愛之助氏が來連

愛國社々長岩田愛之助氏は十七日入港のはるびん丸で來連したがサロンで語る

私は愛國社の外に愛國學生聯盟愛國青年聯盟の二つとも會長となつて居る、そしてそれ等の若い連中が今滿洲で大に活躍して居るのでその活動狀態を實際に見聞するため來たもので今晩迄に赴奉し二十日過ぎ頃陸路歸國する豫定である、皇室中心主義を標榜した內地の愛國運動は非常に旺もなものでそれと同時に思想的方面から見た既成政黨打破の運動も相當濃厚である、愛國運動各團體の大同團結機運も亦ダン／＼濃厚になりつゝあり殊に各學生層に對しては愛國學生聯盟が指導となり運動に努めて居る、で將來この愛國學生及び青年、在鄉軍人、陸軍の青年將校等が互に連携して充分愛國運動に努力したならば思想界混迷の今日ではあるが期待すべきものがあるであらう、一方左翼運動も相當盛んであり、一部には全協系の如く共產主義の潛行運動も續けられて居るが他の一部では無產政黨などで共產主義では駄目だとして國家社會主義に轉向せんとするものが相當多い、兎に角われ等の愛國社を初め各愛國運動者の間には滿洲問題の解決に努むると共に國內の既成政黨改造に關する覺醒的運動に關しても亦今や各種の努力が行はれて居る【寫眞は來滿した岩田氏】

荒木陸相自らモデルとなり 大禮服姿の肖像畫を描かす

【東京十七日發】荒木陸相はこの頃漸く陸相の肖像畫を描かせた、畫家は例の若き士官を描いてすつかり軍人畫家になつてしまつた岡田行一君、陸相は閑暇の無い火、木、土の晝食後の一服の間を官邸の一室でモデルになりキチンと椅子にかけてモデルになつてゐる繪は先日頂いた勳一等瑞寶章の晴れの大禮服姿であるが別に改つてそれを着るでもなく顏は顏、大禮服は大禮服で描かせてゐるのは飽くまで荒木式だ

陸相はお孃さんの滿子さん（一九）が油繪を描くし繪には中々の理解がある

荒木さんはキチンと坐つたら三十分位は端然としてゐる姿は劍道の達人だと畫伯も感心してゐると

護國祈願に 大骨佛で水垢離
滿願の日も終り錦州方面へ 軍隊慰問に近く出發

朔北の風肌を刺す滿洲の曠野に派遣の皇軍は一意君國のため兵匪の東討西伐に寧日なき有樣なるが、これはまた大連譯家屯大佛山の下に日露戰役戰死者の遺骨を以て建設された大骨佛の寶前に額づき去る元旦以來身に一衣も纏はず素つ裸となり寒天に晒されながら永垢離を取り護國祈願をなす無名の老人があつた、白髮蓬々見るからの野人ではあるが何事かを期するものゝ如く刺を通ずれば時局に際し國民は擧げて私財を投じ赤誠を披瀝し盡忠報國の誠を致してゐるが、老生固より無一文にしてその意を得ず只管佛心に縋り國家の安康を祈るのみと多くを語らず勿論名も名乘らず飄然風の如く立ち去つた聞けばこの老人滿願の日も終へたので近く錦州方面出動軍隊の慰問行脚を行ふとの事である【永垢離をなさる老人】

前長官に代つて退任の挨拶

塚本前關東長官の秘書官室田寅雄氏は十七日入港のはるびん丸で語る

塚本前長官の代理として官民各方面に對し長官在任中の御禮と退任挨拶をするつもりである、前長官が自ら御伺ひする筈であるが、それが出來ないのは誠に失禮に當るので私に御詫びして畏れとの事であつた、塚本氏は身體も至つて丈夫であるが政治の關係上正しく行動が執つたものでその點遺憾はないが只今日の如き重大時局を前にして十分の事も出來ず退任したのは殘念に思つて居られる、何れ官民各方面には私が直接參上して御挨拶することになつて居るが貴紙を通じて何分よろしく

港灣調査に 原大佐來る

海軍省軍務局第二課長海軍大佐原淸氏は海軍技師二名と共に十七日入港のはるびん丸で來連したが語る

自分の仕事上から旅順港の實際設備狀況、滿鐵の港灣使用狀況大連汽船などの關係等を調査に來たまで、調査が終れば出來るだけ早く歸り度いと思つてゐる

簡易救濟金

御大典記念事業として沙河口署にて昭和四年以來管內居住貧困者救濟機關として設置してゐる簡易救濟會は漸次その內容も整ひ昨年度における同救濟會の成績は收入一千百二十三圓二十八錢その他衣類百三十四點白米十九叺であるがこれによる救濟支出は七百八十二圓八十二錢で救濟延人員は七十二名の多數に上つてゐる

吾妻橋郵便所

大連吾妻橋郵便所は從來寺內通り角に面した福昌公司所有の家屋を借り受けてゐたが頗る貧弱で且つ狹隘を感じてゐたところ今回家主福昌公司の義俠により工費約一千五百圓を投じ敷島廣場に面した二軒を打つ通しこれを同郵便所に充てる事になつた

天氣豫報

十八日 南西の風 晴後曇

各地溫度

	十七日午前十一時	十六日最低
大連	○・五	零下九・六
旅順	二・○	同 九・七
營口	零下一・七	同 一七・一
奉天	同 五・五	同 一九・二
長春	同 一○・三	同 二六・二

時局寫眞展日延

本社主催の時局寫眞展覽會は連日多數の觀覽者あり、未だ參觀なき方のため特に（十八日）一日延期致します

主催 滿洲日報社

壹等 一千人

（下記の内一品）

白金側腕時計 一個
三方桐二重簞笥 一棹
銘仙夜具 一流
洋服簞笥 一棹
ラヂオセット 一組

貳等 二千人

（下記の内一品）

自轉車 一臺
総桐用簞笥 一棹
英國製洋服地 一着分
三面鏡化粧臺 一個
籐椅子セット 一組

參等 三千人

（下記の内一品）

洋食器セット 一揃
二枚續純毛毛布 一枚
純銀製コップ台 一組
會席膳 五客
銘仙座布團 五帖

四等 四千人

特製化粧石鹼 一ダースづゝ

五等 一万人

特製コンパクト 一個づゝ

歯磨 スモカ 百万人

一罐づゝ 全應募者

藥用 補血強壯 葡萄酒 赤玉ポートワイン大特賣

赤玉ポートワイン包紙のレッテルを完全に切拔いて 二枚各その裏面に住所氏名を書き二枚一纏めにして開封二錢切手を貼り 左記へお送りあれ
抽籤 當籤の方へ景品贈呈す
（壹枚づゝ別送や不完全なレッテルは無效なり御注意を）

募集総數 百万口（レッテル二枚一口）
區域 內地滿鮮（台灣を除く）
抽籤方法 一口毎に抽籤番號を付け一千口一組 當籤番號共通新聞警察代理店立會嚴正抽籤
締切 昭和七年三月十五日
當籤發表 昭和七年四月十日本紙上
景品送付 當籤發表後より二ケ月以內
レッテル送り先 大阪市東區住吉町 赤玉ポートワイン本舖 サービス係

滿洲日報
發行人 鈴木… 編輯人 橋本喜代… 印刷人 本村武…
大連市東公園町十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 賣價 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

ロシアの提案に對し應諾し難き旨回答か
日露不可侵條約申入に對するわが政府の態度

【東京十六日發】芳澤外相に對し勞農政府外務人民委員長リトビノフ氏から提案された日露不侵略條約締結の件については十九日閣議で芳澤外相より閣議に説明する事となつた、右に對する政府の態度は未だ明白ではないが左の諸事情から觀て結局ロシア側提案に對しては一應諾し難き旨を回答するものと觀られる

一、滿洲事變に際し日本軍の北滿進出を見たが右が何等ロシア領土侵略の方寸に出たものでなく、東支鐵道に對し何等の損害を與へなかつた事によつても日本軍の愼重な用意はわかる

一、日本もロシアも不戰條約加盟國にして既に相互に國策のための戰爭の手段に出でざる事及び萬一紛爭を生じた際はこれを平和的に解決すべき事を誓約して居るから此の上不侵略條約を締結する事は現に必要なし

一、ロシアとその近隣國との間の不侵略條約は現にトルコ、アフガニスタン、ペルシヤ、リスアニア四國と締結されてゐるのみで、フランスとは既に假調印は見たが實施は相當延引すべく目下の國際情勢から言つて日本が率先ロシアと此の種條約を結ぶ迄に行つて居らぬ

我軍部態度冷靜

【東京十六日發】日露不侵略條約問題につき軍部では最近ロシアは戰爭回避のためドイツ、トルコ、ペルシヤ、リトアニア四國と不侵略同盟を結びラトビア、ポーランドと交渉中であるから日本に又同樣の意思を有して居る事は當然である、産業五ケ年計畫以前のロシアは武力で他國を侵略する事不可能の狀態にあり帝國はロシア領土を侵略する意思がないから斯る協定は必要なしといつてもいい、ただ經濟、思想、外交部門に於ける侵略阻止をも旨とするものならば考慮の餘地はあらうが戰爭手段によるものゝみならば何うでもよいといふ外はないと極めて冷靜な態度を示して居る

解散斷行の時機
首相施政演説ののち一人位質問演説後か

【東京十七日發】六十議會を眼前に控へ二十日には政民兩黨共大會を開き出陣の勢揃ひをなし二十一日の休會明け議會に華々しく臨まんとしてゐる、政局の歸趨として解散斷行を決定するのは早いが犬養首相が安達氏一派との聯立内閣を斷つて單獨内閣を組織したことによつて今更解散回避の愚策を弄することもなく只問題は解散斷行の時機を何時にすべきかにかゝつてゐる、普通の順序よりすれば野黨たる民政黨が不信任案を振翳して政府に挑戰して來た場合に解散斷行と來るのであるが、それでは政府が受太刀となるので政府の方より進んで能動的に解散斷行期を定むべしとの説が政府部内及與黨内に高い、卽ち二十一日午後犬養首相の施政演説後野黨側の質問演説者が一人位登壇演説を終了した時機に解散を斷行すべしと云ふに在る

野黨の先陣
永井氏起つか
必勝を期する民政黨

【東京十七日發】民政黨は勿論議會は解散と見究めを附け解散對策を講じつゝあるが、選擧の神樣たる安達氏今や黨内に存在せず一抹の冷氣黨内に在り併し井上準之助氏が今や純然たる黨人として民政黨のため幹旋し居り選擧費の如きも氏が一手に引受くべしとの宣傳も黨内に相當根強く傳はつて居りこれ等宣傳が黨内の人氣を引立たしめ必勝を期してゐる、なほ政府攻擊に最も良きは櫻田門外事件なるがその先陣は中野氏なき今日永井氏が適役なるべく又永井氏が得意の雄辯を以て政府に肉薄して行く壯重さは蓋し近來の壯觀ならんと早くも期待されてゐる

施政演説草案

【東京十七日發】政府は十八日の定例閣議に對し對議會策殊に解散の時期及び方法に就き重要協議を遂げる事となつたが休會明け劈頭犬養首相の試みる施政方針演説の方針並に高橋藏相の財政演説の草案に就いても協議する筈である、

地方長官會議
第二日

【東京十六日發】解散を豫想される第六十議會を目前に控へ現内閣の施政方針並に選擧對策を徹底せしむべき地方長官會議第二日は十五日午前九時より内相官邸で開會長谷川總監、佐上北海道長官、藤沼東京、横山京都、齋藤大阪の各府縣知事、遠藤神奈川、白根兵庫以下各縣知事の順で大臣室において個別的に中橋内相、河原田次官大野地方局長と面接し一般政情並に各府縣選擧情勢につき種々問答を重ねた後別室において松野政務次官、森岡警保局長と會見、各種重要問題に關し種々報告を爲し午後六時終了した、十六日も午前九時より個々面接を續行する筈

而して總理大臣の演説に於てはその冒頭に先立ち事件に伴ふ優諚拜受及び政府の留任理由を述べるもの、如く、若し閣議の時間が延びる場合は改めて十九日臨時會議を開き對議會策を決定する筈である

日支秘密條約中の二條項
併行線不敷設の約束
在滿外國人保護聲明

明治三十八年十二月の日支條約を十四日我外務當局から公表したが、其中で最も注意す可きは左の二條文である。

一九〇五年十二月二十二日の日清條約に關する所謂秘密議定書

第三條　清國政府は南滿洲鐵道の利益を保護するの目的を以て該鐵道回收以前に該鐵道に近く若くは之と併行して該鐵道の利益を害する處ある他の鐵道の本線又は支線を敷設せざるべき事を約す

第十條　清國全權委員は日露兩國軍隊の滿洲撤退後清國に於て直に其の主權に基き該地方に於ける平和を保障す可き充分なる行政手段を講じ且利を興し弊を除き着實に秩序の恢復に努め以て該地域の居住者たる清國人及び外國人は等しく清國政府の完全なる保護の下に生命及び職業の安全を享有し得べき事を聲明す秩序回復に關しては清國政府自ら適宜の措置を講ずべきものとす

◇

此れは清國政府の希望を尊重して嚴秘に附せられたものであるが既にマクマレー條約集第一卷に採錄され世界に周知されて居るものである。此の第三條は所謂滿鐵併行線に關するもので、支那の鐵道政策は之れに違反するものであるが支那側でも必ずしも之れを否認する人ばかりではない、其の「南滿鐵道の利益を保護する爲」といふ文句を捉へて、文句を附けて居る人もある。其云ひ分は、滿鐵も支那行政權の管下に在る可きものである、行政權は管下の會社に保護を加ふる事はあるが、同時に永久に之れによつて拘束さる可きものでない。必要に應じて何時でも取消し得可きものである。畢竟此條項は支那行政權内の特權であるが、法律の性質を有するものでなく、又條約の性質を有するものでない故に何時でも取消自在だといふのだ。甚だ苦しい辯解で、到底承認し難いが、只これによつて支那人も之れを認めて居る證左を得る。

◇

第十條は又頗る重要な條文である。明治三十八年十一月二十七日から日支兩全權間に、日露役善後の日支交渉が開かれ、十二月二十二日調印された。其間の交渉會議錄の中に、帝國の滿洲に於ける重要なる地位を、支那側で諒とせる記錄が甚だ多い。其内の部分として、帝國政府の聲明中に、左の如きものがある……

賠償金不拂問題
國際政局に投ぜられたドイツの爆彈的聲明
（上）

ヨーロッパの國際政局に爆彈が投ぜられた、一月九日ドイツ首相が發した賠償金不拂聲明がこれである、世界の注意は滿洲問題から今や此の賠償金不拂問題に移るであらう

支拂見込消滅

賠償金の輕減から進んで廢止を實現せんとするのはドイツ歷代内閣の終始一貫せる方針で且つ全國民の絶えざる要望である、これは從來の社會黨政府であらうが現在の中間派内閣であらうが根本政策に於ては全く同一である、只今日迄は出來る限り列國と妥協的態度に出てゐたのであるが、最近一ケ年のドイツの困窮の結果支拂の見込が消滅して仕舞ひ、この妥協をも捨てざるを得ぬ狀態に立ち至らしめたのである。從つて右の賠償金不拂聲明は一見突然の樣ではあるが、ドイツの實狀を知る者は遂に來るべきものが來たと考へざるを得ないであらう

借金と賠償金

ドイツ首相ブリューニングは右聲明中「現在は勿論將來に於てもドイツは賠償金を支拂ふ能力がない」と言つてゐる、…

『空腹輸出』

貿易出超と利拂

今日迄の支拂額

山海關、灤州の兵をもつて飽くまで日本に對抗

【北平十六日發】張…

清津、雄基兩港併用
吉會線終端港を必要とする場合
大村朝鮮鐵道局長談

【京城特電十六日發】在滿鮮人救濟と福利增進について調査をなす目的の下に十一日朝鮮總督府内に設けられた在滿同胞救濟委員會は今井田政務總監を委員長として愈々調査研究を重ねる事となり第一回を十五日午前十時から總督府第三會議室において開催した、當日は大體の趣旨説明について協議して救濟策に關する具體的問題までには觸れなかつたが、……

先般　江口滿鐵副總裁入鮮の際大村鐵道局長との會見で問題となつた吉會線の終端港についても種々意見の交換を行つた模樣で、右につき大村鐵道局長は調査會散會後語る

羅津に新しい港を築造するのは更に新鐵路の敷設が必要になるかも知れないが、…

滿洲事變費追加豫算
二千九百十萬圓

穀物を買上げ價を吊上ぐ
臧奉天省長各縣に布告

拓務省出張所奉天署に設置

英佛の意見相違で獨賠償問題に暗礁
ローザンヌ會議悲觀

昭和製鋼所の滿洲設置を高唱
來る廿日全滿大會を開催

陸相支那關係將官を招待

西園寺公瑞西へ

頗る氣勢揚らぬ上海の市民大會
商工諸團は參加せず

阪谷希一氏十九日出發
滿洲へ向ふ

軍司令官訓示

聯盟日本代表
後任は佐藤大使

社說

滿蒙諸機關の統一と其基調

月初我軍の錦州入城に依つて滿蒙各省に於ける舊政權に對する軍事行動は、總括的に一段落を告げた。勿論匪賊の跳梁は猶ほ已まない。否な寧ろ危險さ煩累さを增した傾向にある。且つ滿州に集結する榮臻軍の策動などもあつて、未だ容易に意を安んずることは出來ないが、滿蒙を中心としての大勢は一決した。少くとも舊弊打破の主張は實現され、內外共に新建設に取懸るべき轉機を促進しつゝある。この形勢に依つて、支那本部の政權が果して直に外交的に活路を開くや否や疑問だが、東北諸省の獨立運動に一大刺戟を與へ、日本また軍部以外の經綸に手を染めねばならなくなつただけは確かだ。東電の傳ふる關東軍司令部條例の改正、並びに我が滿蒙に於ける諸機關統一に關する諸問題提起の如き、明らかに這般の消息を推定することが出來る。

◇

吾人は新制度の可否に就いて茲に云爲したくない。否な未だその時機でないとも思ふが、從來何人もが痛感してゐる多頭政治の弊を矯めることの急務と、新制度の下に統制さるべき機關を、一層實質的な者とすることの必要とを强調したい。凡そ如何なる事業を問はず、根本は人にあつて物にあらざることと、言ふ迄もないが、從來の制度組織には、その人の力を十分發揮させ得ない缺陷があつた。所謂四頭政治の如きも、必ずしも各機關の當事者がその使命に不忠であつた爲でなく、機關と機關との間に一貫した統制を缺き、或者は重複し、或者は孤行し、知らず識らずに相對峙分立した系統を釀成させるやうに因襲附けられた爲だ。こうした情勢は人材を拘束し、無爲を以て終始するの勝れるを思はしめるものであつた。隨つて財力人力の浪費及び一般人心の弛緩を招いたのである、これ等はこの機會に改善刷新されねばならぬものである。

◇

更に注意したいのは、現地の事情に就いて、深刻な調査研究が缺けて居た事だ。極言すれば最近流行の認識不足論の如きも、さうした論者の主張中には、却つて第三者が認識不足を感ずるやうな事項がないでもなかつた。他の文明諸域と異なり、滿蒙各地には未知の實情が少なくない。此處には民族興敗の概括的記錄の外、全局に亘つての的確な典籍に缺けて居る。縱しさうした調査記錄はあつても、昨是今非の變化が急速に行はれて居た。それほど滿蒙は經濟的處女地であり、その推移變遷は遲速錯綜して居るのである。それを多くの論者は混雜して取入れ、動もすれば抽象說を繰返して安んじて居た。

◇

第一の問題はこの點にある。之が爲に所謂認識不認識のスローガンも、大衆の局部のみを撫でて、互ひに相論議するに過ぎない場合が屢々あつた。殊に遺憾なのは、實際家の經驗知識を顧みず、文字言說の上で輿論を支配しやうとする者の多いことだ。多年現地の經驗家にして、而も少能無名の人物が閑却されて居たことだ。さうした人物は名を求むるに遑なく、政治を語る技巧をも有しない。但し、彼等の智見はその親しく踏む土地であり、その經驗は日夜汗血を傾注する業務である。これ等を綜合した處に眞の滿蒙の實狀があつて、單なる抽象論で固めた意見と自づからその選を異にする。新しい諸機關の方針は、さうした實際家から得べき資料に依つて、確實な基調の上に策定さるべきである。加之、日本人には日本人としての實情があり中國人には中國人としての實情があつて、その實情の提供者は均しく之を心得體驗した實際家に求むべきだ。吾人は今や更始一新の時機にある滿蒙に於て、統一的實質的制度機關の考慮されつゝあることを喜ぶと同時に、之が局に當る人々が、思ひを右の事情に潛めんことを熱望する者である。

本社從軍記者座談會

身に沁みて嬉しい

（一）戰線での軍隊の親切

本社編輯局では事變突發以來各地に活躍して報道の任務について居た各特派員の大部分が本社に歸來したのを機として一夕「從軍記者座談會」を催した、聊か內幕話めいて恐縮であるが、今度の事變に就て多年滿洲の實情に通じて且つ最も正しい認識を持つて居る地元の新聞記者が如何に正しい情報を世間に提供すべく努めて居るかといふ苦心の一端を讀者に知つて貰ひ度いと同時に、報道上凡ゆる便宜を圖つて戴いた各地の軍隊、警官、滿鐵社員等への感謝を述べ、且つ當時書き洩らした記事を中心にして報道上の苦心、失敗、成功、その他樣々の悲喜を此の際さらけ出すことにする、內地の新聞の中には自社の宣傳に汲々たる餘り、極端なのになると、一體軍隊が戰鬪してゐるのか、新聞記者が戰鬪してゐるのか、判らぬやうなものもある、それとも點餘程注意して控へ目に摘記したつもりである若し手前味噌の點があれば御容赦あり度く豫め諒解を願つて置く。

中村　では初めやう、話の緒口はどんな方面から切つたがよいだらう

一同　まア軍隊その他の人達に對するわれ〳〵の感謝したいことといつたやうなものから初めやうぢやないか

白石　俺のは美談だ、大石橋に輕爆擊機が落ちたときの話だがその時同機には相當の爆彈が積んであつて墜落と同時に四五發が爆發し一人は片足を失ひ今一人は身體中に火傷を負つたのだ、ところが火傷を負つた軍曹が片足の戰友を抱ながら這ひ出して來た、その時まだ爆彈は爆發をつゞけてゐたがそれを見た同機附長田澤上等兵が危險も省みず矢庭にそこに跳込んで二人を助け出して來た、そして田澤上等兵は「自分は機附長の職にありながら墜落するやうな機に二人を乘せて本當に申譯がない」と二三日は燒けた機を見ては淚にくれてゐたさうだ

神藏　美談とか感謝とかそう言つたものは限り無くあるれ

藤井　僕と結城、山口の兩君と三人が受けた好意だ、僕達が溝帮子を發つて錦州に行く晚のことだが僕達はその日朝晝とも飯にありつかず、しかも錦州に行くまでは食ふ當もなく極めて淋しい氣持で停車場に立つてゐると僕が一面識のある大石橋守備隊古川中尉に會つた、同中尉は當時同驛の守備隊長であつたが遊びに來いと言はれ殘飯でも貰ふ心算で喜んで從いて行つた、隨分夜遲くであつたが、わざわざ飯を飯盒に三杯も作つて貰つた、その時の有難さと美味しさは今でも忘れられん

山口　その時喰ひだめの必要をしみ〴〵感じたれ

神藏　元旦僕が胡家窩驛に行つた時は同驛を大石橋獨立守備第三大隊第二中隊が守備してゐたが寒さにふるへる僕を高粱のたき火で溫め鷄料理や御飯を作つてくれるし夜になつて元旦の祝餅が兵隊さんに二片づゝ配られた時それまでも分けてくれたよ

立上　將校もだが兵隊さんも親切だつたれ、僕の乘つた裝甲列車の野砲の人は大切な水筒の水まで分けてくれたよ

山口　卅一日の晚唐家屯部落に泊つた時は家がせまくて旅團本部に宿ることが出來ない、で新聞記者團だけ別の家に泊つたが隨分心細かつた、その晚僕は翌日の人と天野旅團長の寫眞をとりに行つたがわざ〳〵宿舍に步哨をつけて警戒してもらつてゐることを知つた時は心强かつたよ、然し或時など リユツクサツクが餘り重いので一寸大行李に乘せたところ重たいと言つて叱り飛ばされたこともあつた

島田　村井旅團のある特務曹長だが僕達が打虎山から溝帮子に入る時その部隊にカステラ二つのオヤツが渡つた、すると曹長は「私は明日の戰ひで死ぬかも知れぬからこれは君達で食つてくれ」と言はれた時は感激しちやつたれ

立上　連山で新聞記者が二日間續詰に會つた時そこの三等主計は自分達の分が濟んだ後には飯盒に飯を炊いてくれ毛布までも貸して吳れた、その親切には思はず淚がこぼれたよ

西村　然し何と言つても世話になつたのは新民屯の領事館だらう多い時には廿名位の新聞通信記者が世話になり朝早く僕達が出發する時は徹夜で握り飯を作つてくれたものだ

五百旗頭　そう言へば吉林の瀨田公所長や芝元さんなんかの親切さには今思出して淚が出るれ、この二人がなかつたら吉林に行つた新聞記者は誰も仕事が出來なかつただらう

島田　日本の軍人が偉いと思つたのは溝帮子を出る戰死者負傷者を乘せた列車に乘合せた時だつた、負傷兵には隨分重傷者があつてその人達の呻き聲は夜中になると良く聞えるが聲を出す時は決して「苦しい」なんてことは言はない、皆が「畜生ッ」「殘念ッ」「生意氣なッ」てな言葉ばかり吐いて居た

立上　北寧線守備の兵隊なども各々ぬ位だ、あれこそ椽の下の力持だれ【寫眞は座談會に出席した本社從軍記者】

五百旗頭　鐵道守備の獨立守備隊の苦さは北寧線だけぢやない、驛共少い人員で守備してゐるのだが實際あれなんか一命を賭してゐるかられ

卑怯な商人

啓蒙生

◇十五日の八相驛で第四者と稱して打餅消費組合を唱へた人があつたが、第三者なるもののいふところに餘りに理解なき言ひ分に局外者たる我々としても一言なきを得ない。

◇第四者の引用した「第三者」は局外者として眞面目な議論をしてゐるに對し、第四者はこれが恰も當事者なるが如く食つてかゝつてゐる、これが第四者のいふところにして訂正さるべきもの、一つである。

◇次に第四者によると暴利者は自然淘汰されるから心配ないとあるが、商機をみるに敏なる商人の常として、一度金輸再禁されゝば、原價も工賃も材料（輸入品にあらず）も直に何等影響を受けぬものまでも、直ぐ何割と値上げする事實をどうみるか。

◇殊に滿洲の商人にこの種商人の典型をみる、暴利を攫む口實に機敏にして、他は他力本願のみこととし、自らの工夫努力を缺き、正當な競爭者を讒言して儲けやうと考へるが如き卑怯者にどうして公正なる物價が維持されるものか。

◇關東廳や滿鐵は左樣な卑怯者の私利を庇護する任務をもつてゐない、元來消費組合は不當なる人爲的物價釣上に對抗する消費者の自衞手段であることは內外一般に認むる公論であつて、關東廳滿鐵にこれが設けられても怪しむに足らない。

◇關東廳滿鐵ばかりではない、今後は更にこれが各所で設けらるべきもので、殊に物價上昇の氣味ある今日、この組合の抑制を撤回することは虎を野に放つよりも危險である、我々一般俸給生活者は間接に我々の利益をも防護する組合の發展を願ふものである。

大連市立商工學校の改稱問題委員附託

市議の囑託出張問題で市長追窮

十六日の大連市會

大連第六十三回市會は十六日午後二時半から議員二十七名の出席を得て開會された、日程に先だち大內議長は區長小澤太兵衞氏ほか千六百二十四名より選擧區制改正の請願書および華人市會議員に代ふる諮問機關設置の意見書が市會に提出された旨報告、一般市政に關する質問に入り

佐多議員　市長は就任二ケ月になるがまだ助役の推薦を見ない、市政多難の折、七年度豫算編成期も迫つてゐるに未だに助役を決めないのは如何なる理由であるか、また市長は某議員をして內地に出張せしめたと仄聞するが何の爲めの出張かしかも某議員は參事會員にして市長の或る提案に對し最初不贊成を唱へながら中途にして意を飜し說を曲げたと傳へられてゐる、斯くの如き事はあり得るものに非ずと信するも若しあつたとせば市の恥辱であり市政上の重大問題である

小川市長　助役は目下市長に於て詮衡中である、適當な助役を得る事は愼重を要せねばならぬ、某議員の內地出張云々は各種社會事業調査のため芦刈議員を囑託し出張せしめたものでこの間何等の私情が無い、また芦刈議員は參事會員であるが商工學校の問題で最初反對し中途にして說を曲げたと云ふ事實もない

佐多議員　今市長の辯明によつて芦刈議員である事がはつきりしたが芦刈議員は親の病氣で歸ることになつたときいてゐる、親の病氣で歸る市會議員に市費を給與して出張名義にするとは甚だ不可解である、親の病氣で歸る議員を出張にする事は將來惡例を殘す事となりはしないか、モウ一度市長の返答を求める

小川市長　惡例を殘すといふ風には私は考へない、以前も調查の必要あれば議員を囑託して出張させた事例もある、これを以て惡例といふ譯には行きますまい

鈴木議員　市長はある議員には篤くある議員には薄い樣に思ふ、卸賣市場の改組問題等でも非常に秘密にしてゐるがある議員には洩してゐると聞く一體卸賣市場の改組案は何時ごろ市會へ提案なされるお心算か

小川市長　ある議員に篤くある議員に薄い等は絕對ないまたある議員に洩したと云ふがそんな事もない、卸賣市場の改組問題に關し某議員に洩して得べき事でもない、この問題は多年の懸案であり、また是非とも解決せねばならない問題であるが無理な解決を避ける爲め市場當業者の意向を聞く事も必要かと思ふ、自分としては充分に調査研究し合理的に解決したいと思つてゐる、何時頃市會へ提案されるかの御質問に對しては各關係者の諒解を得る必要もあるのでその諒解が早く出來れば早く市會へ提案されるし遲くなれば從つて市會へ提案されるのも遲れる事になる、併し自分の考へとして遠からず提案する心算である

引續き昭和製鋼所設置問題に關し蔦井議員と小川市長との間に一問一答あり、後日程に入り第一號より第三號まで一括して上程し小川市長から

譚家屯西區長代理者關根忠篤は病氣の爲め六年十二月十六日、嶺前北區長今西寛衞は長春に轉居のため同年十二月十八日何れも辭職した旨、なほ學務委員三田芳之助、稅務委員野本謙治、同佐多彥美、社會事業委員芦刈末喜、特別事業委員小野實雄は何れも名譽職參事會員に當選のため失職した

旨報告、更に日程第四號「常設委員推薦の件」に入り小川市長より原案の說明をなし別項の如く異議なく可決し、日程第五號「昭和六年度大連市歲入歲出豫算更正の件」を上程

小川市長　昭和六年度中央卸賣市場使用料は該市場取引高の減少に伴ひ金八千百八十五圓の減收となる見込みなるを以つて之が歲入豫算を更正減額すると同時に歲出經常部第十七款卸賣市場費節減額一千六百八十五圓および臨時部第一款中市場營繕費の豫算剩餘額金六千五百圓を各更正減額せんとするものである

鈴木議員　中央卸賣市場から卸賣人、仲買人十餘名脫退したが市長はこの脫退者に對し如何なる處置を取られるか、或ひは殘留組と同一取扱を爲されるお心算か

小川市長　脫退組の問題は卸賣市場の解決如何に依つて決するものと思ふ、私の考へとしては脫退組も復歸させたい心算である

牛島議員　償還法に無理はないか十年間の中に市營住宅を賣却する時機が來たら賣却しても好いといふ方法にしたら如何

小川市長　十年間と決めておいても大藏省と交涉しその時機が來たら賣却の方法も取られる事と思ふ

この時大內議長は讀會省略の動議を提出異議なく原案可決し、更に日程第七號「昭和六年度大連市歲入歲出追加豫算の件」を上程小川市長から

客年十二月三十一日一部燒失した中央卸賣市場建物を復舊すべくこれが工費として金八千五百七十八圓を追加せんとするもので其の財源は該建物に對する火災保險契約に依る損害補塡金を充當するものである

と說明しこれも異議なく可決しいよ〳〵問題の日程八號「大連市立商工學校名稱改稱の件」と日程九號「大連市立實業學校學則制定の件」を一括して上程する、小川市長は

現在の大連市立商工學校の名稱を大連市立實業學校とし小學校を出た者に對し三年間實務教育を授けたら生徒も實社會に出て充分活動出來るものと確信し本案を提出した次第である

と說明、之れに對し田中議員は原案學則の第九條、第十一條第二十四條に就き質問を試みた上更に田中前市長の提案された甲種商業學校に比較し本案は乙種商業學校であり乍ら豫算に於て一萬七千圓も增額されてゐる、增額して迄改正する必要ありや、しかもその豫算案は本市會に提案されてゐないのである、豫算の伴はざる學則改正案のみ出して贊成を求め後になつて豫算案を出し學則改正案が通過したからこの豫算案も贊成して吳れと贊成を無理强ひされる樣では甚だ以つて迷惑だが市長は豫算に先立つて何故この學則のみを改正するか

小川市長　今回の提案は昨年の豫算を同時に出さなかつたのは案とは根本的に相違してゐる、生徒の募集その他の準備で急いだ結果である、學則の不備の點は諸君に御審議を願ひたい

笠原議員　この乙種商業學校は大正十年より十三年まで開校し失敗した、また原案の教授課程にも缺陷がある、而して前田中市長の案と甲種、乙種の違ひであるが、乙種にしてなほ一萬七千圓增額されてゐる、如何なる理由に基くか

小川市長　商工學校は御承知の通り天野節次郞氏より金五十萬圓の寄附を受けて開校したものだがその後財界の變動により約束の五十萬圓は貰へず廿萬圓しか寄附を受けなかつた、そんな關係で最初の計畫が遂行されず從つて當時の乙種商業學校は失敗したのである。併し當時失敗したからとて今度も失敗するとは考へられない、教授課程の缺陷は文部省の課程がさう云ふ風になつてゐるのだから餘儀ない事と思ふ、豫算の增額はまだ決定的の案でなく場合によつては減額するかも知れない、理事者、學校當局として遣りたいと思ふ事もあるから御諒承を願ひたい

なほ矢野議員から商工學校廢止の理由に就いて質問あり、高塚議員の動議により右案を二讀會に移す事とし大內議長指名で九名の特別委員を擧げ委員附託となり同五時散會した

指名された九委員

第一回委員會

大連市立商工學校名稱改稱の件並に大連市立實業學校學則制定の件は遂に委員附託となつたが右委員は

高塚、笠原、高橋（猪）品田、熊谷、恩田、牛島、蔦井、部

の九議員で市會散會後議長室に於て第一回委員會を開き委員長を互選したが高塚議員當選、第二回委員會は來る十九日午後二時から市役所會議室で開く事になつた

市參事會常設委員

大連市名譽職參事會員辭職並に當選に伴ひ補缺常設委員は市長より左の如く推薦され第六十三回市會に於て異議なく可決された

一、名譽職參事會員より推薦の者

▲學務委員三田芳之助▲衞生委員野本謙治▲稅務委員佐多彥美▲社會事業委員芦刈末喜▲特別事業委員小野實雄▲同麗睦堂

一、市會議員より推薦の者

▲學務委員高橋猪兎喜▲稅務委員高橋仁一▲同有馬邊▲社會事業委員立石保福▲特別事業委員相川米太郎

反逆者＝李振聲

熙洽氏の部下たりし彼

今熙氏を惱ませる彼

李振聲、彼の名前は今日まで餘り日本人間には知られてないが、吉林省長官熙洽が舊張作相主席當時吉林軍參謀長の職にあつた際彼は熙の下に陸軍訓練處訓練監の要職にあり軍に對する實權を掌握してゐた者であつてそれだけに抗日侮日の巨頭であり急先鋒であつた、然るに作相の主權が顚覆し熙洽の新省長治下になるや彼は從來の關係上吉林を逃走、居をハルビンに移したが熙は省公署の職制人事を決定するに當り彼等の反抗を好んで買ふ必要もなく軍事高等顧問主席として任命しその就任を勸むるところがあつた、けれども自らとつて來た抗日侮日の行爲を恐れて遂に應ぜず濱綏の作舟と策動して今日なほ抗日から反熙洽の色彩を加へ來つたものである。

◇

熙洽が剿匪軍司令及烏拉街駐屯の警備隊第三旅長馬錫麟（剿匪軍副司令兼任）に命じ濱綏に自ら主席となつて熙に反した吉林省政府を組織してゐる張作舟討伐を八日から決行するに當り、熙省長官は作舟を除いた一味を說伏歸順せしむべく各方面に亘つて努力を拂つたのである、李振聲には特に彼の腹懸である阿城電灯公司經理張慶榕をして親書を攜行せしめたが彼は十日赴哈、十一日着哈と同時に李と會見熙の親書を渡して歸順を說いた、然し彼は從來の行懸り上承服せず王之佑、丁超、誠允、張慶榕等と密謀して、熙の作舟討伐は熙自らの意志でなく日本の强要であるとし熙に對し討伐軍の北上中止を要求するに至つた、此處に激怒した熙洽は剿匪軍を北進せしむると同時に榆樹、双城堡、五常、

◇

錫蘭に對峙中の反熙洽軍將士に對し二回に亘る宣傳文を撒布し告を誘致せんとしたがこれは見事に失敗し何等效果を齎さなかつたのである。

◇

張慶榕が李振聲懷柔失敗は彼が過長赴吉によつて熙洽にされ（一部には歸順に成功舟政府解消の報道あるもそれ實でない）たが一方于深澂伐北進が遲々として進まずを煮やしてゐた熙洽は前捗文で對時將士の懷柔といふに出でしも事志と合はず懷憹のである。

◇

李振聲、丁超・誠允等の首領が吉林政府に飽くまで反する理由は日本軍の行動は錦州占據によつて一段落を告げたものであり且つハルビンは特種の事情にあつて日本の軍隊が絕對に這入らないといふことを信じて自らの安全を期してゐるからである、然し我軍には匪賊討伐の保留がありまた近く發表を見んとする新國家にとつては當然の反逆者であるため彼等匪黨の命數は幾何もあらうとは考へられない、暫時間の問題に過ぎない運命ではあるがこの短期間に彼等軍閥の殘黨は自稱吉林省政府管下居住民から軍費と稱して最後の搾取を敢行するだけであつた塗炭の苦を置かれる縣民こそ迷惑至極である【長春支社南里生】

大觀

帝國政府の對米回答は例によつて親切叮嚀、委曲を盡すもれ、判つたでせう、判らぬ筈はないでせう、若しこれで判らなければ、餘程……いやそこまではいふまい▲ところで支那の對米回答、これはまた例によつて米國に媚、日本を誹謗すもうソンな舊い手では世界は動かぬ、嫌がらせや橫車は一時的には效果があつても結局はたゞそれッきりのものだ▲宣戰を布告せざる國交斷絕の議が國府で決定したとの說あり▲一たい何ういふつもりかと思つて居たら、果してそれは說ばかり▲議はあつても現在では思ひもよらぬ問題とあり、結局ダンセン提案放棄に決定▲多分ッんなことだらう、强がりもい、加減にすべし▲「朝速の道に足駄をそつと捨つ」▲「獨立不羈の心に燃えつゝ」と新興力士團、揃つて髷を斷り落す▲決心は甚だ壯なれど坊主頭の力士團は如何にも寂しかの締結の威力が去つた以上、裸體商賣營業するに如かず、てなここになるのではないか▲尤も今後、居殘り（東方）力士との合流實現した場合、片や散切方、双方睨み合つて——なども却て面白いかも知れず▲新興力士の意氣もさることながら「俺は片輪だ、角力はやめられぬ」と泣いた怪物出羽に寧ろお角力さんらしい興味なしとせず▲「漂流に焦立つ象の不眠症」

人馴れた牝鹿 電氣遊園にて

合唱の聲も朗かにスケート行進
華々しく鏡ケ池で行はれたきのふの戸外デー

健康増進の第二回戸外デーのスケート行進は十七日午後四時より鏡ケ池スケート場で華々しく行はれた、全市から集つた男女市民はあの廣い鏡ケ池の周圍を埋め愈々定刻になれば小學生はリンクの外側三百メートルコースに中等學生は二百五十メートルコースに一般男女市民はその内側に勢揃してラウドスピーカーを通じて唱ふ戸外デー行進曲に伴れて氷上大行進を始めた、右に左に廣いリンクを廻る男女大人子供約一千、輕快に小鳥の如く氷上を飛ぶ、無數に交錯する銀線を躍らして「健康第一外へ外へ」の合唱も朗かに、風もなく夕刻に至つて氷の堅さも手頃に、如何にも輕快な彼等は嬉々として氷上に舞ふ、周圍に集ふ觀衆も寒さを忘れて打興じ共に行進曲を合唱した、かくて約卅分の氷上大行進は終つた

スケート大會成績
一中と神明高女優勝

大連スケート會主催大連新聞社後援の大連スケート大會は引續き十七日午後より南山麓鏡ケ池リンクにおいて續行、朝來の暖かさ午後に入つて更に増したためにコースのコンデイシヨン惡く期待された程の好記録も出なかつたが、提灯競走、パック運び、氷運び競走等のチヤンス、レース等あつて觀衆熱狂、午後四時十分全競技を終へ中等校優勝チーム大連一中に優勝旗を女學校優勝チーム神明高女チームに優勝盃を授與し盛會裡に終了した戰績左の如くである

▲小學生五百米（五年）片岡、鈴木、丸野一雄、野崎清忠、大久保俊郎、内田正郎、吳石喜一、田仲英郎、有松吉三、古谷陸子澤田展江、山ヒデ子（最高記録男子田仲英郎一分一四秒九、女子澤田展江一分三三秒）（六年）山之内賴行、黒柳保太、廣田正樋村芳秋、山本賦雄、茂木みゆき、岡野絹子、山内久二、丹野權四郎、山村一男、松本秀一、空潔（最高記録男子山村一男一分七秒七、女子茂木みゆき一分二五秒七）

▲一般五百米　瀬崎義則（一分六秒六）中野善榮（五八秒八）福井隆（五八秒五）今井オ一郎（五九秒）秋月寅義（一分一二秒七）細野俊郎（一分一秒九）

▲女學生二百五十米　日高康子（三八秒六）三七秒）古庄綾子（三七秒三）小野恭子（三七秒八）木村千代子（三七秒八）本山艶子（三三秒四）

▲中等學校二千米リレー決勝　一着一中（三分五秒五）二着二中

▲中學生五百米　小柳秀次（一分一六秒）瀬川秀夫（一分一一秒三）田中一）門脇晋（一分一一秒三）宮崎秀雄（一分一三秒五）

一一秒）佐藤（一分八秒七）河村洸（一分二〇秒五）井上正治（一分九秒二）近田忠雄（一分三秒）酒井源太郎（一分）矢野行典（一分〇三秒）難波進（五八秒二）大村武士（一分）渡邊（一分）

▲スプーン競走　片岡俊一、荒井菊次郎、吳正雄

▲女學生五百米　本山艶子（一分一八秒八）小野恭子（二〇秒七）日高康子（一分二〇秒）

▲一般千五百米　今井オ一郎（三分四一秒）瀬崎義則（三分四七秒八）

▲中學生千五百米　近田忠雄（三分四二秒七）佐藤山三郎（三分四一秒）山上正則（四分一一秒二）片岡芳男（三分二八秒五）難波進（三分二二秒）大村武士（三分二六秒五）工藤喜世治（三分二一秒一）

▲氷運び競走　秋月寅義、信太武夫

▲五千米競走　一着工藤喜世治（十一分二五秒）二着片岡芳男、三着高須四郎、四着池田欽一郎

▲提灯競走　吳正雄、片岡俊一、秋月寅義、荒井菊次郎

▲五百米奔進　井上正治（一分四七秒五）上田敏正（一分五〇秒）

▲女學生千米リレー　一着神明高女三根、河野、片岡、入江（二分二八秒四）二着彌生高女

▲一般二千米リレー　鐵道工場（獨走）

▲ホッケー決勝戰

滿鐵四―二　玉澤A組

滿鐵 2―2 1―0 1―0 玉澤A組

午後三時より大賀、秋月、渡邊三氏審判の下に擧行、第一ラウンドに於て二分先づ滿鐵小寺のパスを西尾シユート續いて三分〇秒西尾ゴールに前よりシユートして二點をリードしたが玉澤漸くコンビネイシヨン整ひ十三〇秒十三分三〇秒に古垣シユートして同點となり續く第二ラウンドに於て滿鐵しばしばチヤンスを作つてゴール前に迫るもシユート定まらず僅かに三分二〇秒内倉シユートして一點を得しのみ第三ラウンドに於て滿鐵軍攻勢を示し、玉澤防戰大いに務め白熱的ゲームとなり八分滿鐵西尾のパスを小寺シユートして一點を上げ後一進一退のゲームを續く

（玉澤A）瀨田垣木瀬川　岩富古黒黒　RCLRLG WFWDDK　（滿鐵）尾寺部井倉野　西小阿浦内山

十六日の戰績

▲滿鐵十一―一南滿工専（午後時十五分開始、審判北河、高橋秋月三氏）

滿鐵 4―1―0 5―1―0 2―0　工專

▲第一ラウンド　三分三〇秒滿鐵阿部ゴール前から五分二十秒滿鐵小寺、ゴール左前よりシユート得點、更に七分三十秒小寺白陣ゴール前より長驅ドリブルで進みロングシユート成るよた十四分浦井のシユール成り工專無爲

▲第二ラウンド　二分工專鹿毛白陣よりドリブルで入りシユート成り三分滿鐵阿部ドリブルシユート成る四分三〇秒滿鐵西尾ドリブルで進みゴール前で小寺にパス小寺シユートし得點六分滿鐵阿部八分三〇秒十三分三〇秒に西尾それぞれシユートして滿鐵優勢となる

▲第三ラウンド　工專挽回に努めしばしばゴール前に迫るもシユート極まらず却つて十一分滿鐵西尾ドリブルに進み内倉にパスシユート入り更に十四分滿鐵阿部左前よりシユート成り十一對一で滿鐵大勝す

（工專）増鹿小（山田）福小宮　田毛泉（田）井熊崎　RWEFLW RDLDGK　（滿鐵）尾寺部　井倉野　西小阿　浦内山

▲白鶴クラブ十四―零玉澤B組（午後四時開始、審判山田、高橋西川三氏）

白鶴 5―5―4 0―0―0 玉澤B組

▲第一ラウンド　四分三秒白鶴北田シユート續いて五分山崎長驅ドリブルでシユート十三分更に末光同三十秒山崎、續いて十四分北田のパスを山崎、それぞれシユートして五點を擧ぐ

▲第二ラウンド　一分十秒山崎二分三〇秒岡松單身ドリブル六分三〇秒更にまた岡松七分三〇秒北田十四分北田のパスを後藤各々シユートして白鶴更に五點を増す

▲第三ラウンド　白鶴益々攻勢に出で二分には白石よりのパスを後藤受け更に五分十分には後藤十分四には白神シユートして得點遂に十四對〇玉澤慘敗す

（白鶴）田柳崎光（石）松（藤）佐　北白山末（力）岡（後）岩　RWEFLW RDLDGK　（玉澤）下尾和田　谷　野　木松仁森　神　水

皇軍に感謝して東華教徒が獻金
朝鮮軍司令部に金一千圓

【京城特電十七日發】忠淸南道公州郡に所在する東華教の大教領洪元杓氏は朝鮮軍司令部に出頭して兒玉軍參謀長を訪ひ

現下酷寒の滿洲の曠野に於て活躍中の皇軍は敵匪と戰ひつゝ我同胞のため救濟に努められ労々衣食住は元より凡ゆる救助を下さることは洵に深く感謝する處であります、私はその皇軍を御慰問したいために現地に赴きたいと思つてゐます、之はまことに僅少でありますが我教徒によつて心から御慰問のしるしですと金一千圓を差出したので兒玉參謀長は我同胞にしてしかも身は教徒であり赤誠ある心意を深く感激して直に受け入れたが其内譯は今回軍司令部より特別に製造を依頼した煙草「ひかり」四千萬本價格八百圓を出征軍へ又負傷者に對して見舞金として金二百圓である

兵匪に怯え鮮農續々と避難
楡樹縣から五十餘名

昨年事變勃發以來北滿の奧地から難を避け長春に來たり更に安住の地を求めて他に流浪し去つたものおびただしく、現在長春領事館と朝鮮人民會の手で收容保護を與へ居るもの千十四名あり、十七日楡樹縣から匪兵の難を避け來つたもの二十戸五十餘名彼等は何れも十二歲以上には一ケ月粟又は高粱一斗六升の割又は金を食料として惠與されて漸く命を繼いで居るが、それら避難鮮人も流感に襲はれ一層のみじめさを加へつゝあり、なほ東安東南兩縣近くに居住する鮮人は兵匪に脅かされ續々避難し來る模樣である【長春電話】

匪鄕潜入記
威嚇發砲し部落を占據する
廢墟の如く農村疲弊
（四）佐内泗外生

夜　もほのぐくと明け初めた頃三百の騎隊は目的地〇〇手前二支里の地點に到着した、豫て斥候を遣つて我々の部落占據に就いて大體の渡りが付けてあるこれを拒めば〇〇〇〇〇〇することを暗示し先方も何等抵抗しない旨を確めてはあるが、部落民にどの樣な計畫があらうとも知れぬ、數名の騎隊は素早く本隊から別れて村落の樣子を探るべく出かける、それに依つて何等手向ひする形跡が無いことが判つたが若し附近に他の賊團でも居たら我々大部隊がこの部落を占領するから敵對しても駄目だぞと云ふ賊追つ拂ひの意味で時に發砲威嚇しながら悠々と部落に這入り込んだ、一番氣の毒なのは

農　民だ、一度や二度なら未だしも限りない匪賊の群から次から次へと無理難題を吹つかけられて若し拒めばどの樣なことをされるか明かなことただ命あつての物種、かうした匪賊の横行にも成すがまゝされるまゝを任ぜる外はない、村にはもう何一つとして目顯い品とて殘されて無いみじめさだ、甚だしいのは夜具の類から衣類、馬、車、武器、食糧に至るまで少くとも金目の物、彼等の生活に必要なものであれば一として見逃さないことは云ふまでもない、僅に一度斯うして匪賊の群に睨まれるが最後農村は極度に疲弊し切ってしまう

匪　一過の觀あるにも拘らず、四時斯うした匪賊に怯やかされつゝもなほ倦まずたゆまないで何物かを築き上やうと努力する善良民の意氣を惟ふと殿り無き破壞の念が湧いて來る、三百の騎隊が部落に入るや老百性は怯え震えて唯上を下への大混亂、武力の前に彼等はたゞ無抵抗のまゝで總ての要求を無條件で承認する、此の世ながらの生き地獄だ！然し斯うしたことを豫期した農村では居殘つてゐる者の殆ど老人子供ばかり僅かに自分達の家を守つて居るに過ぎない、働き盛りの若者とか年頃の婦人は何時の間にか何處かへ避難して影さへ見せないひつそり閑とした廢墟の樣な土屋の

家　々を占據した一行は疲れ切つた體を憩ふより先づ昨夜來の餓を滿すため食事の用意に取掛らなくては成らぬ【挿畫國井眞ゑがく】

講演旅行の工專生
きのふ歸連

滿洲の實狀を母國に紹介し輿論を喚起するため九州、山陰、山陽、仙臺方面に講演旅行中だつた工專學生松田一人氏外二名は十七日の定期船で歸連したが交々語る

滿洲問題に關する各方面で講演し座談會を開いたところ青森方面の飢饉地方では直に滿洲へ出て食つて行けるだらうかとの質問が多かつた、京都では學生中に滿蒙研究會が設けられ相當豫備知識を有し、滿洲の各學生と提携して活動したいとの事だつた、滿蒙問題については空漠なる考へをもつものなく眞劍に考へてゐた、だから滿洲から内地に宣傳するにはいかにすれば滿洲では生活ができるかといふ點を教へることである

錦西兵匪の討伐に努む
わが錦州部隊

錦西の周圍にはなほ熊飛の率ゐる義勇軍及び敗殘兵が蟠居してゐるのでわが錦州部隊より約一旅團を派し十五日朝より錦西西北地區の剿匪につとめてゐる【奉天電話】

遼陽縣下民が馬賊討伐請願

馬賊の頭目老北風の配下は目下遼陽縣第八區を掠奪しつゝあり同地住民は我が軍に對しこれが討伐を請願して來た【奉天電話】

新民守備隊兵匪討伐へ

新民守備隊の報告によれば新民西北方約二十キロ、王三鋪屯附近には義勇軍第五旅の前進根據地あり、また章武、大、門東南方約八キロ附近には梯子配下の賊團ありこれがためわが同地守備隊はこれが討伐に向つた【奉天電話】

新興力士團愈よ旗上げ

【東京十六日發】命から次の鬪を惜みなく切つた新興力士團、三十力士は十八日春秋園で結盟式を擧げ直に第一回旗上げ興行を行ふこととなつた

弓道リーグ戰

關東州弓道リーグ戰七年度第一回戰は十七日午前九時より中央公園武德會道場において滿鐵本社對沙河口戰を行ひたるがその戰績左の如しなほ第二回遞信局對武德會戰は來る三十一日午前九時より同道場にて行ふ筈なりと

沙河口（百二十八中）本社（百十九中）

論文と歌詞を募集
滿蒙維新に寄與する我社三大事業の一部

新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の重大事業の中、論文及歌詞募集の二件は左記の條件を以て公募いたします、奮つて雄篇の應募を希望します

論文募集

◇題意　滿蒙維新の大業完成に對する吾人の希望

◇回數　十回、一回一行十五字詰百五十行

◇賞金　當選作五百圓、佳作二百圓

但當選作者は右賞金を以て南支方面を、佳作者は滿蒙地方を共に視察するの義務があります、若し視察せざる場合は、當選作者には三百圓、佳作者には百圓を呈します

◇締切期日　三月十五日

◇審査員及方法　追て發表します

滿蒙維新の歌

◇題意　滿蒙維新を象徵しこれを祝福するの歌

◇歌體　行進曲式

◇歌調　七五調、六節、五項

◇選者　西條八十氏

◇作曲選者　中山晋平氏

◇賞金　一等二百圓、佳作五名各十圓宛

◇締切期日　三月十五日

追て應募歌詞當選の後には更めて右に對する作曲を募集しこれには一等五十圓、二等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當選作曲なき場合は中山氏に作曲を依賴することになつて居ます

昭和七年一月

滿洲日報社

廣瀬軍醫長らけさ歸旅

出動中なりし旅順衛戍病院廣瀬軍醫長以下十名は十八日午前九時十分着列車にて歸旅する

國際新聞會議

【コペンハーゲン十四日發】當地で開催中の國際新聞會議は本日政府は新聞通信員が何時にても特殊問題の審議を確め得る樣情報機關を完備せよとの決議を爲して閉會した

將校視察團

岡山步兵第十聯隊津川唯次郎中佐他三名の一行は十七日午後三時入港の奉天丸で上海から來連したが津川中佐は語る

昨年暮の卅日に上海に上陸南支方面を視察したが例の學生運動も一息の形で思つたよりも平穩であつた、これも錦州事件解決以後の北支方面における日支の形勢が直接に影響を及ぼしたのだと思ふ

安樂椅子

犬養内閣の金輸出再禁止が飛んだところに影響して滿鐵の人事課長石本さん四苦八苦の體であつたが昨日人事課長の更迭で石本さんは重荷を卸したやうにホッとした

…………◇…………

ト云ふのは滿鐵は本年四月一日の會社創立記念日に二十五年勤續者に金盃を贈與することになつてゐるが金輸出再禁止で金價が騰つたのは未だよいとして肝腎の金地金も金盃も内地から取寄せられないことになつた。

…………◇…………

支那も金の國外輸出を禁止してゐるので三百人に贈る金盃の地金が大連市中で手に入るかどうかも疑問で次第によつてはアメリカあたりから金塊を取寄せなければなるまいと流石の石本さんも餘程思案に餘つてゐたらしい。

…………◇…………

ところへ昨日人事課長を土肥さんに讓ることになつたので石本さん大喜び「綺麗に片附けて土肥君に引繼ぐつもりだが金盃問題だけはどうにも方法が無いから懸案のまゝ土肥君に引渡すヨ」と、さて土肥さんこの難問題をどう始末するか？。

滿日各地版

安奉線の匪賊狀況
徐文海の千二百名を始めとし 總數約四千九百名

【奉天】既報連山關守備隊密偵の實地踏査による安奉線で猛威を揮つてゐる匪賊の分布狀況並にその勢力は左の如し

△頭目徐文海　鳳凰城北七區利樹甸子を根據とし部下を廿四ケ分隊に編成、一ケ分隊は隊長共五十名計一千二百名
△頭目鄧鐵梅　鳳城縣南綫三區尖山子を根據とし小頭目に蓋家帮、趙家帮、劉玉田の六名あり部下約一千二百名
△頭目（村副）姜樂三　鳳城縣東廣嶺子を根據とし計五、六十名
△頭目蔡文耀　鳳城縣東梓屯を根據として部下百名
△頭目鐵公鷄　鳳城縣北雪禮站を根據として部下七十名
△頭目高家帮　鳳城縣東方部落を根據として部下七十名
△頭目李福田　鳳城縣西紹高堡を根據として部下五百名
△頭目赫盛有（別名二馬棒）　鳳城縣北方部落を根據として部下二百名
△頭目草上飛　鳳城縣五、七區方面を根據として部下二百名
△黃邑三　本溪縣三區塞馬集を根據として部下三百名
△頭目古中華（別名愛中華）　橋頭西方遼陽本溪縣下瓦峪を根據として部下三百五十名
△頭目鍾子忱、同劉克儉合併　本溪縣三、四、五區方面を根據として部下千二百名
總計四千九百五十名

右の內徐文海が最も有力にして元十縣總指揮と自稱してゐたが最近十三路陸軍總司令と稱し黃邑三は天下第一軍總司令、鍾子忱は第一二、三連總隊長、鄧鐵梅は部下全部の左腕に「誓死救國」の腕章を附してゐる而して彼等の目的は日支開戰の際日本軍の輸送を妨ぐべく安奉線の破壞を企圖し鄧鐵梅は安東鳳凰城間、徐文海は鳳凰城本溪湖間、鍾子忱は本溪湖以北の鐵道破壞を擔當區域として打虎山の黃顯聲の委任により行動してゐるものであると

各地の匪賊

【奉天】沙河西南方八支里の工凌堡部落に十五日午前八時半頃李芳林の率ゐる四百名の匪賊來襲し同村で掠奪を行ひ更に農民魏慶山、楊子恒、魏福榮の三名を人質として拉去し宋大臺部落に移動したので目下大警戒中である

◇

新城子西北方約廿四支里の黑魚溝團山子附近一帶の部落に中山好以下二百五十名、呈手以下百名又高坎に大梯子以下百五十名合同となり新城子を襲擊せんと企圖してゐると

◇

十五日午後二時頃新城子東北方二十五支里の臨門嶺に谷間より騎馬賊百七十名突然來襲し金品を掠奪中である

◇

十四日より匪賊の出沒甚だしく打通線は危險に瀕してゐる又白旗堡より巨流河に至る間に千五百名の匪賊橫行してゐるが右は外日來打虎山附近に猛威を振つてゐた有力匪賊團の某地方に移動してゐるもののやうである

◇

十五日午前六時徐文海の一味の匪賊約四、五十名は四臺子驛の西方約半里の地を移動中であると

小道溝に匪賊

【奉天】湯山驛西方一邦里小道溝村落に十四日午後二時三十名の賊團出現した報に依り湯山驛の軍警急行交戰の結果賊三名を斃し二名を捕虜とし拳銃三挺長銃二挺を捕獲し午後五時引揚げた

唐大人山襲擊

【奉天】本溪湖署阪元警部補の指揮する警官隊の討伐した唐大人山（姚千戶屯より十三支里）部落に討伐の際逃走した頭目は十五日午前六時歸宅し妾、妻三名を十四日本溪湖署に引致された事に憤慨し部下七、八十名を率ゐて唐大人山部落を襲擊した上、放火して五、六棟を燒失せしめ楊千戶屯を經て田永河子に向ひ唐溝山に入つた模樣であるが廟溝山より十六日再び唐大人山を襲擊し村長を殺害すると豪語してゐる

日支官民合同の新年祝賀宴
長春で盛大に擧行

【長春】時局も一段落を告げ近く新國家も生れ出でようとしかもその新國家樹立式當日の大祝賀會順序も全く準備なり滿蒙三千萬民衆の心も春のやうに浮立つて來たが長春では田代領事及金市長共同主催のもとに十五日午後六時より八千代館に於て日支聯合新年宴會を大々的に開催、嘗て見ない融合平和な氣分を漲らせた、藏本書記生の挨拶に日支美妓連多數は酒間にサービス百パーセントを見せた歡を盡して散會したのは十時過ぎであつた、因に出席者は

▲日本側　長谷部旅團長、宮島少佐、瀧本大尉兩副官、大島聯隊長、佐藤、鹿野兩少佐、板野憲兵隊長、高原衞戍分院長、神津飛行隊長、森岡憲兵曹長、田代領事、藏本、原田、岡谷、大島各書記生、武波署長、井上、春木、三上、田畑各警部、楢岡地方事務所長、稻葉、三重野、龍谷各係主任、白井鐵道事務所長、高澤驛長、龜山滿電、五十嵐瓦斯、栗原正金、杉之原鮮銀、今村滿銀、問庭正隆、藜沼國際各支店長、奧平取引所長、山下取引信託專務、馬淵郵便局長、島名長春實業銀行專務、塚本滿鐵醫院長、動崎、得丸地委正副議長、中山三井首席、田邊吉敦技師長、河崎吉林綫道守備隊顧問、竹下旅兒團主事、柏原實業、箱

田北滿各社長、志村大每通信部員、南里滿日支社長
▲支那側、金市長、熙推運副局長、齊吉長副局長、趙縣長、孫公安局長、梁硝鹺局長、趙被服廠長、杳地方法院長、徐檢察長、趙鹽倉長、孫陸軍院長、白豪旗會辦、陳第一監獄長、楊鐵道守備隊付、汪鐵守備參謀長、莫稅捐局長、劉印花稅處坐辦、張縣公安局長、趙縣政府秘書、吳電燈廠長、王電話局長、劉郵政局長、原督察長、史商務會主席、劉東三省官銀號經理、崔永衡官銀號經管、陳中國、章交通、王邊業各銀行總辦、富大東報社長、朱益民時報社長、李市政府科長、李綫道守備第二隊長

在監囚人が在滿軍に慰勞金
新義州刑務所の二人

【安東】新義州刑務所の在監囚人二名は在滿派遣軍の勞苦を思ひ勞役によつて得たる郵便貯金の內より一名は三圓一名は五十錢を慰問金として獻金したとは奇特の至りだ

戰死者遺族へ小學生の同情

【普蘭店】普蘭店小學校の生徒達は時局以來可憐な胸を痛めて動亂の結末が一日も早く片附く事を祈つて居るがお正月も半過ぎ日に增し寒さも加はる今日北朔の地に勤務される兵隊さんや警官達の辛苦もさこそと思ひやり各自からお正月のお小遣十四圓五十五錢を醵出し全校自治會の名を以て十六日感激の手紙と共に軍警兩方面の負傷者や戰死者の遺族へ贈呈方を民政署へ願ひ出でたので當局では夫々その手續きを完了した

昭和製鋼所問題案で協議

【安東】安東商工會議所では十五日午前十一時より會議室に於て緊急昭和製鋼所實行委員會を開催し協議し午後一時散會したが瀨ノ口副會頭より種々の報告ありて後上京中の荒川會頭より製鋼所敷地は政府當路としては新義州說に有力なるも在京滿洲代表委員の政府當路に對する州內設置運動猛烈のため俄に樂觀を許さぬと云ふ樣な電報を朗讀し今後の對策に就き協議した結果安東側としては依然新義州設置を支持し新義州側と行動を共にするため新義州會議所に電話で照會したるに同所は目下東京、京城等に照會中なれば其の回答により全鮮的に運動する手配なれば安東側も應援を希望する旨のことであつたと

四洮線への送電
愈々近日中實現 一月一日迄には點火

【四平街】四平街電燈會社は四洮沿線八面城に送電すべく客年以來これが準備に殆んど寧日なき狀態にあつたが來る二月一日までには全部の施設を完了して點火を見るに至るであらうと右につき富田同社專務は語る

八面城まで電線を延長するには少なくも五百本餘の電柱を樹立しなければならぬ、一番困難を感じたのは電柱を樹立する穴の掘鑿であつた、何分地層が凍結してゐたので容易の術ではなかつたが正月も休まず激勵した結果昨日完了を告げ頃來電柱樹立に取掛つてゐるが一日六十本位樹立し得るので大して至難なことゝも思はぬ

同地に 八百の電燈を點ずると假定しても金額に直せば一ケ年約一萬圓程度のものだが洋上つた關係で僥倖にも缺損は見ない、素より利害を打算する性質のものではない只四平街の文化施設を未開の地に延長すれば自分の使命は果されるのだ、施設費は約五千圓位のものだから一ケ年經てば經費を差引きて五千圓程度の利得を見ることになるから餘り惡い事業ではない、同地に於て邦人の最も有利の事業は粟の精選工場だらう、八面城粟は夙に內外に認められた

特產で あるから同地で之を精選し市場に出せば更に聲價を高めるばかりか一面精選業者も相當の利益あるは疑ふ餘地はない、若し斯うした企業者があらば會社としては凡ての工業を獎勵する意味で出來得る限り便宜を圖る意志で居る尙ほ點火と共に同地在住の華人側有志を一堂に集め何等かの歡興を與へて永遠に此の日を記念したいと思ふがそれに相應しい趣向はないだらうかネ……

山田一等兵をめぐつて 美しい心と心の渦卷き
このかくれた一篤志家に この山田一等兵の心境

◇**蒙古嵐** の吹き卷くる十二日午前零時二十分公主嶺騎兵聯隊が重大任務を帶び錦西方面に向ふ可く當驛通過の際昂々溪の戰鬪に敵軍の捕虜となりたるも奇しき緣にて元隊に歸るを得たる山田一等兵が本隊に交り居る事を聞き込みたる當地在住の一篤志家は戰中に捕虜となりたる其の氣持に同情し各車輛を探し求めたる結果發車間際となりて馬屋當番勤務中の山田一等兵を探し當て「煙草なり」とて金一封を與へたる謎の人は山田一等兵よりの依賴に依り當地警察に於て內查中の處此の

◇**篤志家** こそ近藤藥舖主人山崎德繁氏なる事が知れた同氏を訪へば

何んでもない事が警察迄御迷惑を掛け寧ろ恥かしき極みである

として山田一等兵の手紙を示された

山田一等兵が天晴れ帝國軍人としての氣分が左により窺はれる

只今はお寒いのにも拘らず態々御見送り下さいましたのみならず御贈り物に預りまして忝けなく深く御禮申上げます、貴方樣の樣な篤志家の御名前もお聞きする事を忘れました愚かさを今更ら悔いてゐる次第です、發車してからは如何樣にも成り難く警察から此の

◇**書面を** 屆けて戴く事に氣付きました顧みますれば九月十九日南嶺攻擊以來チチハル攻擊に々復錦州攻擊に心厚き皆々樣方の御聲援と御後援が何時も耳に目に殘り勇氣百倍連戰連勝しましたが昂々溪の攻擊にあの樣な不覺をとり軍人として死に勝る恥と深く謹愼してゐるにも不拘多數同胞の御同情を受けまして其後再三再四の戰鬪に參加する事を得ました事を心から感謝してゐます、無き生命を拾ひましたのですから次々の戰鬪には花々しい戰死を豫期し大いに働き皇國の爲め御同情厚き皆樣のため御恩の萬が一に報いたいと決心してゐます、

◇**見た事** もない未知の者に斯る多額な金子を御投じ下さいました御心意には戰友の誰れもが熱き感激の淚に咽びました

此の書狀が御手許に屆きましたら勝手ですが御住所御姓名を明記して御知らせ下さいませ、公主嶺駐屯騎兵第二聯隊第一中隊として御願ひ致します、折角御大事にさようなら

陣中にて　山田哲太郎
篤志家樣

筑前琵琶『北滿嵐』

關東軍司令部　臼田少佐
同　岡田猛馬　共作
法議山　豐田旭穰　作曲

（下）

水口主計は殘員を集め
悲壯の決意面に現はし
前門は銃火の壁、後門は
鷲風火を呼び襲ひ來ぬ
之ぞ寞土の門火ぞや
彌陀の招きに死所を得ぬ
やがて滿洲野に春ぞ來て
大和櫻の香に匂ふ
皇帝のしろしめす
王土の民草色まさん
されどやみ〳〵此のまゝに
憤死せんより打つて出て
進んで敵彈に斃るこそ
日本男子の本意なり
重要書類は殘りなく
火中に投じ燒捨てよ
後藤、中山他二名は
如何でかして此旨を
聯隊長に報告せよと
命じ終るや軍刀かざし
怒濤の如く攻めよする
敵の眞只中に斬つて入る
岡村主計之に續けば
殘る兵士おくれじと
猛射を浴びて突進し
縱橫無盡に斬り立て斬たて
暫時鬪ひ居たりしが
流石勇將猛卒も
衆寡敵せず無慘にも
恨を呑んで荒野邊に
陛下の萬歲唱へつゝ
胡砂吹く風に散りにけり
報告の重任身に帶びたる
四名の勇士は二方より
右に拳銃左手には
銃劍おつとり無二無三
血路を開き進みしが
僅に後藤一等兵
一人殘され又一人
飛鳥の如く逃れ出づ
逃しはせじと敵兵は
銃火浴びせて追擊す
身丈に餘る芦原に
身を躍らせて飛び入れば
沼地の氷、幸ひに
鍛へしスケートの
妙技揮つて虎口を逃れ
重き使命を果せしは
神の祐けか奇蹟なる
壯烈英靈泣鬼神、驚天動地嫩江濱、男子志氣爭先死、竹帛留芳萬古春
時に夕陽斜きて
零度を下る四十度の
寒さに屍は野に氷り
靜かに眠る十六士
英魂永久に還られど
皇國を思ふ赤誠は
滿洲野の夕陽にいや優り
武名は興安の嶺より高く
後の世までも殘るらむ
後の世までも殘るらむ

安東
下附の御神寶

伊勢皇大神宮より新義州平安神社に下附の御神寶は左の如し
皇太神宮より革御鞘　一腰
同別宮よりは銅黑造御太刀　一柄
同梓御弓　一張
豐受大神宮よりは御楯　一枚
同別宮よりは御鏡　一面

十六ミリ寄附

四番通西川醫院主西川勝彥氏は大和小學校父兄會に對し活動寫眞撮影器と映寫機を寄附した

商議役員會

【營口】商業會議所では十七日午後二時から遼河の不凍港化問題、滿鐵運賃對策、河北發着貨客對山奉線打通線の連絡對策、取引所並に金融問題對策、關稅問題等につき役員會を開き協議を凝らした

遭難記者の遺骸 十八日目に奪還
營口本願寺に安置

【營口】田庄臺から賀掌寺方面に進出せし我第○○○隊の主力は十六日午後二時頃蔡賓山、老來好等の匪賊の一團に遭遇し約一時間に亘り交戰したが敵は遂に北方に向つて逃走した、此際舊臘殘殺されたる大朝社員油井義雄（二七）の死體を遺棄しあるを發見我軍に於て奪還した遺骸は十六日午後二時當地着直に本願寺に安置され十七日荼毘に付したが殺害されてから丁度十八日目に奪還されたものである

奉天公費豫算

【奉天】十八日午後一時より奉天事務所會議室に於て昭和七年度の奉天公費歲出入豫算會議が開催されるが本年度の豫算總額は約四十四萬圓で前年に比し四萬一千圓の減額である又蘇家屯區公費豫算會議は十六日午後二時から奉天事務所に於て開催されたが七年度の總額は二萬五千圓であつた

奉天カフエー組合創立

【奉天】奉天におけるカフエー業組合の飲食店より分離獨立する問題は昨年より種々論議され結局樣を見て分離することになつてゐたが今回愈々飲食店組合から全く分離した組合を設置することになりその筋に請願中であつたが去る十四日認可となつたので十五日午後四時から三光に於て組合の設立總會を開き役員の選擧經過報告その他規約等を決定し六時頃散會したその役員は左の如し

會長木村邦明、副會長林彌吉、會計監督木下秀雄、評議員高鶴久次郎、田村庵之助、辻川恒一、池田芳次

銃器を下附

【長春】長春附近は目下萬寶山附近が匪賊の巢窟化して來たが長春縣長は銃器彈藥不足のためこれが徹底的討伐が不可能であるので縣長趙汝楳氏は熙長官に對しその下附方の申請中だつたが今回認可指令に接し十四日大隊長張振勳をしてこれが受領に赴かせしめた因に今回下附された銃器は步兵銃三百挺、彈丸二萬發であるが第一回下附の步兵銃二百挺、彈丸二萬發と合し銃五百挺彈丸四萬發となつた譯である

開原
開原電氣招宴

開原電氣株式會社專務千々和正彥氏は一月十六日午後一時同社が開原縣城內に送電點燈し多大の援助を與へたる自治執行委員指導委員顧問其他關係官民を福賓樓に招き工事其他現狀を報告し感謝の意を表し續いて淸宴を張つた

奉天
古物組合總會

奉天古物商組合では十五日午後二時より總會を開き役員改選の結果會長に井上源三郎、副會長に高原淸一郎氏が決定し午後四時散會した

北關夜話

長春の發展、誠にスバラシイものにならうとは誰しも期待してゐるところである▲鐵道の中心地たることは事實でそれだけ貨物の吞吐旅客の往來は頻繁に▲だがそれだけではハルピンの繁榮を奪ひ取るまでにはいかん▲莫大な金を懷中に每年內地から來る滿蒙視察者がハルピン行きを目標にするのはロシア情緒？エログロ探見者ばかりで▲それ等がハルピンに落す金は一年を通ずると驚くべき巨額ではある▲吾等長春人は關東のお役人達が時代の要求を容れめて長春だけにハルピンの繁榮を建させて貰ひたいものぢやが▲固いことを云ふその役人達は人以上に好きであつてヤレ規則だヤレ衞生上、保安上と七面倒臭く出る▲その難匪賊討伐となれば經費がない人員が足りないと來る考へてみると情なくなるテ▲ドウダハルピン探見者を長春探見で滿足させる方法を講じて見ては▲無國籍者の白系美人もハルピンよりは長春居住を望んでゐる新國家建設のお祝ひとして一考しては▲更に不景氣の吹飛し策として賄彩十萬圓位の彩票發行を、滿鐵三千萬民衆はそれこそ歡喜の淚を流して新國家を謳歌することであらうが【長春】

曙の鐘 (169)

倉田潮
河野想多畫

第二の戀人（二）

朝の庭を一時間ばかりもさまよつてゐた末に、あけみは久し振りで洋館に行つて見ようと思ひついた。

洋館の仲居達は近頃しば〳〵屋敷へ訪れて來るが、こちらから洋館に行つたことは殆ど無いのだつた。剛太郎の時以來洋館は別の家のやうな氣がしてゐた。最近逢つたお露の云ふところではお冬の去つた後は、自然お夏が「萬事采配をふつてゐる」とのことだつた。それはあけみ自身もお夏に十分意を含めておいたことで、或る時期まではさうさせておかねば立ち行かぬことが解つてゐた。

あけみは洋館の園ひ中に進み入つたが、玄關からは中に這入らなかつた。わざと橫の下り口から地下室に近づいて行つた。取つつきの誰もゐないコンクリの箱のやうなくりやの中で、釜の下のガスが勢ひよく呻つてゐた。そして、その側には半分に切られた白菜がまないたの上にのつてゐる。晩い朝飯の用意らしかつた。

遠い部屋からふと水の音がかすかにもれて來るのが聞えた。誰かが朝の風呂に這入つてゐるのだらう

あけみは廚を出て隣りの物置きに這入り、その小窓から次の浴室をのぞいて見た。

お夏が湯に這入つてゐるのだつた。豐艶に圓く肥つた其の肉體はあけみの眼を引きつけるに十分な美しさを持つてゐた。

柔かい白陶器のやうな其肉體は溫湯の爲めに桃色に色づいて、その上を滑り落ちる水滴につや〳〵と光つてゐる。今迄いろ〳〵な男を探し、樣々な罪惡に染まつて來た肉體であらうのに、微塵も汚れを止めず、その痕跡も殘してゐなかつた。それは罪惡と云ふ特殊な行爲の種類が實在しない爲であるか、さもなくば實在しても皮膚を滑る湯水の如く瞬間に流れ去り消え去る爲であらう。あけみは「祕密なる肉體」を其處にもまた見出した。

「お夏」と彼女はそつと聲をかけた。「私こゝに來てゐるの」

「誰？」とお夏はやゝ驚いた調子で問ひ返した。

「私よ。屋敷のあけみよ」

「まあ、御嬢さんですの。すぐ出ますわ」

「出ないでもいゝわ。私も一緒に入れてくれない」

彼女はふとお夏と一緒に朝湯にしたり度いと思ひついたのだつたが、お夏の答へは躊躇の響きを持つてゐた。

「お湯にですか。私のよごしたお湯に？」

「さうよ。私も這入り度くなつたのよ」

「一新しくたてゝ進ぜませうか」

「そんなことせずとも、お前の這入つてゐる其の湯に入れてくれないの」

「勿體なう御座いますが、これで宜敷くば……」

「さう、では、這入るわ」

この頃しげ〳〵逢つてゐるので、あけみはお夏と可成り親みを持つてゐた。

着物を浴室の板の間にぬいで、底意のない笑ひを漏らしながら、あけみは靜かに浴槽に歩みよつた。お夏が側から新しい手拭を差し出してくれた。あけみは湯をつかひながら、鏡面のひきしまつたスラつとした己の體を比べて見た。それは日本の二つの時代を象徴する各異つた裸體だつた。お夏の肉體には男にすがらうとする寄生的な女性のたをやかな美があつた。そして、あけみのそれには寄生せずともやつて行ける獨立的な女性の力強い美が現れてゐた。しかし、その肉を流れる血潮には一脈相通ずるバンプの血球が含まれてゐるのかもしれない。あけみは己の考へに微笑をさそはれながら、「お夏、お前、昨日また繁蔭へ呼び出されはしなかつたかい」と訊いた。

「ええ、呼び出されて遲くまでとめおきを食ひましたわ。歸つたのが十一時すぎなので、今朝これから御詫びに上らうと思つてをりましたのよ」

「何んなことを訊かれたの」

新刊紹介

▲國境を超ゆれば（宮原欣著）振はない滿洲の文壇にあつて「未來」に引續いて「國境を超ゆれば」の堂々六百余頁に亘るこの長編を完成した著者の努力に先づ敬意を拂つて見る。滿洲は廣い、この廣い滿洲を背景として培はれた文藝の匂ひの果ではなからうか、著者は自由自在に滿蒙の天地に登場人物を躍らしその言はんと欲するところを充分盡してゐる。著者の言葉を借りてみよう「これは曠原の中だ、ものゝ悉く目新しい、こゝにどんな運動が起つてどんな方向へ進むか、それを究めよう、そして全世界へ人へ知らさう、これが大切だ！」といつてゐる。建設聯盟が土臺となつて登場人物は日本人を初め種々の民族が相交錯して運動が進展してゐる今や滿蒙の天地には東北三千萬民衆の待望久しきに亘つてゐた滿蒙維新の黎明は訪れ來て新國家の建設により樂土にならんとしつゝある、それに連れ幾多の國境を持つ滿蒙は益々政治的に或は外交に微妙な動きを持つ、この意〻において本著「國境を超ゆれば」は單なる創作といふより社會文藝として敢へて江湖にすゝむ（四六判、定價一圓五十錢、東京市日本橋江戶橋二ノ六創建社）

けふの放送　大連 JQAK　一月十八日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時十分ニュース
▲兒童科學講座 第二十三回「最近科學文明の概觀」大連神明高等女學校大貫正
（以下內地中繼七時）
▲管絃樂 交響曲＝短調フランク作、日本放送交響樂團、指揮山田耕作
▲連續二人漫談「一九三二年風景」德川夢聲、古川綠波、伴奏指揮福田宗吉
（以下大連放送局より）
▲ニュース
▲天氣豫報
▲職業紹介事項
▲中國劇「烏盆計」遼東俱樂部々員

(明治四十年十月二十五日 第三種郵便物認可)

發行人 印刷人 編輯人 大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓三十錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

對日國交斷絶問題は中央全體會議で討議

南京政府に贊否兩論

蔣介石一派は斷交に極力反對

【南京十六日發】本日の行政院會議で對日外交關係斷絶宣布問題が討議され孫科、陳友仁らは極力斷交宣布論を支持した　政府部内に斯くのごときは徒らに日本の術中に陷入り重大結果を招致するとて强硬に反對するものありて決定を見るに至らず廿日の臨時中央執監全體會議を開き投票により採否を決する事となつた、斷交宣布反對の急先鋒は吳稚暉、顧孟餘らで蔣介石派領袖はすべて陳友仁の外交方針に反對し居りかたく孫科がこれらの反對を押切つて斷交宣布をなす決意あるや疑問とされる、但し國府内に日支直接交渉を主張するものなど一人もなく對日方針は益々硬化するのみで新政府が尙日支直接交渉を對日方針の目標として居るなどと信ずるは最近の政情の變化を解せぬものである

國、交通兩銀行の紙幣も通用せざるに至る、而してこの裏面には蔣介石の策謀あること勿論である【奉天電話】

對日國交斷絶論者の眞意

【南京十六日發】スチムソン氏の對日通牒以來俄に對日强硬を示してゐる陳友仁外交部長の所謂對日絶交論は側近者談に依れば對日開戰を意味せず外交關係を斷絶した儘滿洲の情勢が九月十八日前の狀態に外交關係を回復せんとするもので奉天の原狀回復には新ワシントン會議を招集せしめ之に依り滿洲問題の解決を期するものだと云ふにある

民國日報不敬事件

支那側わが要求履行

【上海十六日發】民國二十一年一月十六日當地民國日報の不敬事件に關し居留民の決議文を總領事に手交するに至つたが村井總領事は本日午後白井副領事を帶同吳市長を訪問、日本國體に鑑み本事件に就き速かに我要求を容れる樣嚴重要求した、吳市長は本日の民國日報が政府側の注意に依り取敢ず謝明文を載せ遺憾の意を表し居る事を述べると共に申し入れ條項の履行に就き誠意を示し目下陳謝處罰等の具體的方法に就き打合せ中である、因に日報の謝明文なるものは用語不充分の爲め誤解をまいたものであるとなしてゐる、尙當地在鄕軍人會支部は右事件に憤慨し若し支那側に於て我要求を容れぬ場合は本部に打電し一般の輿論を喚起するよう申合せてゐる

靑島事件で逆捩的抗議

【南京十六日發】外交部は靑島事件に關する抗議文を昨日附で十六日朝南京領事館經由重光公使に宛て提出した、内容は逆襲的に我靑島領事をして靑島市政府に對し、陳謝、賠償、犯人逮捕を要求したもので相當强い字句が列べてある。

助からぬ南京政府

財閥、軍閥に見離さる

南京來電、支那側某要人談によれば孫科は上海における現下の財政狀態に鑑み已むを得ず二五基金（内債償還基金）として關稅附加稅二分五厘を上海民間銀行業者を以て組織せる委員會をして保管せしむ）に手を觸れる意志あるを洩らしてゐる、これが爲め上海銀行界及び關稅關係に大恐慌を來し

一方　公債は空前の下落を示し十三日夜總稅務司と協議の結果南京政府に對し若し斯くの如きことあらば銀行界は稅關と協力のこ上關稅剩餘金は政府に送致することを中止しこれを二五基金に繰入れ保管すべしと通告した、而して山東、廣東及び平津地方の中央稅は各々その地方の軍閥是を抑留せ

しのみならず何成濬、魯滌平、顧祝同も夫々湖北、江西、江蘇地方より中央に送附する各稅を抑留する命令を發しこれが爲め

中央　の諸稅收入は殆ど皆無となり南京政府の生命は財政的に危殆に瀕してゐる、なほ上海支那銀行は十四日午後より取付を蒙始せられ中央銀行最も甚だしく中

爲替市場を刺戟した米復興金融會社案

金本位放棄說の誤傳

【ニューヨーク十五日發】復興金融會社その他金融擴大策が着々進行してゐるのを見て海外諸國ではアメリカは今や一大インフレーション運動に乘出したと信じてゐるらしく此事は直に爲替に反映してアメリカ以外の有力外國貨幣を以て表現されたドル貨の價値は本日に至り著るしく下押した、即ち米英爲替は本日約三仙高騰し又佛爲替も一點以上高騰した[illegible]

の第一因はアメリカが金本位を放棄するならんとの噂が極東に於て流布されてゐるためである、此の風說は明らかに復興金融會社案の目的並に聯邦準備銀行の金融緩和策に對する誤解より生じたもので ある、勿論アメリカが金本位を放棄する等の說には何等根據はない復興金融會社案の主旨は鐵道會社金融緩和策は既に實際以下に下落してゐる諸證券相場を此上低落させないやうにする事を目的とする事實多數の有力公社債類は既に普通ならば賣買不能と考へられる價頃まで低下してゐるのである、アメリカが金本位を停止す可しとの風說を捏造する人々の說を打破するにはアメリカは金本位放棄によつて毫も益するところがない事を言へば足る、又更にアメリカの巨額の金保有高より考へて金本位を

放棄しなければならぬ事態に迫られてゐる等は全く取るに足らぬ言說である

反動を恐れ買氣出現

【大阪十六日發】アメリカ財界の不安人氣濃厚にして準備銀行の利下げ說擡頭し弗貨の弱見越しにあるため一兩日中内地弗買持ち筋たる爲め前日内地相場と相呼應し相當纏まつた利喰ひが巨額に出て合ひに始めたが後利喰ひ一服となりて米日爲替暴騰となり寄り最强保ち爲替の反動を恐れて買氣現はれ土曜半休勞々市場人氣は急軟化の模樣となり一般は前日米三十七弗一日英二志一片八分の三臺へなるも一部には三十七弗四分の一と二志

昨日爲替市場

【大阪十六日發】米日爲替は三十七弗八十七仙二分一と一弗十二仙二分一方の猛騰に内外相呼應して更に强調を示し市場强張り寄前日に保合ひなるがあと昂騰氣構へに買手は三弗方の高値を唱へて買つかず見送り一方輸出ビルの出廻り一段と促進され相當の取組が行はれて居る模樣である尙アメリカの金利低下によつて一時歐洲殊にフランス筋の資金流入が滅じて不安人氣を傳へ居るため内地市場にありては近來珍しき買氣强く賣氣ぎの職狀にある

一片四分の一唱へもあり買手は三十八弗と二志二片邊の買聲あり商談出來ざるも只管休日中入電待ちの姿であつた

再び軍閥の時代

最近支那軍隊の實狀

南京來電支那側某參謀處長談によれば一師の軍費はさきに二十八萬元なりしものが十四萬元に半減し最近は更にこれを十一萬六千元に削減せられた、これが爲め中尉以下の軍官は食費ほか五元内外の小遣ひを支給せられるのみで軍隊は政府に對し大なる不滿を抱いてゐる、然して上級軍官は俸給の如きは問題とせず他に地方財源より種々の口實の下に借上を行ひ軍費補給の方法を講じてゐる從つて表面は中央よりの送金殆ど絶えたる爲め軍事費の窮乏甚だしく部下に對する俸給の如きも右の如く節約主義をとるも團長以上の軍官は内容において從來と大差なく、然も彼等は中央に軍費を要請しその容れられざるを理由に公然地方機關より搾取して中央に送附すべき稅金を橫領してゐることの明白なる詐欺的行爲に對し政府は如何とも手の下しやうもなき實情である【奉天電話】

財政會議續行

【上海十六日發】當地金融會代表張氏等七名は午後四時吳鐵城宅で陳銘樞兩氏等出席各代表等胡、林兩氏の留任財政公開公債基金の許可を條件に月額五百萬元調達方を協議したが政府側增額に就き再考を求め明日も會議續行に決して散會した、調達金は銀行側六百萬元錢莊側、商店行等二百萬元計八百萬元出來るものとみられてゐる

汪精衞杭州に赴き蔣介石と重要協議

共同政務を執るか

【上海十六日發】陳銘樞は今十六日朝杭州より來滬十字病院に汪精衞を訪問蔣介石の意を傳へ重要協議のため即日赴杭されたいと要求する處あり依つて汪精衞は午後六時二十分發列車で杭州へ向つたが停車場で語る

病氣は稍々良くなつた蔣介石の招電で國事を議するため赴杭するが或は蔣介石と共同政務を執るかも知れない

尙汪精衞は孫科、胡漢民に右の旨を打電し胡漢民に即日赴杭を促した。

【杭州十六日發】汪精衞は十六日午後十時四十五分杭州到着、宋子文と共に蔣介石を訪問蔣介石は大いに喜んで汪精衞を迎へ十七日午前一時に至るも尙會議を續けてゐる

モラトリアム實施

内債利拂を延期し新公債發行か

南京政府の切拔け策

【南京十六日發】政府方面では最近一切の内國債に對する利子に向ふ六ケ月のモラトリアムを實施すべしとの運動次第に强くなつて來たもの丶如くだ

【南京十六日發】本日の政治會議は内債モラトリアム案に關し討議の結果對日國交斷絶案と共に近く臨時全體會議を開き投票に依り決することゝなつた、モラトリアム案に依り一億四千萬弗の支出を減じ年内新公債を發行して危機を救ふの要ありとしてゐる

【南京十六日發】内債モラトリアム案は臨時全體會議に持ち越されたが浙江財閥が支持せぬならば之れを實施する外あるまいと觀られる

學良吳佩孚北平入り慫慂

【天津十六日發】吳佩孚が綏遠に到着するや學良は彼れの歡心を買ふべく北平入りを慫慂してゐるが當地直隷要人は吳がうかつに北平に入れば監禁される懼れあれば形勢を見さだける迄綏遠に止まるべしと警告を發した吳の再起は彼れの舊部下于學忠の態度一つにかゝつて居る

學良別働隊に砲彈藥輸送

【天津十六日發】關外別働隊の案外な成功に意を强ふした張學良は今後も別働隊の一手で押すに決し更に彈藥三百箱迫擊砲三十門を熱河に輸送した

奉天票に惱む天津の商人

【天津十六日發】過日北平に赴いた榮臻らは學良から二千五百萬元づつ支給され歸任したが右は北平で印刷された奉天票で榮臻は給料として之れを使用せるため一兵卒でも二千乃至三千の奉天票を持ち折附近住民は紙屑奉天票流通を强請され辟易し果て居る

米の對滿態度樂觀

わが外務當局の見解

【東京十六日發】對米回答に關し外務當局は之を以て滿蒙に關する米國との問題は明確に氷解され米國政府は日本の滿洲に於ける立場に關し正確なる認識を喚起するものと解してゐる

米は門戸開放策に滿足

【ワシントン十六日發】アメリカの對日通牒に對する一月十六日附日本の回答は本日到着したが、スチムソン氏は批評を避け國務省高官連は近數年中に國務省が受取つた外交文書中最も拔目ないもので日本の外交技術の洗練を物語るものと云つてゐる、なほ門戶開放政策維持には滿足の態である

支那の對米回答を公表

【ワシントン十六日發】ケロッグ不戰條約並に九ケ國條約を引用せるスチムソン氏の通牒に對する國民政府の回答は右同文通牒に對する日本政府よりの回答の接受後本日國務省より公表されたが其の要旨左の如し

支那は九ケ國條約並にケロッグ不戰條約と牴觸するが如き如何なる條約乃至協約をも締結する意志を有せず支那は米國政府が右條約を確保する爲國際的誓約の效果を更に增進せらるべき事を希望

支那また聯盟に泣附く

【ジュネーヴ十六日發】聯盟支那代表部は左の如き通牒を聯盟理事會に泣き附いた

吉林省首府が占領されて以來政府は臨時首府を濱縣に移したところ日本軍は又もや同地を空中より爆擊した、還は日本軍が滿洲各地より總ての合法的支那權力者當局を驅逐せんとする野心を藏することを明白に立證するもので日本は聯盟規約と理事會の決議を無法に侵害したものである

日露條約には消極的態度

【東京十六日發】勞農の提案せる日露不可侵條約締結に對し外務當局は一切の言明を避けてゐるが極めて消極的態度を執りこれを應諾すべき限りにあらずとの意見を執つてゐる

山岡長官

南大將訪問

時局問題懇談

【東京特電十六日發】山岡新關東長官は十六日午前十一時靑山の陸軍大學に南前陸相を訪問、約一時間に亘り懇談したがその會見の内容は先づ長官より就任の挨拶を述べ最近滿洲視察をなした南前陸相より滿洲の現狀及び事變の經過、對滿政策に關する意見等を聽取し長官等自己の抱負を述べて了解を求めたが山岡長官にしては軍部の意嚮を充分に尊重し此の際特に一體となつて事變後の處置に最善を盡すべく充分な了解を得たとのことである

張海鵬氏けふ着奉

洮南に在つて東蒙邊境の治安を固め三千の部下を持つて自治結束に當つてゐる張海鵬は滿蒙建國の機運漸く濃厚となつたのでこれに參加すべく打合せのため十七日午後十二時五分十三名の關係者を帶同片倉參謀その他の出迎へを受け着奉したが驛頭に出迎へた記者にニコニコと愛嬌を振まきながら左の如く語る

この度の來奉は軍部及び省政府首腦と種々打合せのためで日程も未だ判然としてゐない、私はこれから軍の諒解を得て洮南を中心に完全な自治制を行ひ支那と日本との關係をより一層深くしたいと思ふ、病氣も漸く全治してこれから充分の活動が出來るから新建設國家に參與して一臂の力を添へたいと考へてゐる【奉天電話】

ホテルに入つた、二、三日滯在して軍司令官、省政府首腦者と會見の上歸洮する筈である、張海鵬氏については書類鑑識の上談議するはずである

朝鮮軍との交替

來月中には實現

【東京十七日發】目下關東軍の中堅をなしてゐる朝鮮軍管下の混成二個旅團を永く滿洲に留むることは軍制改革においても朝鮮增師をも決行せんとしつゝある今日の狀勢に合致せざるを以てこれを原駐地に歸還せしめ其の代り内地より同程度の部隊を交代派遣すべしとの議關係當局に於て行はれつゝありおそらく來月中には其の運びに達するものと解せられて居る而して右交代補充が實現する場合其の先陣をうけたまはるものは既に其の師團管下より混成一個旅團を派遣して居る内地第○師團の師團司令部の殘餘部隊と觀られて居る

民政黨の新役員

【東京十七日發】民政黨は休會明け議會に臨むに當り二十日の黨大會席上黨總務外本部役員を指名發表して院内外の陣容を整へることゝなつたが、その顏觸れは大體左の如し

筆頭總務井上準之助（九州）總務木檜三四郎、小坂順造（關東）山本厚三（東北、北海）加藤鯛一（東海）廣瀨德藏、堤康次郎（近畿）小川鄕太郎、川崎卓吉（中國）小西和（四國）

（顧問追加）賴母木桂吉、吉田磯吉、鶴澤宇八、高木正年

幹事長永井柳太郎

政務調査會長添田敬一郎

黨務部長野田文一郎或は加藤鯛一

情報部長大麻唯男か淸水長鄕

遊說部長内ケ崎作三郎

民政黨新政策

【東京十七日發】民政黨政策中の通貨の安定の字句を通貨膨脹の防止並に爲替相場の安定に改訂することに決定した

大逆事件責任者

長前總監は懲戒免官

【東京十七日發】大逆事件責任者處罰に關する高等文官懲戒委員會二回目は十六日午後三時より開會意見交換の結果長前警視總監一人にとゞまり警務局長、麹町署長、警保局長、官房主事、警務課長、特高課長、監察官等は減俸處分を見る模樣である

他は追て審議

【東京十七日發】大逆事件に對する主要責任者處分は十六日決定したが、他の關係者は譴責訓告處分に附し、朝鮮、上海、兵庫、山口神奈川、長崎等の責任者處罰については二月上旬になる模樣である

滿洲事變費

本年度殘分豫算

【東京十七日發】本年度二月餘の滿洲事件費は十六日の大藏省と關係省との交渉の結果總額二千九十萬圓と決定した

葉梨秘書官

【東京特電十六日發】關東長官の秘書官葉梨新五郎氏は十五日任官の辭令が出たが同氏は茨城縣の人電通編輯局に七年間も務め溫厚篤實の有爲の人物である

今夜東京出發

【東京特電十六日發】山岡新關東長官は葉梨秘書官ほか四名の隨行を帶同、既報の如く十七日午後十時十五分東京驛發赴任の途につく筈であるが途中伊勢大廟、畝傍、桃山御陵に參拜、京都一泊大阪に立寄り二十一日門司より香港丸に搭乘、二十三日大連着の豫定で永子夫人は都合上東京に居殘ることゝなつた

林總領事

近く親任

ブラジル大使

【東京十七日發】歸朝中の林奉天總領事はブラジル大使新任に内定して居たが此の間ブラジル國政府より林氏に對するアグレマンが到着したので近く正式に決定親任式を舉行せらるゝ事となつた尙赴任は二月上旬になる模樣である

次田氏民政入黨

【東京十七日發】貴族院議員次田大三郎氏は十六日民政黨に入黨した

けふの日曜日、スケー祭の催し、戸外デー、假裝行列、飽餘技、橇遊び競爭、氷上競爭。

◇

空には煙火、地には音樂。夕暗至れば雪燈爛々銀盤に反映し、加ふるに紅提灯、五色燈の彩り、光明燦然、一大不夜城の現出。

◇

健康第一戸外へ、戸外へ。市民よ、大衆よ、小閑あらばこの夕べを鏡ケ池へ、鏡ケ池へ。

◇

對日絶交問題で陳友仁頻りに强がる、ツイこの間日本に來り、泣きついて廻つたのは誰だつけ。

◇

軍費に困つた學良、榮臻ら北平發の紙幣を配つて「それ二千兩だ三千兩だ」

◇

幾ら無智な兵隊でも「こりや使へまへん」とさ。

◇

昭和の猿飛佐助出現。

◇

わが遼陽陸軍大尉の「飛彈隱聲」發明がまさにそれ。

關東廳高等課長

江口治氏

【東京十七日發】警視廳前搜査課長江口治氏は昨年十二月二十八日休職となつたが今度關東廳高等課長に榮進する事となり二月早々に赴任する事となつた

政府與黨連絡係り決定

【東京十六日發】休會明けの議會は重大であるので政府與黨の連絡に

久原氏留任

【東京十七日發】政友會の久原幹事長は協力内閣問題に就き責を負つて辭任する事となつてゐたが後任問題等面倒な問題があるので選擧を控へて幹事長としては久原氏以上の適任者無きために留任する事に決定十八日の總部會で正式に決定する事となつた

ある爲め政友會では十六日の總部會で協議の結果、山本農相を政府與黨の連絡係とする事に決定、なほ尙選擧にしなければならないもの

東亞の謎 (177)

國枝史郞　挿畫　伊藤順三

大連の冒險（二）

さはいへ支那の秘密結社についてゞ、伯は全然無知識ではなく、いや隨分詳細の所まで、これ迄に研究してゐるのであつて、彼等會員の使ふところの、茶碗陣のやり方や、造字、隱語の性質や、誓詞及び諸律法や、公所のことや入會式のことや、特徴のことにさへ知悉してゐるのであつた。

が、併し伯はこれらのことを、文字の上で知つてゐるばかりで、實際に卽しては知つてゐなかつた

そこで伯は今後に於て、それを知らうとしてゐるのであつた。

彼等結社の會員と、直接深く交際しやう、場合によつては會員にもならう、本部といふ所へも行つて見やう、入會式へも參列しやう秘密の會合へも行つて見やう――こんなやうに思つてゐるのであつた。

伯は自分を貴族として、一切振舞はないことにした。平民として中流人士として、時には少し不自然ではあつたが、暖氏として行動した、時々下等の支那服を纏つて小鬪子だのジャンク波戸場だの、奧町の阿片窟だの、△△町の娼家などへさへ行つた。蒙古語こそは出來なかつたが、支那語は普通の會話ぐらゐは、日支合辦語の怪しい程度から、遙かに越してゐる程度に於て、兎も角も使ふことが出來たので、用を達すには不便無かつた。

それは或日の夜であつたが、伯は珍しく立派な服裝――黑の上等の背廣の上へ、氣皮のオーバをひつかけて、有閑ブルジョア階級の、退屈をしてゐる人間のやうな、さういつたやうな樣子をして、山縣通にあるポンペイ・ダンスホールへ、一人で飄然と出かけて行つた。

久しぶりで來たダンス・ホールであつた。伯は一つの卓を占めて甘口のカクテールを傾けながら、朗かに場内を見まはした。

ダンサーは白系ロシア女で、可成り美しく上品であつた。バンドの連中も白系ロシア人で、貴族らしい風貌を持つた者がゐた。

左右の壁際は上手ではなかつたが、不快な輿へはしなかつた。

ダンサー達の席は向ふ側にあつて、いづれも卓を控へてゐた。

客は此方側の卓にゐて、めいめいの飮物を飮みながら、踊つたり話したり笑つたりしてゐた。

パートナーを連れてゐる者もあつた。客の大多分は日本人で、小數の外人の姿も見られた。

女の客も相當にあつた。藝者、夫人、令孃、洋妾。……

客引きに來てゐるミス・インターナショナル……さういつたやうな女客であつた。

ダンサーの腕はおほよそ大きく輕快に踊ることが出來ないらしく重々しく踊る方が多かつた。

ムキ出しになつた圓い肩や、腕の肉附が逞しく、ロシア女だけに白質で、それが汗ばんで燈火に光り、少し純味を加へた樣子が、ひどく情慾を刺戟した。栗色の髮髮を兩手を上げて、パーッと背後へ搔き上げる拍手に、腋の下に渦卷いてゐる金色の腋毛を、露骨に見せるのも誘惑的であつた。

ダンサーの倚つてゐる一つの卓で、景氣よくシャンパンが拔かれてゐた。男の姿がその席にあつた。ホテルへ行く約束が出來たらしい。

その間もバンドは奏されて居り十數組の踊手が踊つてゐた。

（おや）と伯は口の中で云つて、自分の樣の卓を見た。

瑞雲棚引く空を愛國號で歸奉
錦州に陣中見舞した本庄軍司令官

錦州錦西の第一線に活動するわが將士の志氣を鼓舞しその勞をねぎらふ爲め本庄軍司令官は十六日朝飛行機にて塚田參謀住友副官久世憲兵隊軍曹を從へて一路錦州に向ひ室師團長を始め各幕僚を親しく訪問し同日は錦州に一泊、奉天より出迎へた愛國第二號に初搭乘して十七日午前十時三十分錦州を出發、正午奉天東塔飛行場に無事歸還したが本庄軍司令官は至極元氣で愉快さうに記者に語る

飛行機に乘つたのは今回が初めてであるが殊に歸りは熱誠なる國民の贈り物である愛國號で歸つたことは非常に愉快である、往きは鐵道線路に沿つて打虎山に降り約一時間視察すると共に駐屯軍の勞をねぎらひ之れより錦西に向ひ錦西上空を低空飛行し錦州に向つた錦州一帶をも低空飛行して視察し直に城內に落ち付いたが師團長始め各幕僚將士と共に近況を聽取し今後の連絡をとつた

支那人側とも各縣長、省政府要人達と會見したが大體に於て匪賊討伐も一段落ついたので至極平靜である、支那人側では馬賊の討伐が何よりの希望であつた一般の復興までには相當時日を要するだらうが着々進行しつゝある、各地とも新興氣分がみなぎり緊張してゐた

上空航路は千六百メートルから三百メートルの高さで今朝は錦州を出發して間もなく千六百メートルの高さで來た處雲が低くかゝつてゐたのか雲の上となり非常に愉快で丁度瑞雲たなびくと云ふことを實際に見た譯である愛國號の工合は非常によく動搖もあんまり無く汽車より樂で安全であると云ふことを感じた

ここは誠に意義あることで國民も滿足するであらう、閣下には飛行中非常に元氣で色々と尋ねられた、錦州附近一帶の匪賊は既に掃蕩したので今では振興氣分で商民は懸命に努力してゐる事は誠に嬉しい次第である【奉天電話】

雲上たかく飛行
川原、辻兩操縱士語る

また愛國號には加藤少佐、川原、辻兩大尉、松村軍曹などが同乘したが川原、辻兩操縱士は交々語る

錦州附近を出發したのは午前十時半でありました、途中奉山線を傳ひ千六百米の高度をとりましたが、丁度十七日は近頃珍らしい低雲がたなびいてゐましたので雲上高く飛揚し西北へとコースをとりました、風もなく飛行には絶好の天氣で一寸雲から出て見ますと新民を行過ぎてゐるではありませんか、それで大急ぎで方向を東に轉じて無事歸つて來ました、錦州から奉天まで打虎山、新民にはわが將兵が第一線に起ち嚴寒と戰ひ目覺ましい活動をしてゐるところもありましたが雲のためこれら將兵を訪問することも出來ませんでした、何しろこんな順調な飛行で事なく豫想の時間より十分も早く到着した次第であります【奉天電話】

意義ある飛行
塚田參謀語る

同件の塚田參謀は左の如く語る

今回軍司令官の初飛行に國民から贈られた愛國號機に乘られた

任務を果しけさ能登呂入港
空には艦載機飛ぶ

舊臘皇軍の錦州方面匪賊討伐と共に山海關方面に出動警備の任にあつた特務艦能登呂（總噸數七千噸艦長海軍大佐三並貞三氏、乘組員准士官以上二十七名、下士官以下二百四十三名）は無事重要任務を果し務深い十七日午前八時大連港外に姿を現はし同十時十五分第一號ブイに繫留された、これよりさき既に同艦々載の水上飛行機は晴れの大連上空を悠々と飛びその雄姿に市民を歡喜させた

同艦は三日間大連港に碇泊廿日午前九時旅順に向け出發の豫定であるが同艦入港と同時に中川滿鐵埠頭事務所海運長、江原海務局港務課長は同艦を訪問した

山海關方面案外平穩
上陸將校語る

入港した能登呂乘組員は午前十一時半上陸したが乘組の一將校は語る

舊臘三十日に山海關に上陸し一同いざと云ふ場合は大いにやるつもりでゐたが、山海關は新聞などで噂された程に危險もなく甚だ平穩であつた、支那兵は二個旅駐屯してゐたが寧ろ日本側に好意を持つてゐる位で何事も無かつたので無事に任務を遂げて來ました

滿洲神社奉建委員會を開催

滿洲神社奉建會規程に關する委員會は十六日午後一時から旅順市役所會議室に於て開催、永山委員長議長席につき規程原案につき協議した結果

名譽會員は千圓以上とあるを五百圓に、有功會員は五百圓を三百圓に、通常會員百圓未滿を十圓以上

と修正、大體既報の如く決定した次で造營趣意書に關しては更に永山、東畑、米岡三委員に於て修正をなしまた關東廳の補助金下附願の點に就いては委員五名を選定の上至急出願する事とし午後四時半散會した

因習を打破し斷髮結盟式
新興力士團結束固し

【東京十七日發】髷を切つて完全に結束を固めた國坊主力士團結盟式は十六日午後六時から駒込の本部で行はれた、その際たゞ一人髷を殘した理由を出羽ケ嶽が詳細に說明し八時頃天龍は因習に囚はれた角道を革新す可く髷を切つたが今後は純眞なスポーツとして日本角道の途に奮鬪しやうと一場の挨拶をなし同十時頃この歷史的斷髮結盟式は終つた、なほ旗揚興業は二十三日頃の豫定である

國粹會は手を引く
聲明書を發表

【東京十七日發】新興力士團から髮を送られた國粹會では十六日午前十時から虎の門の本部に北氏以下幹部集合午後六時迄協議を重ねたが、吾人の誠意足らず調停の不調に終つた事は慚愧に堪へざる旨聲明書を發表し氏の外三名は午後八時半駒込の新興力士團本部を訪問天龍、大の里らと會見國粹會は決議によつて協會と力士團との紛爭事件から手を引く事になつた旨を述べた、これに對し天龍から今後もよろしくお願ひする旨を述べ會見を終つた

先代出羽海の墓前に報告

【東京十七日發】結盟式を擧げた新興力士團は角道刷新のスタートを切るに當り先代出羽海墓前に事茲に至つた經過を報告すること、なり十七日午前五時三十分天龍、大ノ里、山錦、常陸島、和歌島、新海の六名が下谷々中の墓地に赴り經過報告をなしたる後國粹會本部を訪問調停についての感謝とお詫をなした

球磨旅順入港

第二遣外艦隊旗艦球磨は十六日午前九時青島より入港南岸に投錨三日碇泊の豫定

大スケート大會
午前中の各競技成績

大連スケート會主催大連新聞社後援の大連スケート大會は十七日午前九時より南山麓鏡ケ池リンクに於て擧行、定刻選手一同役員席前に集合、小川會長開會の挨拶後優勝盃、優勝旗の返還を行ひ直に競技に移つたが大小のスケーター、銀盤上を飛ぶ土手を埋める觀集手に汗を握る、午前中の戰績左の如し（一着のみ）

▲中等學校二千米豫選　一着二中　二着商工△一着一中（三分三六秒四）二着大商

▲小學生二百五十米（四年）鄉黑澤宏、蓮淵武男、澤田秀雄、金田榮一、岩井良雄、岩見隆弘、山下壽夫、伊東幸男、岡田重正、黑明良麿、川本勝二、吳富鳳、谷山京子、小島トシ子、伊藤美知子、井上敏子、崎岡京子、清子フサ子、寺坂智惠子、宮崎敏子、三宅秀子（最高記錄男子金田榮一三八秒三、女子小島トシ子五二秒六）（五年）寺眞節夫、花岡三雄、百東梅、西坂ミツ、石井せち子、福良多榮子、吉原富美子、山崎勝人、野本二郎、小島博、小松宏、四元進一、深堀秀夫、高山次郎（最高記錄男子高山次郎三六秒二、女子百東梅五〇秒六）（六年）岩間二四子、村井安次、宇澤達雄、木村好二郎、白石成明、吉米末吉、岡田良麿、林善夫、尾崎幸治、久保一郎（最高記錄男子久保一郎三四秒六、女子岩間四二秒八）（高小）新納大造、井上誠一、岡田季雄、入江一夫、宮田丁四郎、高野二郎（最高記錄新納大造三三秒三）

▲ホッケー準決勝戰　滿鐵九――一大連醫院（山田、高橋、秋月三氏審判午前十時三十分開始）

滿鐵	3―1	醫院
	3―0	
	3―0	

五十八萬圓が灰燼
百九十五件百八十一戸に上る昨年中の火災件數

昨年中大連市内の火災件數について大連消防隊の調查した處によると總件數は百九十五件百八十一戸で二、三月が最も多く十月、十二月、十一月の順である、殊に之等の月には中國人の失火が多く十二月だけが日本人に比較的多い、內二件は放火であるが他は悉く失火である

その原因で一番多いのはやはり土地柄だけに煙突の破損や過熱や飛火が多い、之に次では煙草の吸殼が二十九件にも上つてゐる、漏電も相當に多い、火災の大部分が卽時消止或は不延燒に終つてゐるのは全く消防隊員の努力に負ふものである

損害高は動產が三十三萬圓、不動產が二十五萬圓計五十八萬圓である、その他に船舶一回、山林原野八回、村落八回損害合計一萬四千圓がある

火元について調查した處によると市內の火災は雜貨商が十五件製油業が九件、病院八件その他である、火災時における死傷者は年々增加し昭和元年十名、二年三十八名、三年二十九名、四年三十名、五年四十七名、六年四十二名、合計百九十六名、內死者五十八名である、更に過去六ケ年間に於ける一年平均の國籍別數字を揭げて見ると件數に於ては日本人七十八、中國人八十七、その他外國人六で損害高は日本人三十八萬圓、中國人十九萬圓その他五千圓である、然し昨年中は件數に於ては中國人が斷然多い

興味多いのは火災發生時間で朝の五時、六時頃は殆ど火災が無く竈やペチカに火の入る頃から使つた八時九時頃に多くそれから後はずつと少く正午から後は一般に多い、夜の八時九時頃は一日中最も注意力が鈍る時だから一日中最も多く、それから後は漸次減つてゐる

愛國運動は益々旺んになる
岩田愛之助氏が來連

愛國社々長岩田愛之助氏は十七日入港のはるびん丸で來連したがサロンで語る

私は愛國社の外に愛國學生聯盟愛國青年聯盟の二つとも會長となつて居る、そしてそれ等の若い連中が今滿洲で大に活躍して居るのでその活動狀態を實際に見聞するため來たもので今晚迄に赴奉し二十日過ぎ頃陸路歸國する豫定である、皇室中心主義を標榜した內地の愛國運動は非常に旺もなものでそれと同時に思想的方面から見た既成政黨打破の運動も相當濃厚である、愛國運動各團體の大同團結機運も赤ダン〳〵濃厚になりつゝあり殊に各學生層に對しては愛國學生聯盟が指導となり運動に努めて居る、で將來この愛國學生及び青年、在鄉軍人、陸軍の青年將校等が互に連携して充分愛國運動に努力したならば思想的混迷の今日ではあるが期待すべきものがあるであらう、一方左翼運動も相當盛んであり、一部には全協系の如く共產主義の潜行運動も續けられて居るが他の一部では無產政黨などで共產では駄目だとして國家社會主義に轉向せんとするものが相當多い、見に角われ等の愛國社を初め各愛國運動者の間には滿洲問題の解決に努むると共に國內の既成政黨改造に關する覺醒的運動に關しても亦今や各種の努力が行はれて居る【寫眞は來滿した岩田氏】

荒木陸相自らモデルとなり大禮服姿の肖像畫を描かす

【東京十七日發】荒木陸相はこの頃頻く陸相の肖像畫を描かせた、畫家は例の若き士官を描いてすつかり軍人畫家になつてしまつた岡田行一君、陸相は閑談の無い火、木、土の晝食後の一服の間を官邸の一室でモデルになりキチンと椅子にかけてモデルになつてゐる物は先日頂いた勳一等瑞寶章の晴れの大禮服姿であるが別に改つてそれを着るでもなく額は大禮服は大禮服で描かせてゐるのは飽くまで荒木式だ

陸相はお孃さんの薰子さん（一九）が油繪を描くし繪には中々の理解がある

荒木さんはキチンと坐つたら三十分位は端然としてゐる姿は劍道の達人だと畫伯も感心してゐると

護國祈願に大骨佛で水垢離
滿願の日も終り錦州方面へ軍隊慰問に近く出發

朔北の風肌を刺す滿洲の曠野に派遣の皇軍は一意君國のため兵匪の東討西伐に寧日なき有樣なるが、これはまた大連譚家屯大佛山の下に日露戰役戰死者の遺骨を以て鑄作された大骨佛の寶前に跪づき去る元日以來身に一衣も纏はず素つ裸となり寒天に晒されながら水垢離を取り護國祈願をなす無名の老人があつた、白髮蓬々見るからの野人ではあるが何事かを勵するものゝ如く剝を通ずれば

時局に際し國民は舉げて私財を投じ赤誠を披瀝し盡忠報國の誠を致してゐるが、老生固より無一文にしてその意を得ず只管佛心に縋り國家の安康を祈るのみと多くを語らず勿論名も名乘らず飄然風の如く立ち去つた聞けばこの老人滿願の日も終へたので近く錦州方面出動軍隊の慰問行脚を行ふとの事である【永垢離をとる老人】

前長官に代って退任の挨拶

塚本前關東長官の秘書官室田寅雄氏は十七日入港のはるびん丸船室で語る

塚本前長官の代理として官民各方面に對し長官在任中の御禮と退任挨拶をするつもりである、前長官が自ら御伺ひする筈であるが、それが出來ないのは誠に失禮に當るので私に御詫びして呉れとの事であつた、塚本氏は身體も至つて丈夫であるが政治の關係上正しく行動を執つたものでその點遺憾はないが只今日の如き重大時局を前にして十分の事も出來ず退任したのは殘念に思つて居られる、何れ官民各方面には私が直接參上して御挨拶することになつて居るが貴紙を通じて何分よろしく

福原鐐二郎氏遂に逝く
前美術院長

【東京十七日發】前帝國美術院長貴族院議員福原鐐二郎氏は豫て腦溢血症に罹り療養中の處十七日午前零時四十分牛込の自邸で逝去した享年六十五

濱松重爆機無事歸還
昨日三方原

【濱松十六日發】濱松飛行聯隊から滿洲へ出動した重爆機四機は今回歸還部隊のトップを切つたものであつて十四日大連發途中太刀洗に二泊の上十六日午後二時五分銀翼に武勳を輝かして市民の歡迎裡に三方原飛行場に着陸した

港灣調査に原大佐來る

海軍省軍務局第二課長海軍大佐原清氏は海軍技師二名と共に十七日入港のはるびん丸で來連したが語る

自分の仕事上から旅順港の實際設備狀況、滿鐵の港灣使用狀況大連在船などの關係等を調査に來たまでゞ調查が終れば出來るだけ早く歸り度いと思つてゐる

簡易救濟金

御大典記念事業として沙河口署にて昭和四年以來管內居住貧困者救濟機關として設置してゐる簡易救濟會は漸次その內容も整ひ昨年度における同救濟會の成績は收入一千百二十三圓二十八錢その他衣類百三十四點白米十九叺であるがこれによる救濟支出は七百八十二圓八十二錢で救濟延人員は七十二名の多數に上つてゐる

吾妻橋郵便所

大連吾妻橋郵便所は從來寺內通り角に面した福昌公司所有の家屋を借り受けてゐたが頗る貧弱で且つ狹隘を感じてゐたところ今回家主福昌公司の義俠により工費約一千五百圓を投じ敷島廣場に面した二軒を打つ通しこれを同郵便所に充てる事になつた

旅順の戸外デー
スケート大會と共にけふ盛大に擧行さる

體育研究所主催の戸外デー及び第五回全旅順スケート大會は十六日午前九時三十分から富士町スケート場に於て擧行、參加する者一般市民學生、生徒、兒童約一千餘名に觀衆數百名に達し無風快晴、旭光銀盤上に輝く絶好のスケート日和で御影池會長開會の辭を述べ戸外デーの歌は朗らかに高く合唱され次で全員のラヂオ體操の後、選手はスピート、フイギュア選手の模範演技に次いで戸外デー宣傳滑走の後第五回スケート大會に移り例年に無い盛會を極めた

（蹴球）河賀代井浦山　北大　田臼陶
RW CF LW LLG　DDK　DDK

（籠球）尾ﾉ部井倉野　西小阿浦內山　玉澤A組（寅雄）白鶴クラブ

天氣豫報

十八日　南西の風　晴後曇

各地溫度

	十七日午前十一時	十六日最低
大連	〇・五	零下九・六
旅順	二・〇	同九・七
營口	零下一・七	同一七・一
奉天	同五・五	同一九・一
長春	同一〇・三	同二六・一

時局寫眞展日延

本社主催の時局寫眞展覽會は連日多數の觀覽者あり、未だ參觀なき方のため特に（十八日）一日延期致します

主催　滿洲日報社

武門血笑記 (26)

下村悅夫作　布施長春挿畫

愛憎の盾（二）

——すると、源之丞は靜かに顔を振つた。

「いや、そのやうなことはせぬ。事の起りは兎もあれ、この二ケ月に近い間の親身も及ばぬそなたの介抱、空には思はぬ。その點は安心して貰ひたい」

「嬉しうござんす。それで、乾分たちに、妾の顔も立つといふもの。どうぞれえ、源之丞さん」

「むン、拙者も武士だ。決して二枚の舌は使はぬ」

と、源之丞はきつぱり云ふ。

「——でも、萬が一、妾達が仇同士であつた場合には……？」

さう云つたお蓮の、探るやうな眼差しに、不圖、ぴつたりと視線の合つた源之丞は、瞬間、ぎくと見返したが、急に、觸れてはならないものに觸れたやうに、周章てゝ、膝に瞳を落して、

「むッ、そ、それは、今の僕には……」

「……？」

「——解らんッ……」

源之丞は未だ俯向いたまゝ、呟くやうに、口の中で云つた。

「ほッほッほ。そんな事、何うだつて良ござんすのさ。たゞね、妾や何ンだか、お前さんを、他人のやうには思へなくなつて……」

お蓮は、口では笑ひながら、切なさうに眼を潤ました……。

源之丞がお蓮に見送られて天照院の門を出たのは、それから暫く後であつた。

「では、お蓮どの、この後とも健かに……」

と、源之丞は慇懃に頭を下げる。

「ありがたう。お前さんもお達者でね……御縁があつたら、また、お目に掛りませう……」

お蓮の聲には、どこやら、淋しさうな響きがあつた。

源之丞は、月の光の中を歩き出した。お蓮はしよんぼりと、山門に凭り掛つて、ぢッと男の後ろ姿を見送つてゐる——。

と、その後ろから、づかくと歩み寄つた青馬六兵衛、お蓮の顔を覗き込むやうにして、

「姐御ッ、お前さんは、俺がこれほど云つても、あの侍をこのまゝ歸してやる心算なんだね？」

針を含んだ言葉である。

「何ンだね、この人はッ、藪から棒にさッ。その話なら、くどいよお前もッ」

「くどいッ？ヘン、くどくもなりますよッ。見すく、こちらの首に繩を掛けるやうな人間をせッせと介抱した揚句、默つて歸してしまふなンて、こんな馬鹿げた事あ、仲間の作法に無え筈だッ」

「うるさいねッ、どうしやうと妾しの勝手さ！」

お蓮は、けんもほろゝに突ッぱねた。

「何だつて、それぢや餘んまり勝手が過ぎやせうぜ！わッしがこんなにガミぐ云ふのも、皆んな、お前さんや仲間の爲を思ふからだッ」

癪に据兼ねたか、青馬六兵衛、言葉も荒くグッと詰寄る。

「ほほほッ、六兵衛、それや飛ンでもない癇氣筋だよ。お前があンまり心配さうだから、云ふがね。妾やね、憚り乍らあの侍には、チヤンと紐を付けてあるンだよ。どこへ行かうと、生かさうと殺さうと、妾の勝手次第なのさ。まあ、きなくしないで、細工は流々、仕上げをごらん——ッさ」

お蓮は、急に、言葉の調子を變へて、艶かな流し目で、ヂロリ、六兵衛の眩れ上つた面を見た。

「そ、それなら良いんだが——、お前さんの遣り方が餘り擬り合點に思へたもンだから……」

「大丈夫だッてばさ！お〻寒いッこれぢや、風を引いちまふッ」

お蓮は、呆氣に取られた六兵衛をそのまゝに、ツイと寺内へ踵を返した——。

キネマ演藝

日活映畫　戀の長銃　帝國館上映

「灰燼」と同じ時代相を持つた武田敏太郎原作の小説の映畫化であるが、原作の強味が觀衆を最後まで引きづつて行くだけの興味が充分に織込まれて豫想外に面白い映畫となつてゐる

ストオリイは陸軍兵學寮を出た薩摩の若い近衛少尉的場小太郎（大日方傳）がスナイドル銃の名手として輝く一面、黒沼中尉（高木永二）の迫害を受け、そこへ飛込んで來た江戸の名殘を持つ藝妓千代龍によつて更に進展した黒沼の魔手に的場は職務上の失策を生じ、千代龍は黒沼に犯されて死者狂となつて彼に斬つけ監獄へ送られる、その間に征韓論から西南役となり、西郷隆盛（村田宏壽）に諭されて東京に殘つた的場は官軍として出征し、出獄した千代龍はそれと知らず薩摩に的場を尋ねて西南役の戰場で的場の母が登場して更に悲劇を生み一切が解決されるのである

この原作を前半東京篇では的場と千代龍と黒沼を中心に西郷隆盛を配して巧に纏め上げ、後半西南篇では前半の經緯を進展させて的場の母を加へて無理のない悲劇としたところ、山崎謙太郎の脚色は原作の味を生かしたものと言へやう、長倉祐孝の監督は坦々とした手法を以てこのコスチユームプレイを嫌味なく纏め上げたところがお手柄である、俳優では梅村蓉子の擬り舞臺で適役を得た快演で、久し振りの大日方傳は無難、高木永二の老巧と對立して素直な藝が認められる

「戀のスナイドル」といふ題名から特異な傾向を持つ映畫のやうに感じるが、案外拾ひ物をした氣のするストオリイの面白味が味はれる作品である

學生映畫デー　噫南嶺卅八勇士

大連滿鐵社員俱樂部主催の第三十二回中等學生映畫デーは十八日午後六時（商業、鐵道、遞信、陸工）十九日午後一時（神明、女商、羽衣）同六時（一中、二中）二十日午後一時（彌生、技藝、家政）の四回開催、上映々畫は東活映畫南光明主演「噫南嶺三十八勇士」十巻及びパ社作品リチヤード・アーレン主演「征服群」八巻、大連新聞社撮影「攻防錦州城」三巻で會費十五錢である

噫南嶺三十八勇士　故倉本少佐を中心とした時局軍事映畫で東活が獨立守備隊の後援を得て奉天、公主嶺、長春、四平街、南嶺にロケーションした井手錦之助監督式村新、南光明主演現代劇作品【寫眞は武村新の倉本少佐】

大劇大津お萬好評

大連劇場の大津お萬一行の萬歳大會は十六日初日の蓋をあけたが、先年より一層藝に進境を見せ座員中の柳家鯰八、柳家三代孝の上品な萬歳、笛道樂松廼家〆松、松本庫吉も評判よく、舞踊の柳家三代吉も光つて大衆料金と共に好評を博してゐる

噂話

けさ沿線から長大日活館主が歸つて來たが、各地とも不景氣だとの報告▲正月興行で入つたのは奉天の第一週に上映した「酒は涙か溜息か」だけださ▲東活の實演隊は各地で撮影を進め實演は十九日の瀋陽が最後であるが▲それから長驅して豫定外の錦州鐵西方面へロケーションに行く事に決定した▲時局一段落を待つてゐた常盤座では近く目下長春で開演中の東洋歌劇團のレヴユウを上演するらしく、交渉が纏まつたと傳へられてゐる▲夏川靜江が愈々三月廿九日神戸出帆の秩父丸で渡米すると、大連の知己へそれぐ挨拶状を寄せて來たが▲大連でも是非同行案内する筈だつた人があるが今では沙汰止みとなつた事だらう

本社特選　新棋戰【其八】

平手先△四段　志澤春吉
▲四段　坂口允彦

【圖は五八玉銀迄の局面】
△志澤氏「持駒」銀歩五つ
▲坂口氏「持駒」角金歩歩歩

▲八六歩●　△同　歩
▲五六歩　△六九玉
▲五七歩成　△七六飛
▲五八角　△七九玉
▲八七歩　△五九馬
▲七五歩●　△同　飛
▲六七と

【土居八段講評】▲坂口君が一旦八六歩と突き捨てた目的は何時でも飛車のきび出しが利くやう、且つ模樣に依つては八八歩打を狙ふた非常に妙味のある指手である。而して以下双方秘術を盡しての攻防手段面白い。但し坂口君は歩の持駒の不足の場合七五歩と打捨てたのは惜しい、之れは後の含みに殘し置き直に六七とと指す處である。

【萩原六段解説】後手の八六歩は此處で突き捨て、置くと次に八八歩や又は八七歩と打つて敵玉を狹くすることが出來る故。この局面では至當な手である。次に五六歩は五七歩と打つては後に餘り響がないので控へて五七歩成の順を窺つたのは當然の指手である後手の八七歩は最初の八六歩の突き捨てによつて生じたもので、八六歩突きを有功に利用したものでこの順は常に出來るものである。先手五九馬も八七同金では六七と寄られて聽いから已むを得ない手である。後手七五歩は敵が五八馬、同と、八七金の時、五七角打を窺つたものである。

壹等 一千人

(下記の内一品)

白金側腕時計 一個
三方桐二重簞笥 一棹
銘仙夜具 一流
洋服簞笥 一棹
ラヂオセット 一組

貳等 二千人

(下記の内一品)

自轉車 一臺
総桐用簞笥 一棹
英國製洋服地 一着分
三面鏡化粧臺 一個
籐椅子セット 一組

參等 三千人

(下記の内一品)

洋食器セット 一揃
二枚續純毛毛布 一枚
純銀製コップ台 一組
會席膳 五客
銘仙座布團 五帖

四等 四千人

特製化粧石鹸
一ダースづゝ

五等 一万人

特製コンパクト
一個づゝ

歯磨スモカ 百万人

全應募者
一罐づゝ

藥用補血強壯葡萄酒
赤玉ポートワイン大特賣

赤玉ポートワイン包紙のレッテルを完全に切拔いて二枚各その裏面に住所氏名を書き二枚一纏めにして開封二錢切手を貼り左記へお送りあれ抽籤當籤の方へ景品贈呈す

(壹枚づゝ別送や不完全なレッテルは無效なり御注意を)

募集総數　百万口(レッテル二枚一口)
區域　內地滿鮮(台灣を除く)
抽籤方法　一口毎に抽籤番號を付け一千口一組當籤番號共通新聞警察代理店立會嚴正抽籤
締切　昭和七年三月十五日
當籤發表　昭和七年四月十日本紙上
景品送付　當籤發表後より二ケ月以內
レッテル送り先　大阪市東區住吉町 赤玉ポートワイン本舗 サービス係